NEC

MultiImpact 750 シリーズ

ラインプリンタ

オンラインマニュアル

MultiImpact 750/850A
N1153-026
MultiImpact 750/560
N1153-025
MultiImpact 750/210A
N1153-027

853-810825-701-A
第4版

このマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、印刷してお手元に置くことをお勧めします。

安全にかかわる表示

プリンタを安全にお使いいただくために、このマニュアルの指示に従って操作してください。
このマニュアルには製品のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
また、製品内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

マニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

警告	指示を守らないと人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
注意	指示を守らないと火傷やけがのおそれ、および物的損害の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起

注意の喚起は、「 △ 」の記号を使って表示されています。この記号は、指示を守らないと危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	毒性の物質による被害のおそれがあることを示します。		火傷を負うおそれがあることを示します。
	けがをするおそれがあることを示します。		指などがはさまれるおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		感電のおそれがあることを示します。
	特定しない一般的な注意・警告を示します。		

行為の禁止

行為の禁止は「🚫」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンタを分解・修理・改造しないでください。**感電や火災**のおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。**感電**するおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。**感電や火傷などの傷害**が起こるおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと**感電や発火**のおそれがあります。
	特定しない一般的な行為の禁止を示します。		

行為の強制

行為の強制は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

	プリンタの電源プラグをコンセントから抜いてください。**感電や火災**のおそれがあります。

本文中で使用する記号の意味

このマニュアルでは、「安全にかかわる表示」のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号について説明します。

記号	内　容
	この注意事項を守らないと、プリンタが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。
	この注意事項を守らないと、プリンタが正しく動作しないことがあります。

商標について

NEC、NECロゴ、MultiImpactは日本電気株式会社の登録商標です。
PrinterSignalStationはNECソフト株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe、Acrobat、およびAcrobat ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

OSの表記について

このマニュアルではOSを以下のように略して表記しています。
Windows VistaはMicrosoft Windows Vista Ultimate operating systemおよびMicrosoft Windows Vista Enterprise operating system、Microsoft Windows Vista Business operating system、Microsoft Windows Vista Home Premium operating system、Microsoft Windows Vista Home Basic operating systemの略です。Windows XP はMicrosoft Windows XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft Windows XP Professional operating systemの略です。Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating system およびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。Windows 2000 Datacenter ServerはMicrosoft Windows 2000 Datacenter Server operating systemの略です。Windows Server 2003はMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Standard EditionおよびMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Enterprise Editionの略です。Windows MeはMicrosoft Windows Millennium Edition operating systemの略です。Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating systemの略です。Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating systemの略です。Windows NT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0の略です。Windows NT Server 4.0, Terminal Server EditionはMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0,Terminal Server Editionの略です。Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0 はMicrosoft Windows NT Server, Enterprise Edition network operating system Version 4.0の略です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. 運用した結果の影響については4項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
6. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

© NEC Corporation, NEC Embedded Products, Ltd. 2005-2011
日本電気株式会社、NECエンベデッドプロダクツ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

はじめに

このたびはNECのプリンタをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
本マニュアルは、NECドットプリンタMultiImpact 750シリーズを正しくお使いいただくための手引きです。本マニュアルにはMultiImpact 750シリーズの設置、操作に必要な情報を記載していますので、日常使用する上でわからないことや具合の悪いことが起きたときにぜひご利用ください。

なお、ユーザーズマニュアルではプリンタを初めてお使いになるときの手順や日常の保守、「故障かな？」と思ったときの処置方法が、ソフトウェアマニュアルではプリンタドライバなど添付ソフトウェアのインストール方法が記載されています。併せてご利用ください。

本書で説明しているプリンタの機種は以下のとおりです。

- MultiImpact 750/850A
- N1153-026
- MultiImpact 750/560
- N1153-025
- MultiImpact 750/210A
- N1153-027

マニュアルの構成

本マニュアルの構成は次のとおりです。

第1章　用紙の取り扱い

印刷方法について説明しています。

第2章　メニューモードで設定変更する

メニューモードの設定方法や設定の詳細について説明しています。

第3章　プリンタドライバ

各OSの印刷の手順や印刷の詳細な設定方法について説明しています。

第4章　リモートパネル＊1

リモートパネルの使い方や設定の変更方法について説明しています。

第5章　PrinterSignalStation＊1

PrinterSignalStationの使用方法について説明しています。

付録　技術情報

特殊文字の印刷や文字コード表を載せています。

＊1　MultiImpact 750 シリーズのみサポート。

オンラインマニュアルの使い方

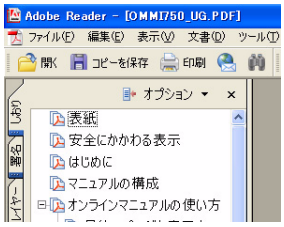
このオンラインマニュアルは、目的のページを検索しやすいように、しおりやサムネール、リンクが設定してあります。ここではしおりやサムネール、リンクの使い方、印刷方法などをAdobe Readerを使用して簡単に説明します。Adobe Readerの詳しい説明についてはヘルプメニューの［Adobe Readerのヘルプ］をご覧ください。

目的のページを表示する

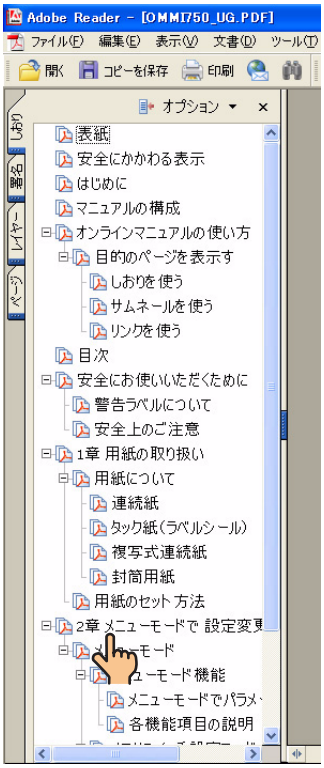
［しおり］、［サムネール］のナビゲーション機能やリンク機能を使って目的のページを表示します。

しおりを使う

しおりは目次のようなものです。しおりを表示させると全体の内容が一覧でき、そこから見たいページを選ぶこともできます。



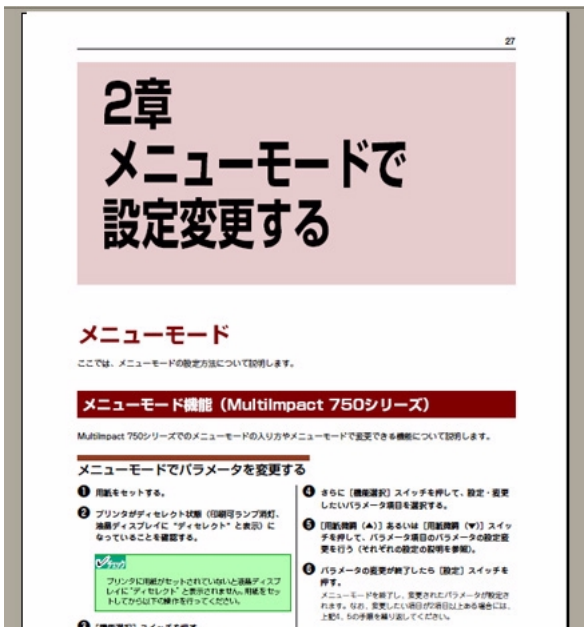
1. ［しおり］タブをクリックする。



2. ［手のひら］ツールを表示させる。

3. 表示させたいしおりを選びクリックする。
しおりの上へ［手のひら］ツールを移動すると［指さし］の形に変わるので、その場所をクリックしてください。選んだしおりのページが表示されます。

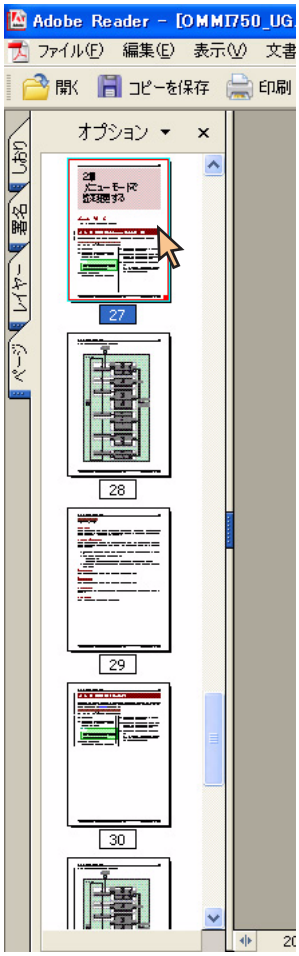
階層化された項目は、項目名の左側に［+］、［—］の記号が表示されます。その下の階層は［+］を押すと表示し、［—］を押すと非表示になります。



サムネールを使う

サムネールはそのページの全体のイメージを小さく表示したものです。表示したいページを見つけ、クリックすることで目的のページを表示することができます。

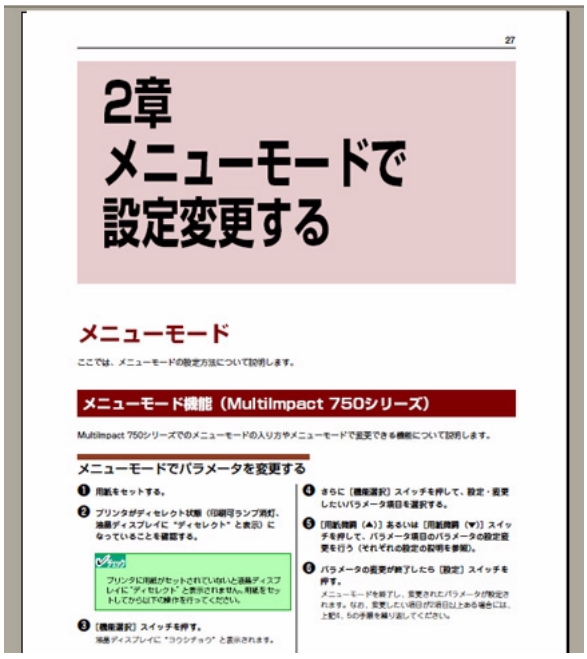
1. ［ページ］タブをクリックする。



2. ［手のひら］ツールを表示させる。

3. 表示させたいページのサムネールを選びダブルクリックする。

   サムネールの上へ［手のひら］ツールを移動するとカーソル（矢印）に変わるので、その場所をダブルクリックしてください。選んだページが表示されます。

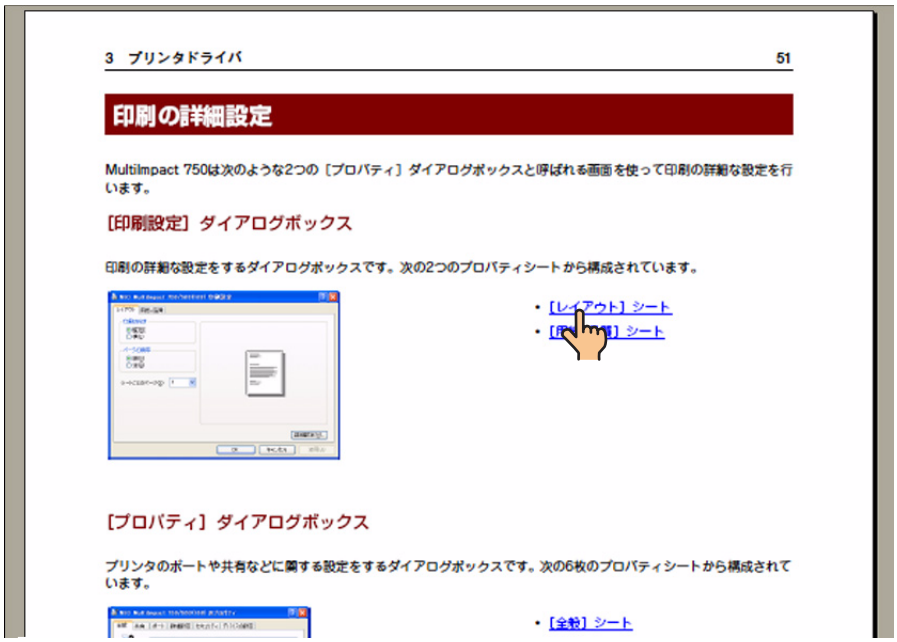


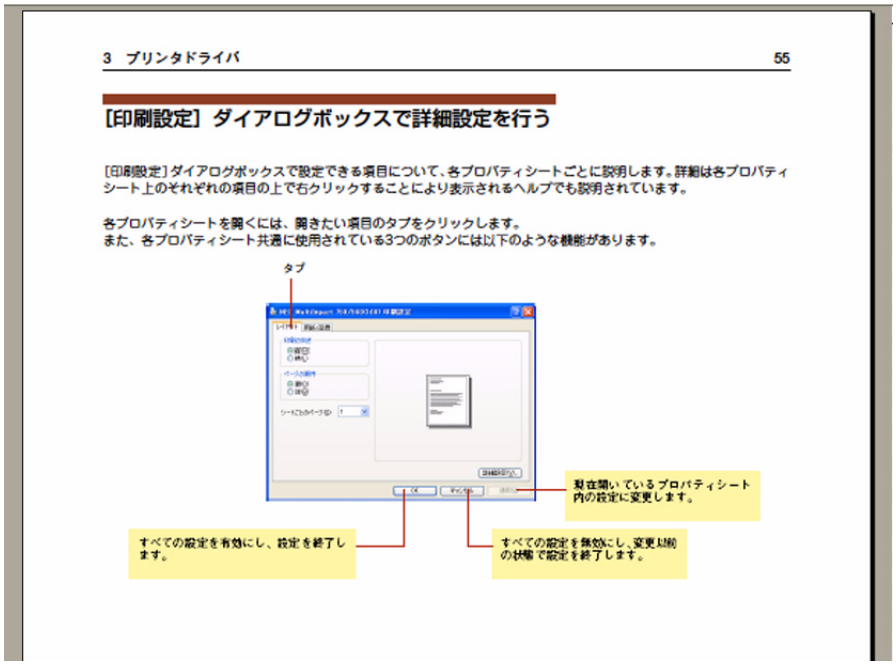
リンクを使う

リンクは、クリックすると目的のページへジャンプする機能です。本マニュアルでは、目的ページや文章内の青の下線文字にリンクを設定しています。［手のひら］ツールを使ってリンクの設定先にジャンプすることができます。

1. ［手のひら］ツールをクリックする。

2. リンクのある場所をクリックする。
   リンクのある場所へ［手のひら］ツールを移動すると［指さし］の形に変わるので、その場所をクリックしてください。





目　次

安全にかかわる表示 ii
はじめに v
マニュアルの構成 v
オンラインマニュアルの使い方 vi
目的のページを表示する..... vi
安全にお使いいただくために 1
警告ラベルについて..... 1
安全上のご注意..... 5

1章　用紙の取り扱い 11

用紙について 11
連続紙 11
タック紙（ラベルシール）..... 12
複写式連続紙 12
封筒用紙 12
用紙のセット方法 13
MultiImpact 750/850A・N1153-026 の
用紙のセット方法 13
MultiImpact 750/560・N1153-025 の
用紙のセット方法 17
MultiImpact 750/210A・N1153-027 の
用紙のセット方法 21
印刷に関する注意 25

2章　メニューモードで設定変更する 27

メニューモード 27
メニューモード機能
（MultiImpact 750 シリーズ）.....27
メニューモードでパラメータを表示・
変更する..... 27
各機能項目の説明 30
メニューモード機能
（N1153-025/026/027）..... 32
メニューモードでパラメータを表示・
変更する..... 32
各機能項目の説明 34
N6343-41A/N7859-01B・
N5263-71A/N7860-03A・
N1123-01A/N1133-01A互換モードに
おける操作と機能 36
各機能項目の説明 38
メモリスイッチ設定モード 39
メモリスイッチの変更方法..... 41
メモリスイッチの機能..... 42
設定内容をリセットする 44
設定内容を印刷する 45
MultiImpact 750 シリーズの場合 45
N1153-025/026/027 の場合..... 46

3章　プリンタドライバ 47

Windows XP/2000/Server 2003 日本語版の場合 48
印刷の手順 48
プリンタドライバの選択 49
印刷先の変更 50
共有プリンタに設定する 52
印刷の詳細設定 53
［プロパティ］ダイアログボックスを開く..... 54
［印刷設定］ダイアログボックスで
詳細設定を行う..... 57
［プロパティ］ダイアログボックスで
詳細設定を行う..... 63
Windows Me/98 日本語版の場合 69
印刷の手順 69
プリンタドライバの選択 72
印刷先の変更 73
共有プリンタに設定する 75
印刷の詳細設定 77
［プロパティ］ダイアログボックスを開く..... 77
プロパティシートで詳細設定を行う 79
Windows NT 4.0 日本語版の場合 85
印刷の手順 85
プリンタドライバの選択 86
印刷先の変更 87
共有プリンタに設定する 88
印刷の詳細設定 89
［プロパティ］ダイアログボックスを開く..... 90
［既定のドキュメントのプロパティ］
ダイアログボックスで詳細設定を行う..... 93
［プロパティ］ダイアログボックスで
詳細設定を行う..... 99

4章　リモートパネル 105

リモートパネルの起動 106
リモートパネルの使い方 107
システムメニュー 107
メニューバー.....108
ツールバー 110
プロパティシート 111
設定変更手順 112

5章　PrinterSignalStation 113

PrinterSignalStation の使用できる環境 113
PrinterSignalStation に関する注意事項 114
PrinterSignalStation を動作させる前に..... 114
PrinterSignalStation の制限事項..... 114
転送データ量に応じて課金される
ネットワーク環境についてのご注意..... 114
ソフトウェアの起動 115
タスクトレイアイコン..... 115
バルーンポップアップ..... 115
メニューの起動 117
プリンター覧..... 120
状態..... 120
環境設定..... 121
リモートパネル起動..... 125
ヘルプを見る..... 125
トレイアイコン 126
ステータス 126
PrinterSignalStation が正しく
動作しないときは 127

付録　技術情報 133

初期状態 134
制御コード表 135
基本制御コード表 135
拡張制御コード表 136
新制御コード 139
文字コード表 141
8 ビットコード表 142
7 ビットコード表 143
漢字コード表 144
特殊文字の印刷 149
バーコードを印刷する 149
制御コード 149
バーコードの概要 151
バーコードの種類 151
バーコード指令の概要..... 151
バーコードの横の長さ..... 152
バーコード印刷時の印刷ヘッドの位置に
関する注意..... 153
カスタマバーコードを印刷する 155
カスタマバーコードのフォーマット 156
カスタマバーコードのコード体系 157
バーコードの印刷位置 160
OCR-B相当フォントを印刷する 161
制御コード 161
インタフェース仕様 162
インタフェース信号の機能..... 162
タイムチャート..... 163
コネクタピン配置 163
電気的特性..... 164

索引 165

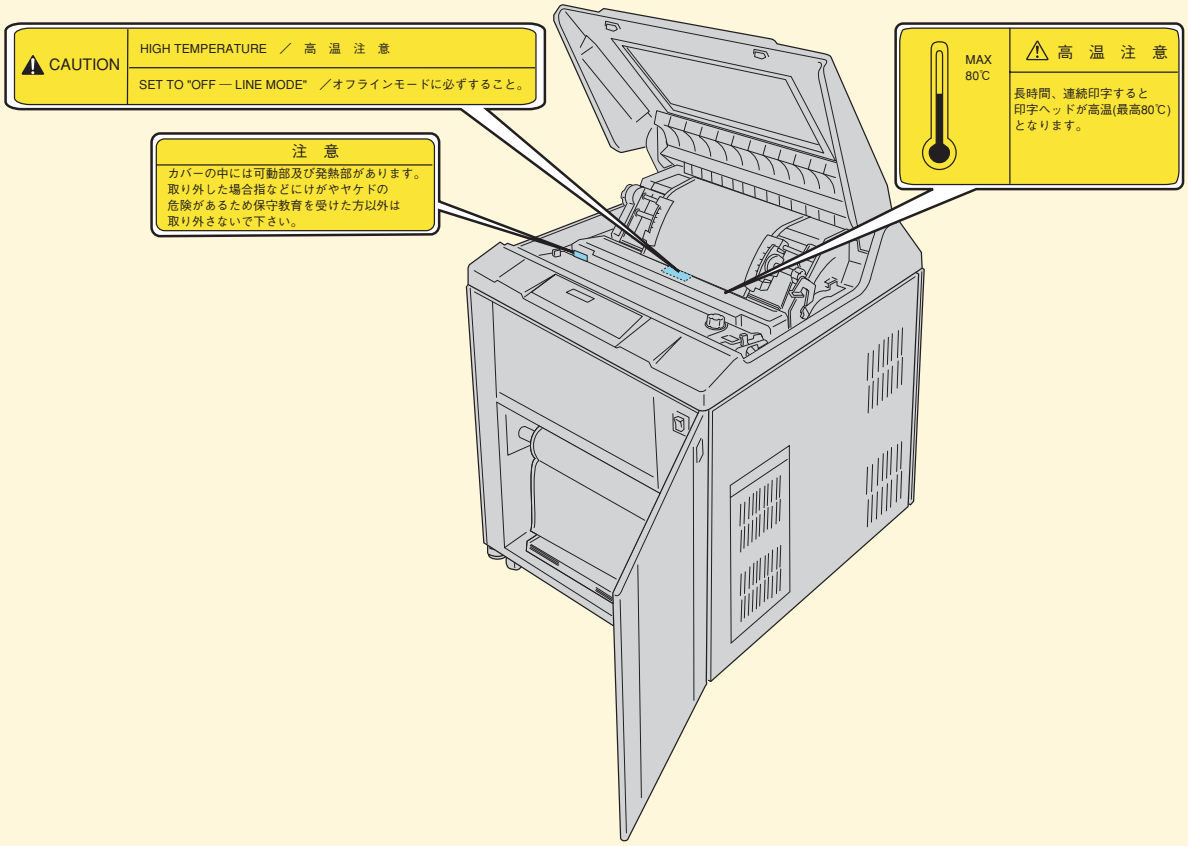
安全にお使いいただくために

警告ラベルについて

MultiImpact 750シリーズおよびN1153-025/026/027を安全にお使いただくために、プリンタ内の危険性を秘める部品およびその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンタを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。

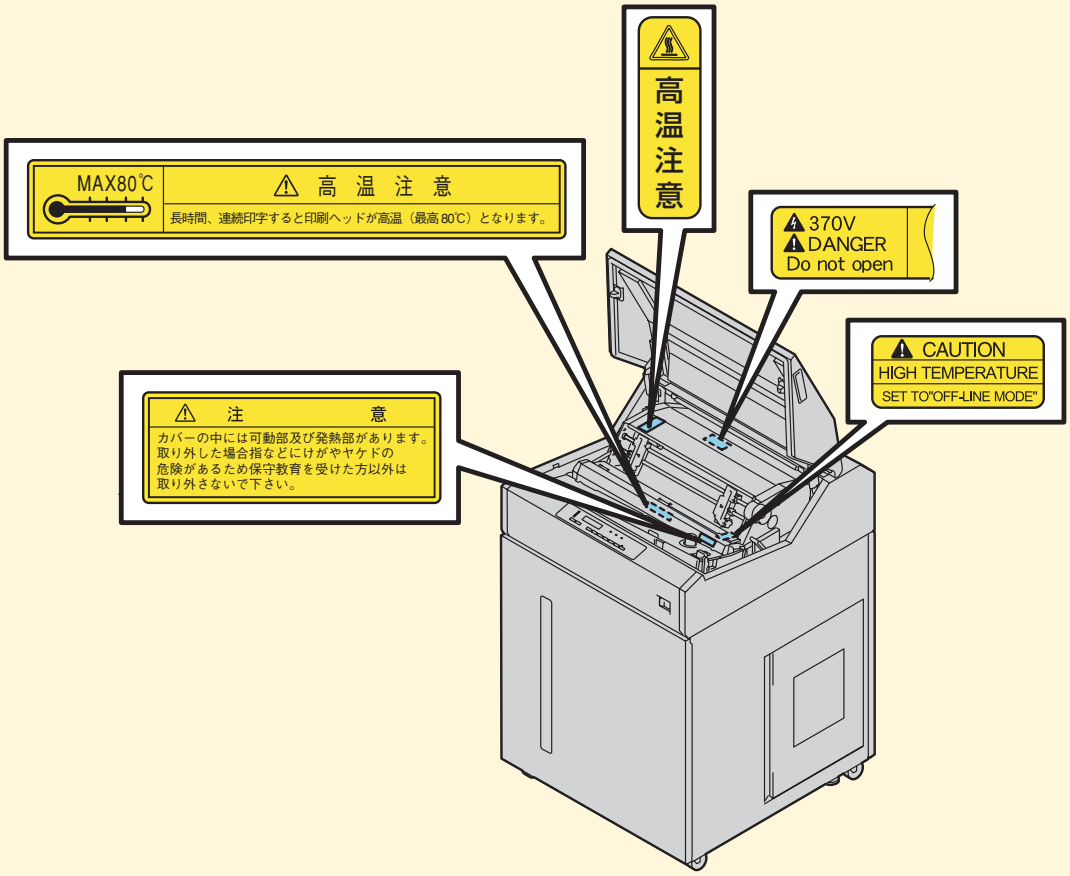
警告ラベルは次ページの図に示す場所に貼られています。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読できない場合は、サービス担当者または販売店までご連絡ください。

プリンタ前面

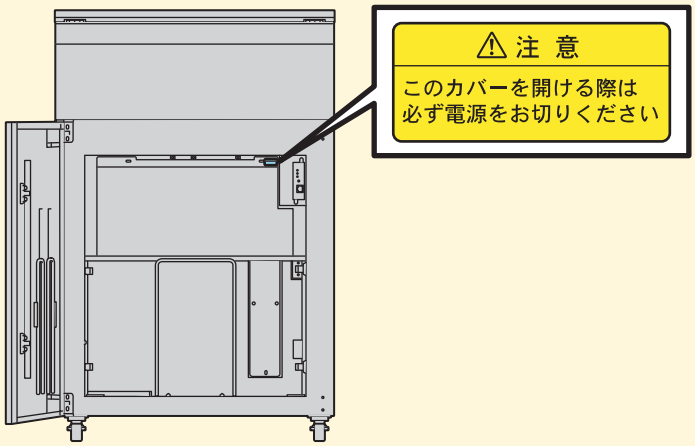


MultiImpact 750/850A・N1153-026の警告ラベルの位置

プリンタ前面

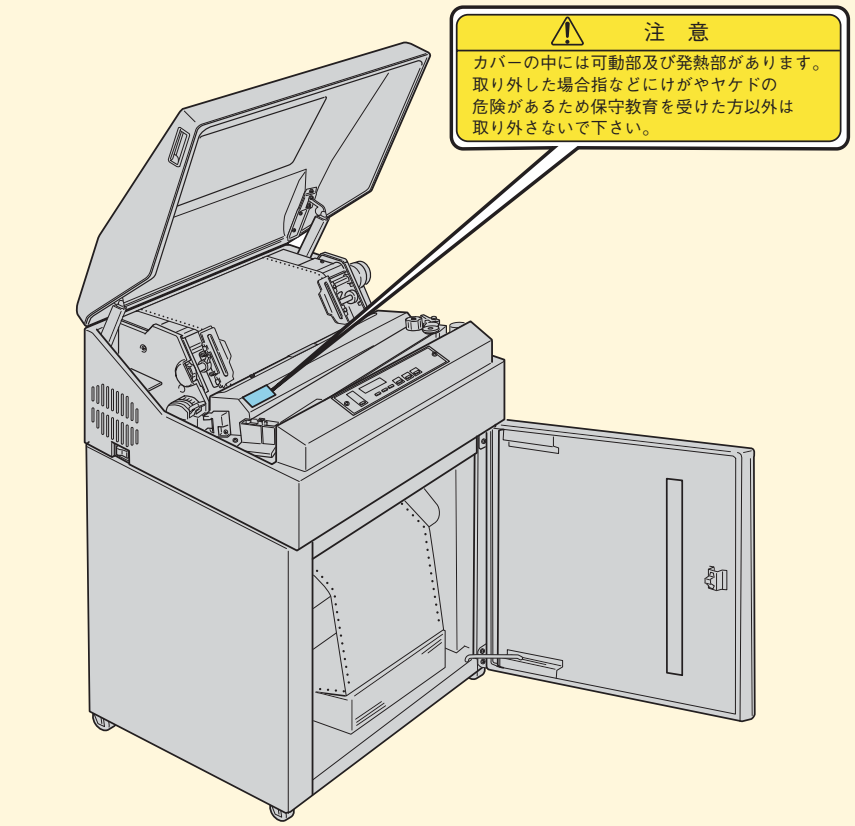


プリンタ背面

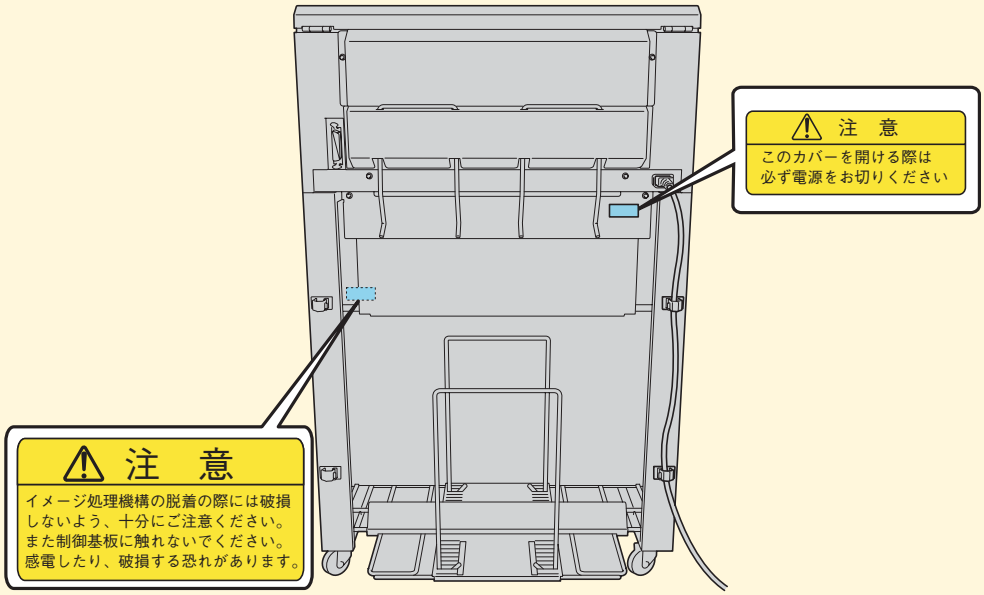


MultiImpact 750/560・N1153-025の警告ラベルの位置

プリンタ前面



プリンタ背面



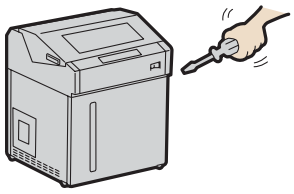
MultiImpact 750/210A・N1153-027の警告ラベルの位置

安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンタを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンタをより安全にご活用ください。記号の説明についてはii～iiiページの「安全にかかわる表示」を参照してください。（イラストは、例としてMultiImpact 750/560をあげています。）

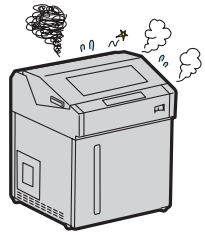
警告

分解・修理・改造はしない



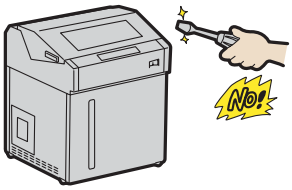
マニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。プリンタが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災のおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら電源プラグをコンセントから抜く



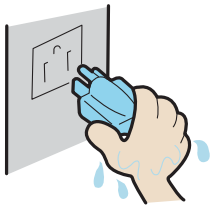
万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源スイッチをOFF（○側）にして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を差し込まない



通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電のおそれがあります。

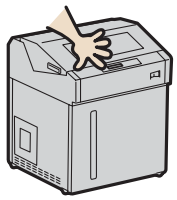
ぬれた手で電源プラグを抜かない



ぬれた手で抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

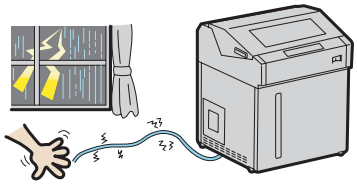
⚠注意

壊れた液晶ディスプレイには触らない



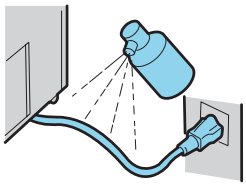
壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して医師に相談してください。

雷が鳴りだしたらプリンタに触らない



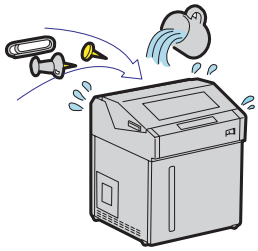
火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また、雷が鳴りだしたらケーブル類も含めてプリンタには触らないでください。

電源コードに薬品類をかけない



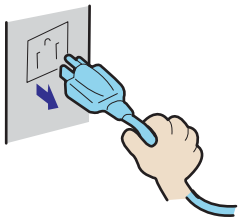
電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

プリンタ内に水や異物を入れない



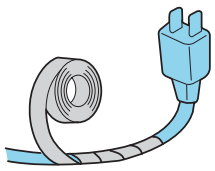
プリンタ内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源スイッチをOFF（「○」側）にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。（もし取り除けない場合は、分解したりしないでサービス担当者に連絡してください。）

電源コードを抜くときは電源コードを引っ張らない



電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

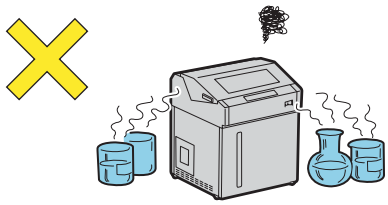
損傷した電源コードは使わない



電源コードが破損した場合はビニールテープなどで補修して使用しないでください。ビニールテープなどで補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。破損したときは、すぐに同じ電源コードと取り替えてください。

⚠注意

腐食性ガスの存在する環境、ほこりや空気中に腐食を促進する成分導電性の金属などが含まれている環境で使用、保管しない



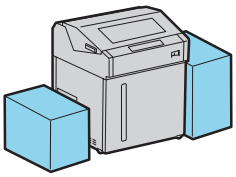
・腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する環境、腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）が含まれている環境に設置し使用しないでください。
・装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙、発火の原因となるおそれがあります。

もし、ご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

不安定な場所に置かない

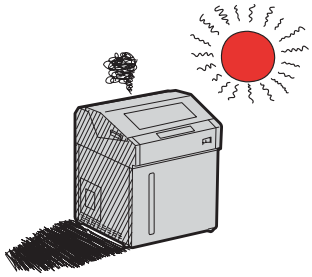
プリンタを不安定な場所には置かないでください。プリンタが破損するおそれがあるばかりでなく、思わぬけがや周囲の破損の原因となることがあります

通気孔をふさがない



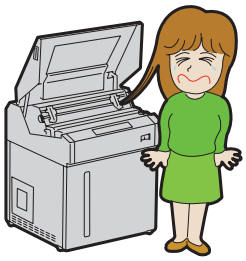
プリンタの左側面には通気孔があります。プリンタを壁につけたり物を置いたりして、通気孔をふさがないようにしてください。内部の温度が上がり、プリンタが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

直射日光の当たるところには置かない



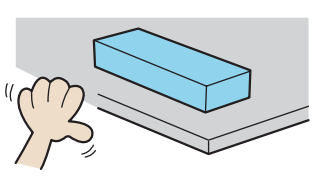
プリンタを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンタが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

巻き込み注意



プリンタの動作中は用紙挿入口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

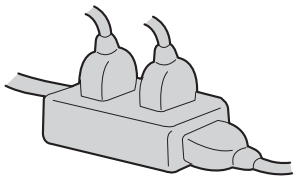
目や口にインクを入れない



インクリボンのインクを目や口に入れないでください。インクが目や口に入ると健康を損なうおそれがあります。特にお子様の手の届かないところに保管し、お子様が触れないようにしてください。

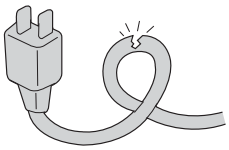
⚠ 注意

電源コードをたこ足配線にしない



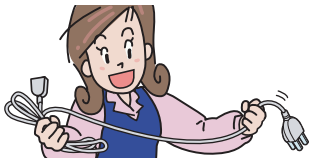
コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

電源コードは曲げたりねじったりしない



電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステープルなどで固定することもおやめください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

専用電源コード以外は使わない



プリンタに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると火災になるおそれがあります。

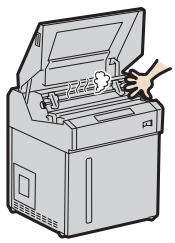
電源プラグを中途半端に差し込まない

電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。Multilmpact 750/850Aの場合、コンセントとプラグのロック機構で確実にロックしてください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接続不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴がつくと発熱し、火災の原因となることがあります。

100V以外のコンセントに差し込まない

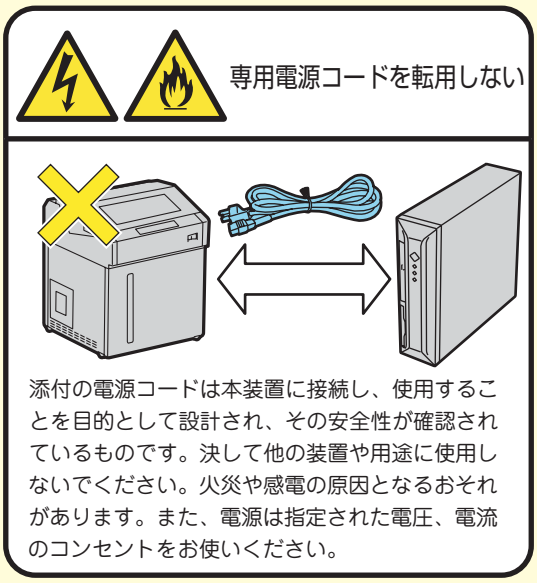
電源は指定された電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

連続印刷後はプリンタ内部に触れない



長時間印刷した後は、印刷ハンマが高温になっていますので、印刷ハンマおよびリボンセパレータなどプリンタ内部には手を触れないでください。

⚠ 注意



添付の電源コードは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。また、電源は指定された電圧、電流のコンセントをお使いください。

メ　モ

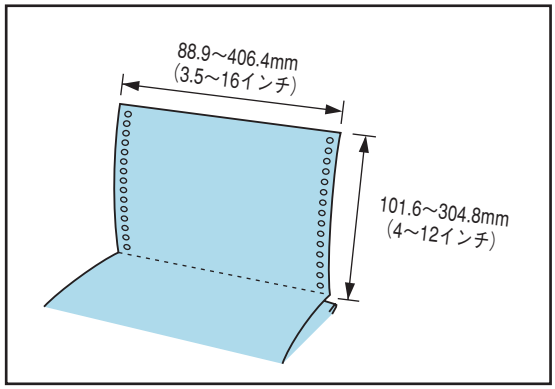
1章
用紙の取り扱い

この章では、MultiImpact 750シリーズおよびN1153-025/026/027で用紙に印刷する方法について説明します。

用紙について

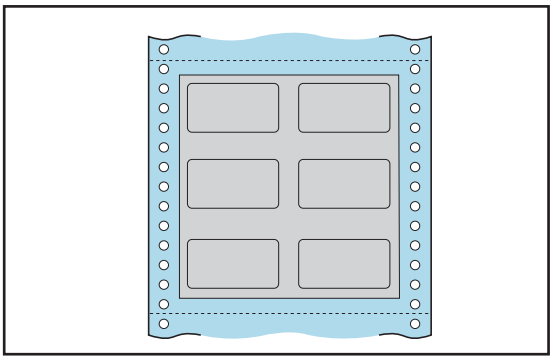
MultiImpact 750シリーズおよびN1153-025/026/027で使用できる用紙の種類やサイズは次のとおりです。詳しくは、ユーザーズマニュアルの「付録」をお読みください。

連続紙



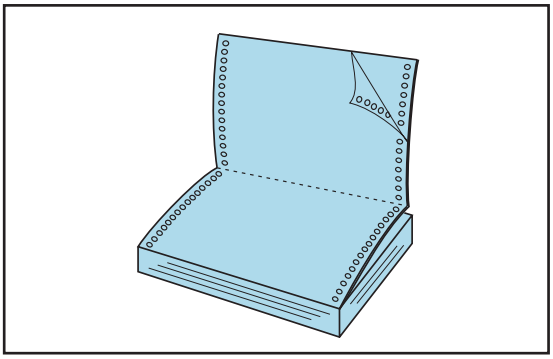
連続紙はミシン目で折りたたんだ状態で保存されています。ミシン目の間隔は、縦方向に279.4mm（11インチ）のものと304.8mm（12インチ）のものが一般的です。幅は、254mm（10インチ）のものと381mm（15インチ）のものが一般的です。用紙の規格については、ユーザーズマニュアルの「付録」をご覧ください。

タック紙（ラベルシール）



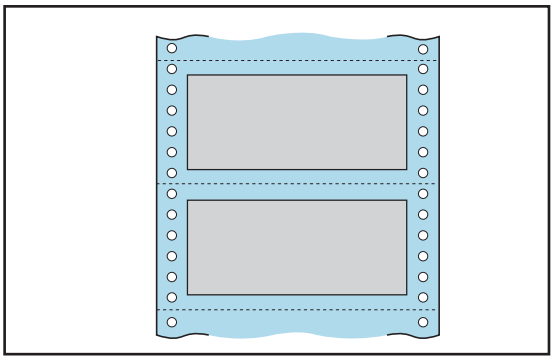
連続紙の台紙上にラベルシールを貼り付けてある用紙をトラクタを使って連続的に送ることができます。サイズは連続紙と同じです。タック紙使用時の注意事項については、ユーザーズマニュアルの「付録」をご覧ください。

複写式連続紙



感圧紙または裏カーボン紙はオリジナル（上層紙）を含めて8枚までの複写式連続紙が使用できます。用紙のサイズは一般的な連続紙と同じです。用紙の規格についてはユーザーズマニュアルの「付録」をご覧ください。

封筒用紙



上紙、中紙、下紙の3枚からなる帳票タイプの封筒用紙です。サイズは連続紙と同じです。封筒用紙使用時の注意事項については、ユーザーズマニュアルの「付録」をご覧ください。

チェック

- 用紙を包装箱やビニールなどに入れたままキャビネットの中にセットすると、紙づまりや文字詰りの原因となる場合がありますので、必ず包装箱やビニールなどから出してセットしてください。また、折りたたみ長さが短い用紙はキャビネットの奥にセットしないで、装置手前側にセットしてください。
- 用紙の質については、一般的な連続紙を使う場合はほとんど問題ありません。複写式の用紙など特殊な用紙を使うときは、ユーザーズマニュアルの「付録」をご覧ください。
- 用紙の印刷可能範囲については、ユーザーズマニュアルの「付録」をご覧ください。

用紙のセット方法

ここでは、用紙のセット方法について説明します。

MultiImpact 750/850A・N1153-026の用紙のセット方法

MultiImpact 750/850AおよびN1153-026で使用できるのは、連続紙（フィードホール付き連続用紙）のみです。用紙のサイズや印刷可能範囲については、ユーザーズマニュアルの「付録」を参照してください。

連続紙はトラクタにセットして使用します。トラクタフィーダは、主に次の部分から構成されています。

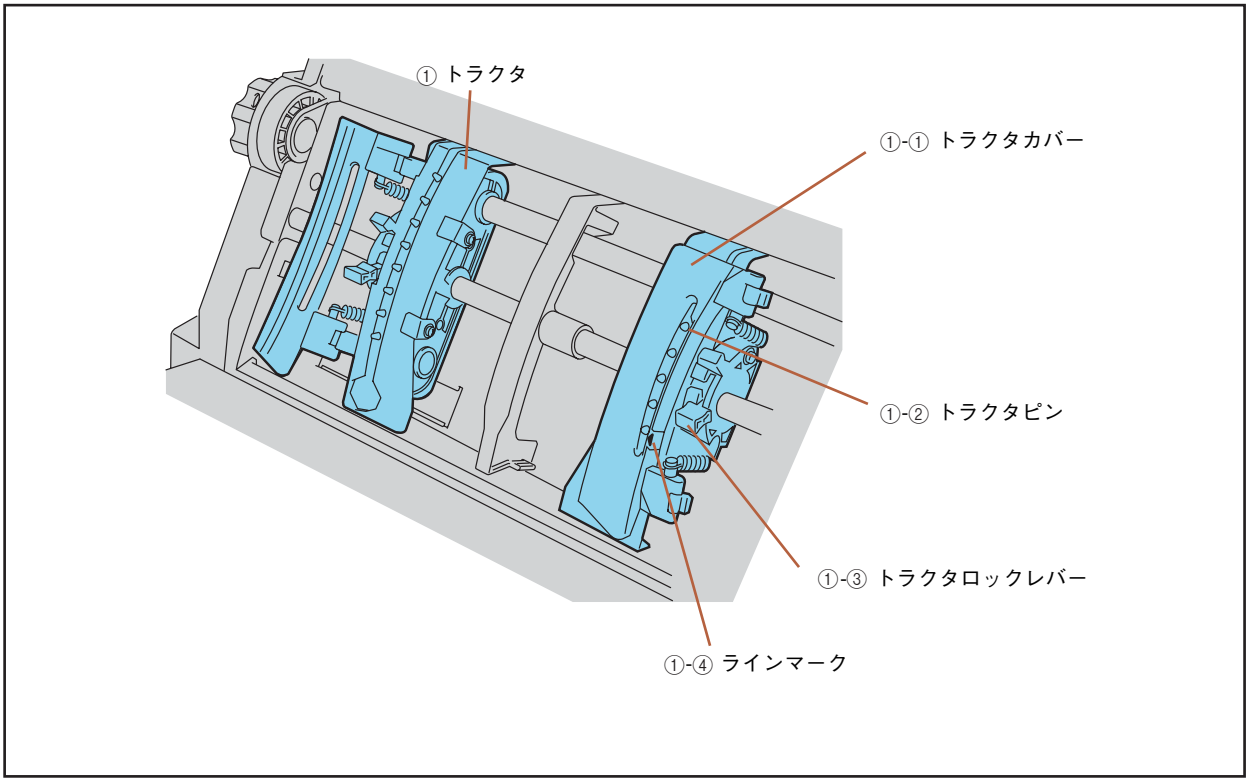
①トラクタ
トラクタカバー、トラクタピン、トラクタロックレバーなどから構成される連続紙の送り機構です。

①-①トラクタカバー
トラクタピンにセットした連続紙を押さえます。また、印刷したい行を設定するためのラインマークがトラクタカバー上についています。

①-②トラクタピン
連続紙の左右端の穴をこのピンに合わせてセットすることにより、正確な用紙送りができます。

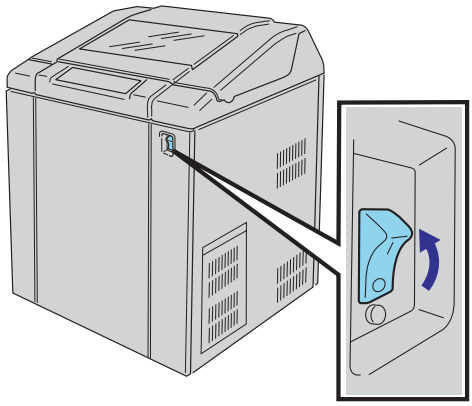
①-③トラクタロックレバー
トラクタの位置を固定するレバーです。レバーをつまむとロックは解除され、離すとロックされます。

①-④ラインマーク
用紙をセットする際に、印刷位置を合わせます。

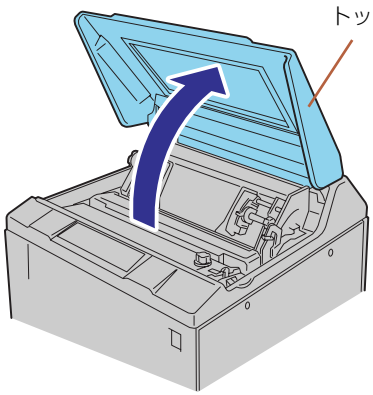


次の手順で用紙をセットします。

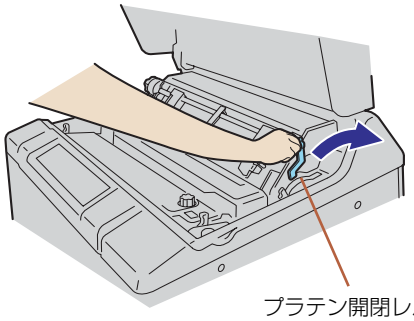
❶ **プリンタ正面右にある電源スイッチをON（「｜」側）にする。**



❷ **トップカバーを開ける。**



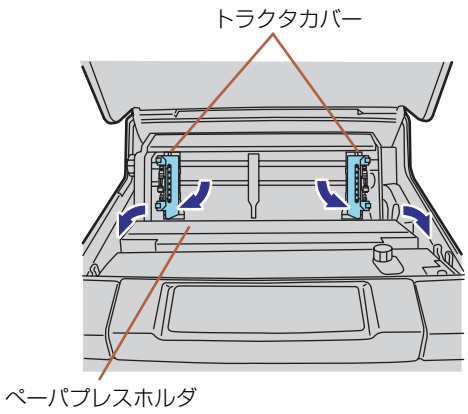
❸ **プラテン開閉レバーを後ろへ押してプラテンを開ける。**



❹ **ペーパプレスホルダを開けた後、左右のトラクタカバーを開ける。**

⚠注意

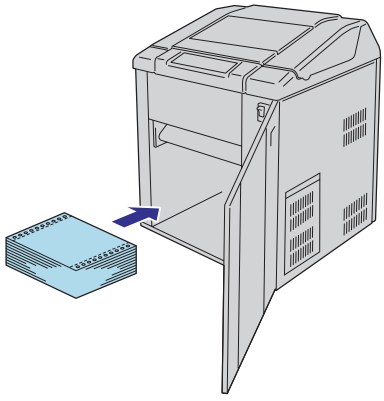
トラクタカバーに手をはさまないようにご注意ください。



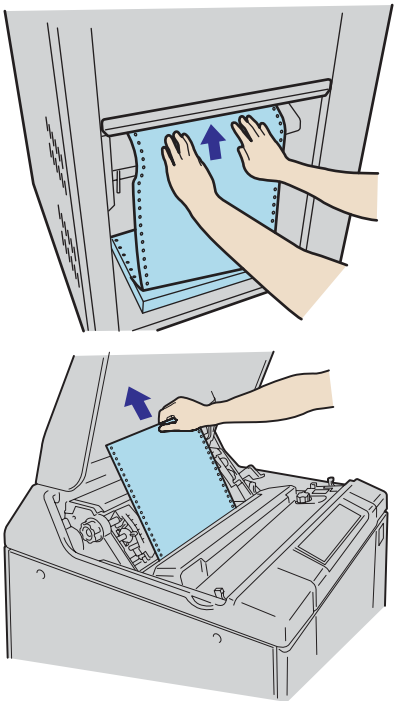
❺ **キャビネットのフロントドアを開け、用紙をキャビネットの中に入れる。**

チェック

用紙を包装箱およびビニールなどから出してキャビネットのなかにセットしてください。また、折りたたみ長さが短い用紙はキャビネットの奥にセットしないで、装置手前側にセットしてください。



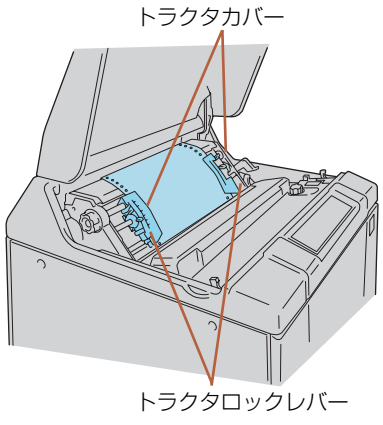
❻ **印刷面を上にして用紙挿入部から手で挿入し、トラクタのところに出てきたら、用紙を引き上げる。**



❼ **左右のトラクタロックレバーをつまみながらトラクタを左右に動かして、用紙の幅に合わせる。次に、トラクタロックレバーのつまみを離した後、用紙のフィードホールを左右のトラクタピンに合わせ、トラクタカバー、ペーパプレスホルダの順に閉じる。**

⚠ 注意

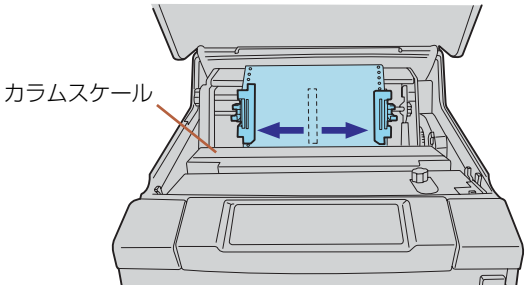
トラクタカバーに手をはさまないようにご注意ください。



❽ **ペーパプレスホルダ部の目盛り（カラムスケール）を参照しながら用紙を張り過ぎないようにトラクタ位置を決める。**

チェック

トラクタを左右に動かす際は、トラクタロックレバーをつまみながら行ってください。トラクタロックレバーから手を離すと、トラクタは固定されます。



❾ **使用する用紙の厚さに合わせて用紙厚セットレバーを適正な位置にセットする。**

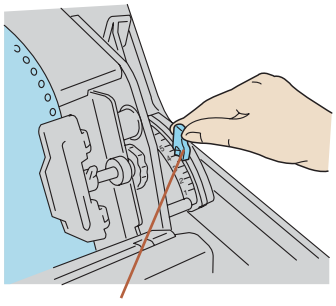
下表を目安としてください。

チェック

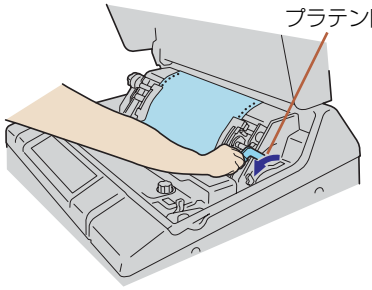
- 用紙厚セットレバーを設定する場合は、目盛り“1”に戻してから用紙厚セットレバーをスライドして設定してください。
- 用紙厚設定の目安を大幅に超えてのご使用は、印刷機構部にダメージを与えるおそれがあります。

印刷用紙の種類*		用紙厚セットレバー位置
1P	64～81.4g/m^2（55～70kg）	1+1/2～2
	104.7～127.9g/m^2（90～110kg）	2～3
2P	34.9～39.5g/m^2（30～34kg）	2～3
3P	34.9～39.5g/m^2（30～34kg）	2～3
4P	34.9～39.5g/m^2（30～34kg）	3～4
5P	34.9～39.5g/m^2（30～34kg）	3～4
6P	34.9～39.5g/m^2（30～34kg）	3～5
7P	34.9～39.5g/m^2（30～34kg）	4～6
8P	34.9～39.5g/m^2（30～34kg）	4～6

* 詳しくは、ユーザーズマニュアルの付録の「用紙規格」を参照してください。

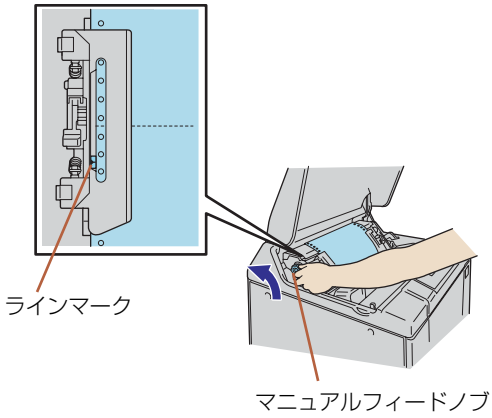


⑩ **プラテン開閉レバーを手前に引いてプラテンを閉じる。**



⑪ **［用紙微調（▲）］スイッチを押す、またはマニュアルフィードノブを回して印刷したい行の上ラインを、左右のトラクタのラインマーク（▶◀）に合わせる。**

印刷結果は文字の上端がその行のラインと一致します。

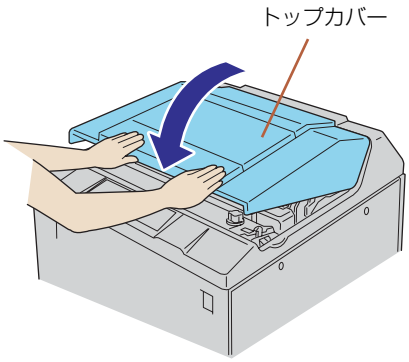


チェック

- ［用紙微調］スイッチでラインマークに合わせるときは最後に［用紙微調（▲）］スイッチを押して調整してください。最後の調整が［用紙微調（▼）］スイッチで終わると、微妙に用紙がたるんだ状態になり印刷品質が悪くなる場合があります。
- マニュアルフィードノブでは、用紙を逆フィードできません。必ず順方向にフィードさせて、ラインマークに合わせてください。
- 用紙長152.4mm（6インチ）以下の用紙を使用する場合は、左右のトラクタのラインマーク（▶◀）から上側に2枚分（シート分）の余白を取ってください。余白を取らない場合、用紙フィード不良の原因となります。

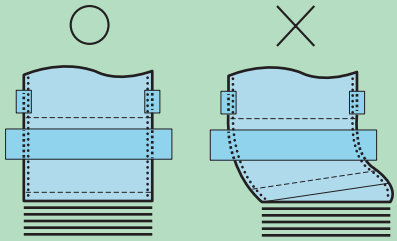
⑫ **トップカバーを閉じる。**

直後に用紙が引き込まれ、印刷したい行がプラテン上に送られます。



チェック

連続紙のストック分は、トラクタの用紙セット位置に対して鉛直線上になるように置いてください。



⑬ **［印刷可］スイッチを押して、セレクト状態（印刷可ランプ点灯）にする。**

これでコンピュータから受信したデータを連続紙に印刷するための準備ができました。

MultiImpact 750/560・N1153-025の用紙のセット方法

MultiImpact 750/560およびN1153-025で使用できるのは、連続紙（フィードホール付き連続用紙）のみです。用紙のサイズや印刷可能範囲については、ユーザーズマニュアルの「付録」を参照してください。

連続紙はトラクタにセットして使用します。トラクタフィーダは、主に次の部分から構成されています。

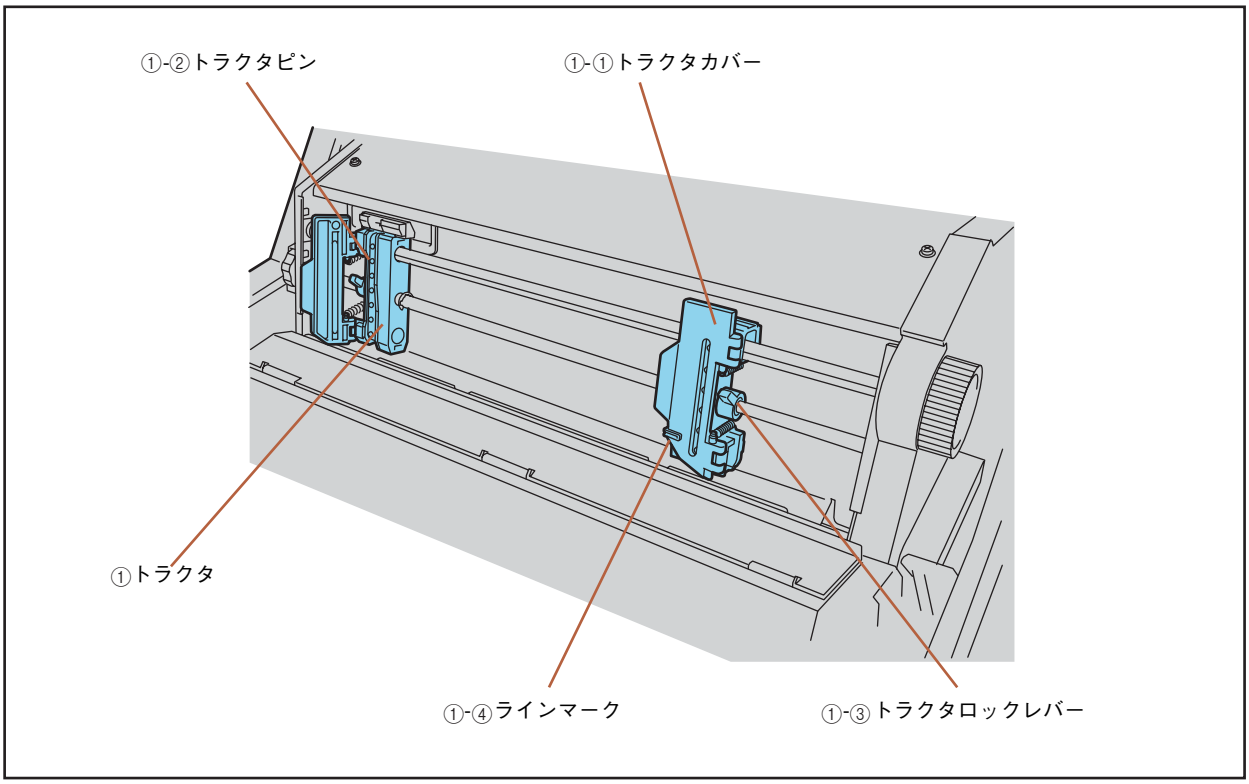
①トラクタ
トラクタカバー、トラクタピン、トラクタロックレバーなどから構成される連続紙の送り機構です。

①-①トラクタカバー
トラクタピンにセットした連続紙を押さえます。また、印刷したい行を設定するためのラインマークがトラクタカバー上についています。

①-②トラクタピン
連続紙の左右端の穴をこのピンに合わせてセットすることにより、正確な用紙送りができます。

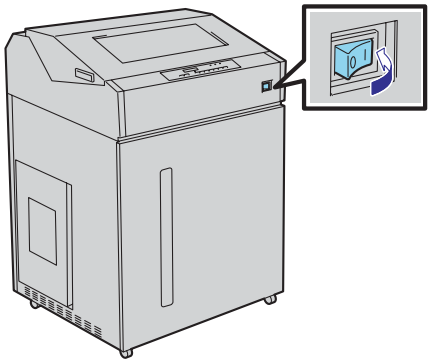
①-③トラクタロックレバー
トラクタの位置を固定するレバーです。レバーを下方向に倒すとロックは解除され、上方向に倒すとロックされます。

①-④ラインマーク
用紙をセットする際に、印刷位置を合わせます。

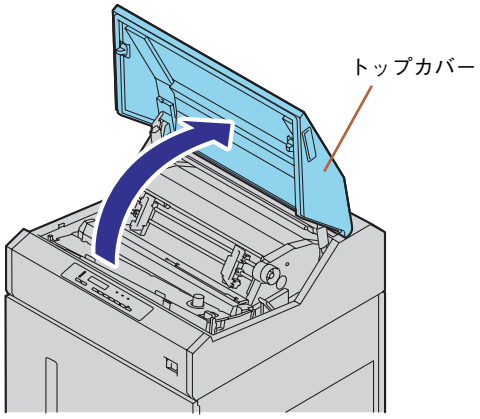


次の手順で用紙をセットします。

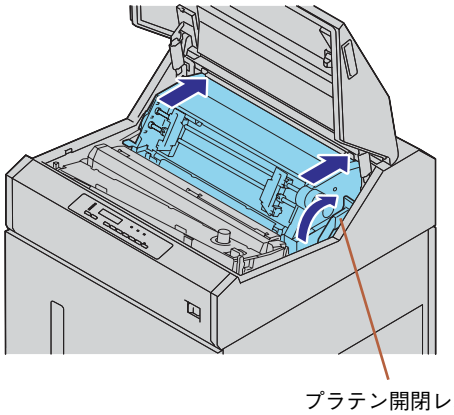
❶ プリンタ正面右側にある電源スイッチをON（「｜」側）にする。



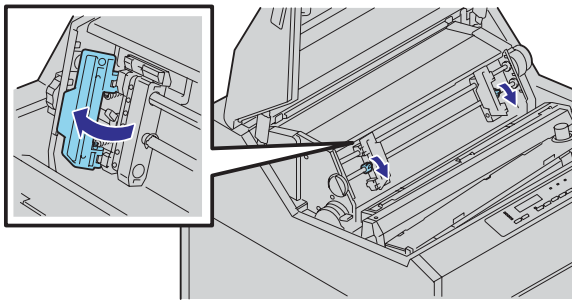
❷ トップカバーを開ける。



❸ プラテン開閉レバーを「OPEN」方向に倒して、プラテンを開ける。



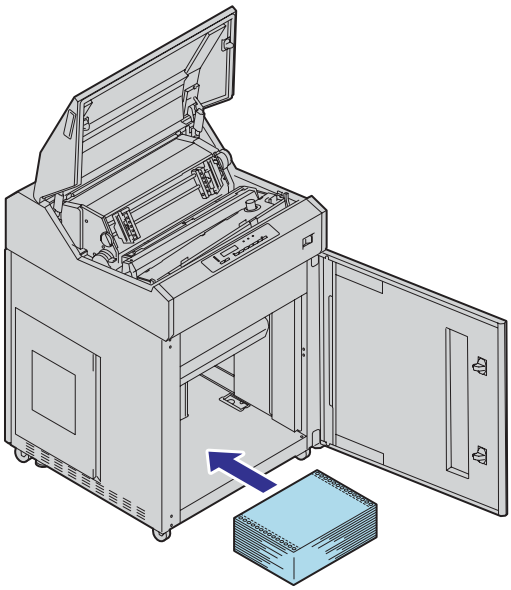
❹ 左右のトラクタロックレバーを下方向に倒して、トラクタが自由に動くようになったらトラクタの位置を左右端に移動し、トラクタカバーを開ける。



⚠ 注意

トラクタカバーに手をはさまないようにご注意ください。

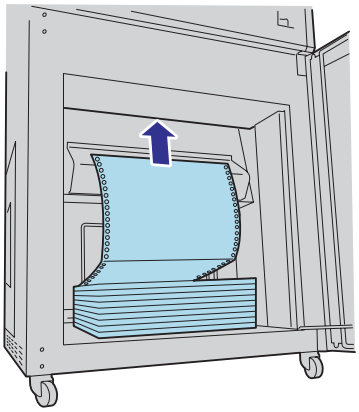
❺ フロントドアを開け、用紙をキャビネットの中へ入れる。

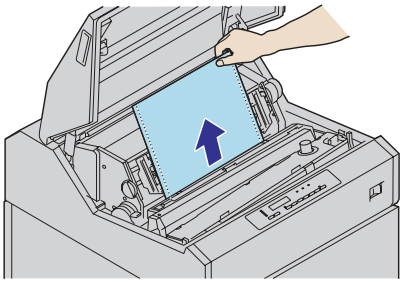


✔ チェック

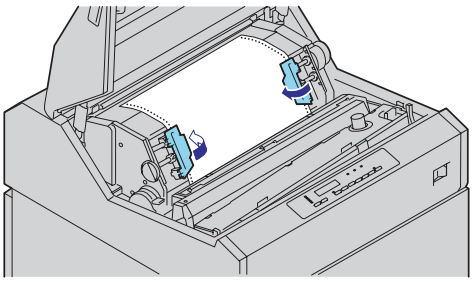
用紙を包装箱およびビニールなどから出してキャビネットの中にセットしてください。また、折りたたみ長さが短い用紙はキャビネットの奥にセットしないで、装置手前側にセットしてください。

❻ **用紙の印刷面を上にして用紙挿入部から入れて手で押し上げ、トラクタのところに出てきたら、用紙を引き上げる。**





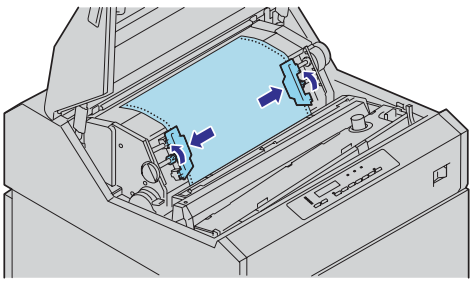
❼ **トラクタを左右に動かして用紙の幅に合わせる。次に、用紙のフィードホールを左右のトラクタピンにセットし、トラクタカバーを閉じる。**



⚠ 注意

トラクタカバーに手をはさまないようにご注意ください。

❽ **カラムスケールを参照しながら用紙を張り過ぎないようにトラクタ位置を決め、左右のトラクタロックレバーを上方向に倒しトラクタを固定する。**



❾ **プラテン開閉レバーを手前に引いてプラテンを閉じ、印刷用紙の種類に応じて用紙厚セットレバーを適正な位置に設定する。**

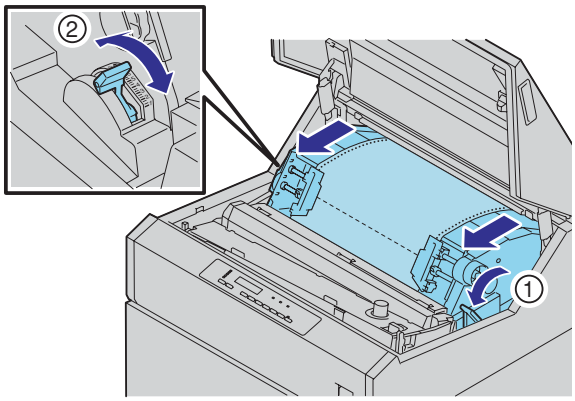
下表を目安としてください。

チェック

- 用紙厚セットレバーを設定する場合は、目盛り“1”に戻してからプラテン開閉レバーをスライドして設定してください。
- 用紙厚設定の目安を大幅に超えてのご使用は、印刷機構部にダメージを与えるおそれがあります。

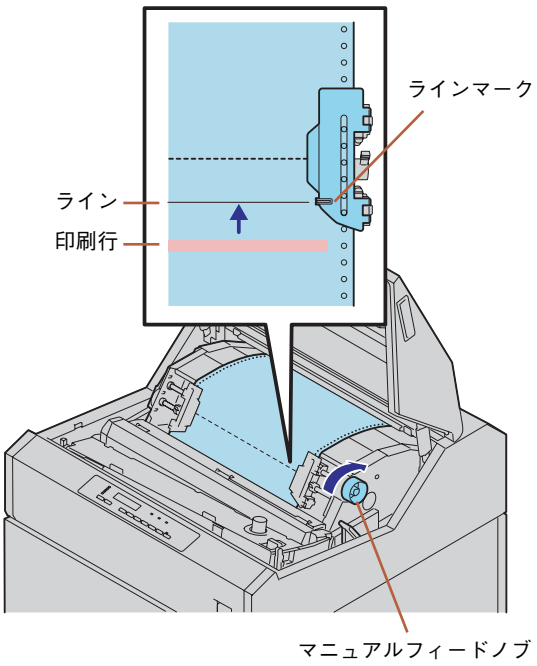
印刷用紙の種類*		用紙厚セットレバー位置
1P	64～81.4g/m^2（55～70kg）	1～2
	104.7～127.9g/m^2（90～110kg）	2～3
2P	34.9～39.5g/m^2（30～34kg）	1～2
3P	34.9～39.5g/m^2（30～34kg）	2～3
4P	34.9～39.5g/m^2（30～34kg）	3～4
5P	34.9～39.5g/m^2（30～34kg）	3～4
6P	34.9～39.5g/m^2（30～34kg）	4～5
7P	34.9～39.5g/m^2（30～34kg）	4～5
8P	34.9～39.5g/m^2（30～34kg）	5

* 詳しくは、ユーザーズマニュアルの付録の「用紙規格」を参照してください。



⑩ ［用紙微調（▲）］スイッチを押す、またはマニュアルフィードノブを回して印刷したい行の上ラインを、左右のトラクタのラインマークに合わせる。

印刷結果は文字の上端がその行のラインと一致します。

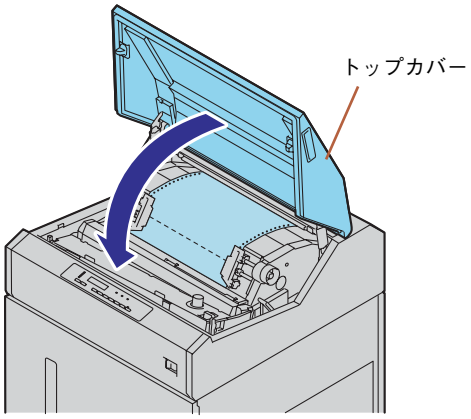


チェック

- ［用紙微調］スイッチでラインマークに合わせるときは最後に［用紙微調（▲）］スイッチを押して調整を完了してください。最後の調整が［用紙微調（▼）］スイッチで終わると、微妙に用紙がたるんだ状態になり印刷品質が悪くなる場合があります。
- マニュアルフィードノブでは、用紙を逆方向にフィードできません。必ず順方向にフィードさせて、ラインマークに合わせてください。
- 用紙長152.4mm（6インチ）以下の用紙を使用する場合は、左右のトラクタのラインマークから上側に2枚分の余白を取ってください。余白を取らない場合、用紙フィード不良の原因となります。

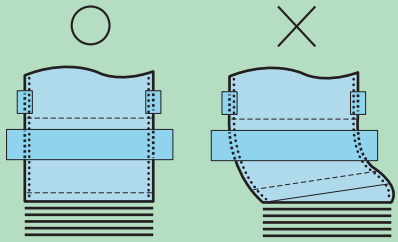
⑪ トップカバーを閉じる。

トップカバーを閉じると直後に用紙が引き込まれ、印刷したい位置がプラテン上に送られます。



チェック

連続紙のストック分は、トラクタの用紙セット位置に対して鉛直線上になるように置いてください。



⑫ ［印刷可］スイッチを押して、セレクト状態（印刷可ランプ点灯）にする。

これでコンピュータから受信したデータを連続紙で印刷するための準備ができました。

MultiImpact 750/210A・N1153-027の用紙のセット方法

MultiImpact 750/210AおよびN1153-027で使用できるのは、連続紙（フィードホール付き連続用紙）のみです。用紙のサイズや印刷可能範囲については、ユーザーズマニュアルの「付録」を参照してください。

連続紙はトラクタにセットして使用します。トラクタフィーダは、主に次の部分から構成されています。

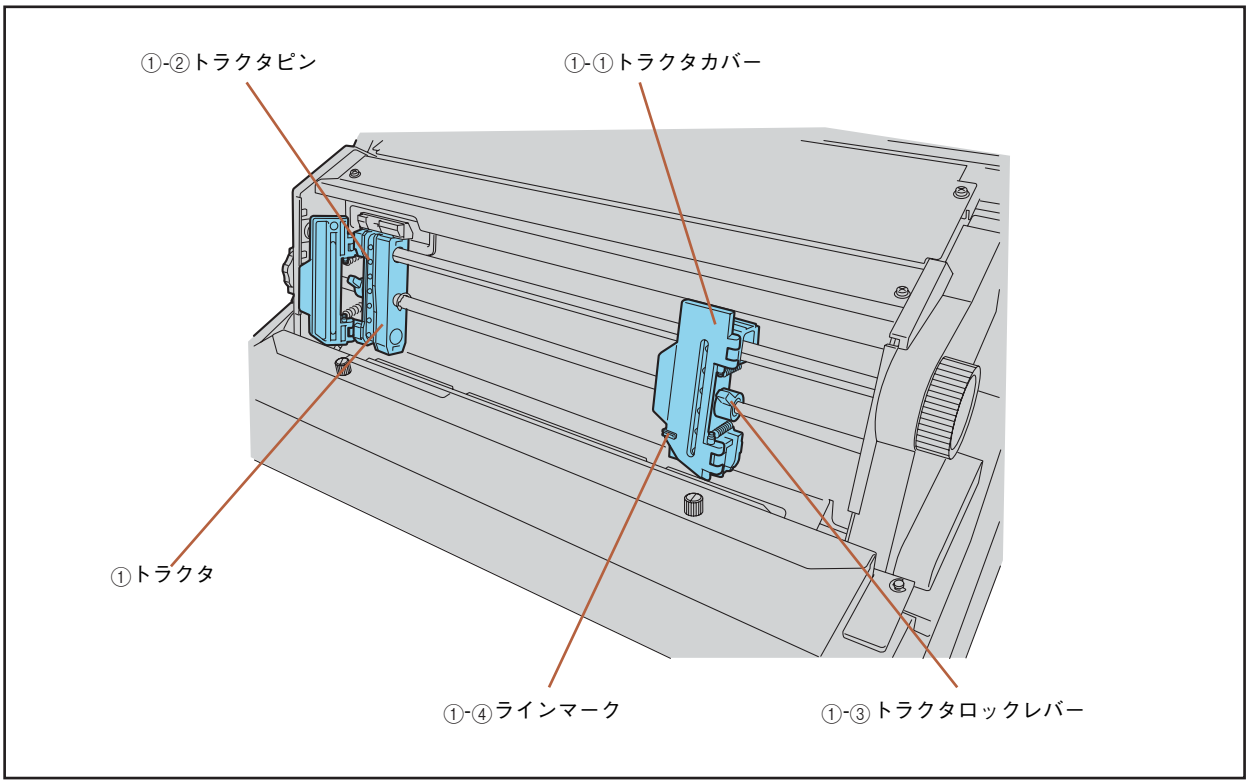
①トラクタ
トラクタカバー、トラクタピン、トラクタロックレバーなどから構成される連続紙の送り機構です。

①-①トラクタカバー
トラクタピンにセットした連続紙を押さえます。また、印刷したい行を設定するためのラインマークがトラクタカバー上についています。

①-②トラクタピン
連続紙の左右端の穴をこのピンに合わせてセットすることにより、正確な用紙送りができます。

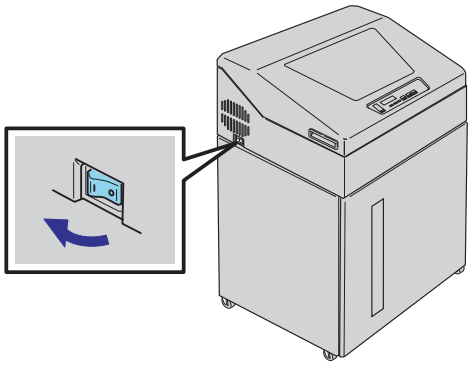
①-③トラクタロックレバー
トラクタの位置を固定するレバーです。レバーを下方向に倒すとロックは解除され、上方向に倒すとロックされます。

①-④ラインマーク
用紙をセットする際に、印刷位置を合わせます。

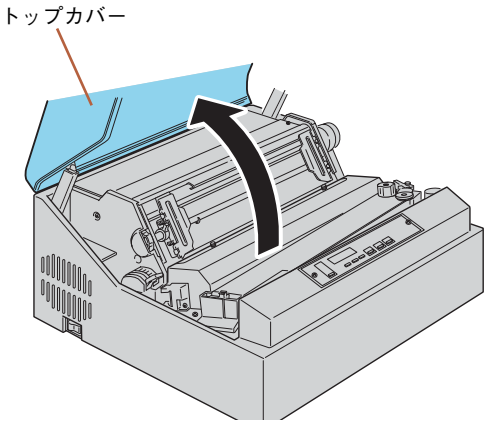


次の手順で用紙をセットします。

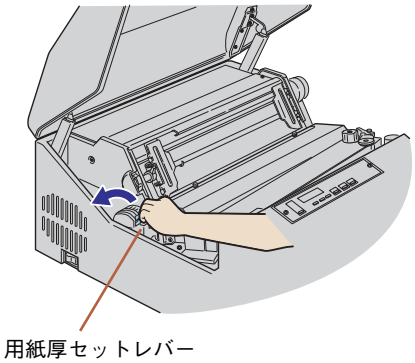
❶ プリンタ左横にある電源スイッチをON（「｜」側）にする。



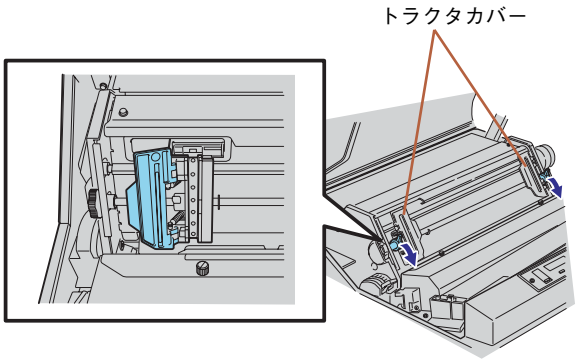
❷ トップカバーを開ける。



❸ 用紙厚セットレバーを「OPEN」方向に倒して、プラテンを開ける。



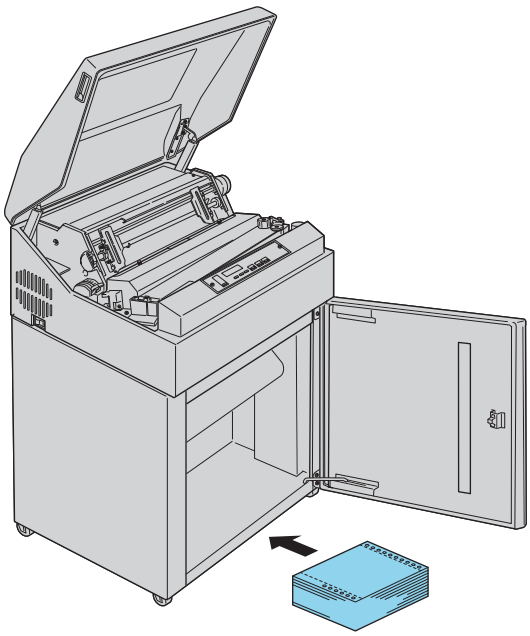
❹ 左右のトラクタロックレバーを下方向に倒して、トラクタが自由に動くようになったらトラクタの位置を左右端に移動し、トラクタカバーを開ける。



⚠ 注意

トラクタカバーに手をはさまないようにご注意ください。

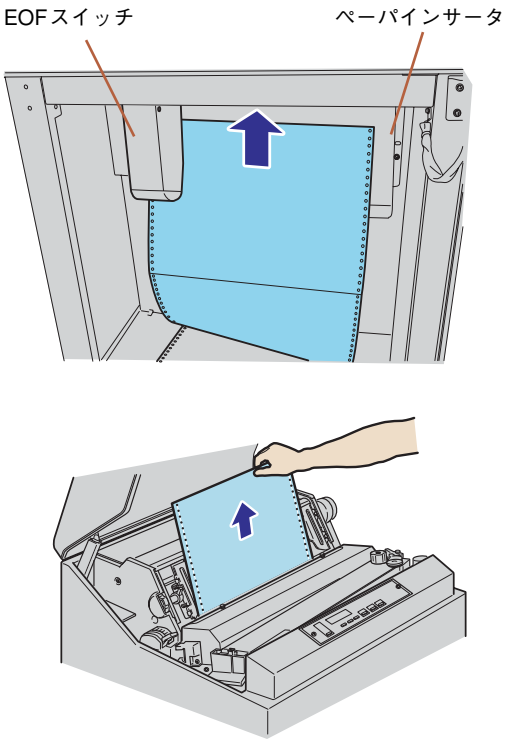
❺ フロントドアを開け、用紙をキャビネットの中へ入れる。



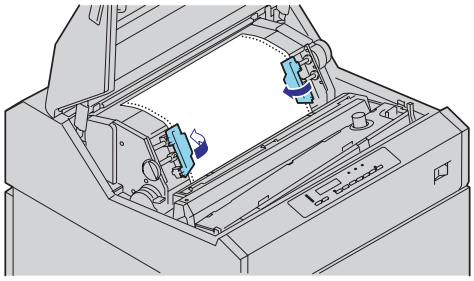
✔ チェック

用紙を包装箱およびビニールなどから出してキャビネットの中にセットしてください。また、折りたたみ長さが短い用紙はキャビネットの奥にセットしないで、装置手前側にセットしてください。

❻ **用紙の印刷面を上にして用紙挿入部から手で図のようにEOFスイッチとペーパインサータの間を通して用紙を挿入し、トラクタのところに出てきた用紙を引き上げる。**



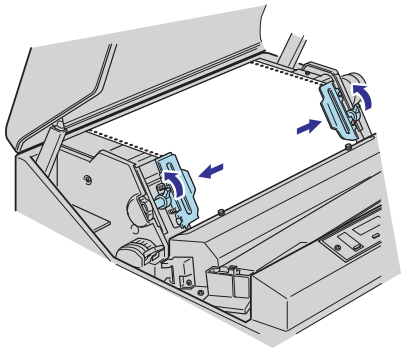
❼ **トラクタを左右に動かして、用紙の幅に合わせたら、用紙のフィードホールを左右のトラクタピンに合わせ、トラクタカバーを閉じる。**



⚠ 注意

トラクタカバーに手をはさまないようにご注意ください。

❽ **カラムスケールを参照しながら用紙を張り過ぎないようにトラクタ位置を決め、左右のトラクタロックレバーを上方向に倒しトラクタを固定する。**



❾ **用紙厚セットレバーを手前に引いてプラテンを閉じ、印刷用紙の種類に応じて用紙厚セットレバーを適正な位置に設定する。**

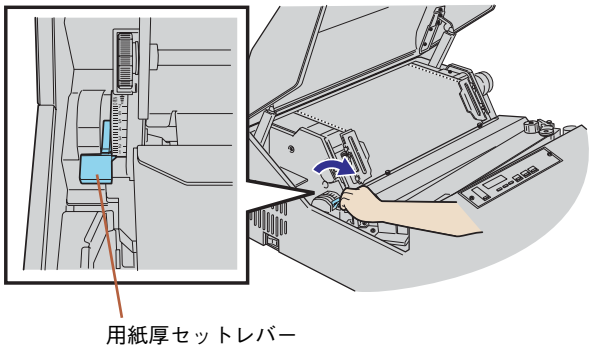
下表を目安としてください。

チェック

- 用紙厚セットレバーを設定する場合は、目盛り“1”に戻してから用紙厚セットレバーをスライドして設定してください。
- 用紙厚設定の目安を大幅に超えてのご使用は、印刷機構部にダメージを与えるおそれがあります。

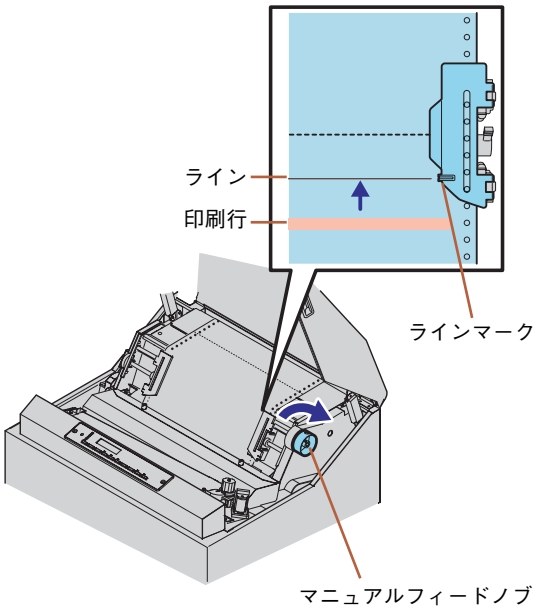
印刷用紙の種類*		用紙厚セットレバー位置
1P	64～81.4g/m^2（55～70kg）	1～2
	104.7～127.9g/m^2（90～110kg）	2～3
2P	34.9～39.5g/m^2（30～34kg）	1～2
3P	34.9～39.5g/m^2（30～34kg）	2～3
4P	34.9～39.5g/m^2（30～34kg）	3～4
5P	34.9～39.5g/m^2（30～34kg）	3～4
6P	34.9～39.5g/m^2（30～34kg）	4～5
7P	34.9～39.5g/m^2（30～34kg）	4～5
8P	34.9～39.5g/m^2（30～34kg）	4 $^2/_3$～6

* 詳しくは、ユーザーズマニュアルの付録の「用紙規格」を参照してください。



⑩ **［用紙微調（▲）］スイッチを押す、またはマニュアルフィードノブを回して印刷したい行の上ラインを、左右のトラクタのラインマーク（▶◀）に合わせる。**

印刷結果は文字の上端がその行のラインと一致します。

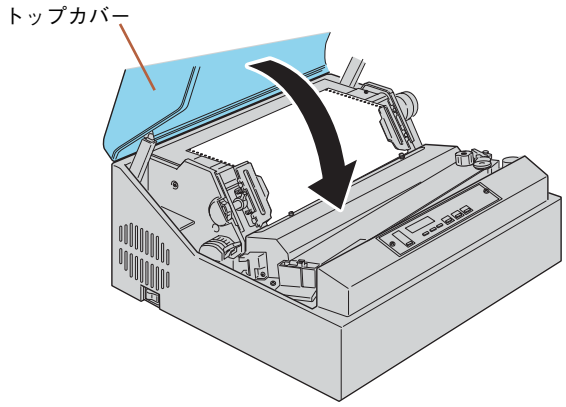


チェック

- ［用紙微調］スイッチでラインマークに合わせるときは最後に［用紙微調（▲）］スイッチを押して調整を完了してください。最後の調整が［用紙微調（▼）］スイッチで終わると、微妙に用紙がたるんだ状態になり印刷品質が悪くなる場合があります。
- マニュアルフィードノブでは、用紙を逆方向にフィードできません。必ず順方向にフィードさせて、ラインマークに合わせてください。
- 用紙長152.4mm（6インチ）以下の用紙を使用する場合は、左右のトラクタのラインマークから上側に2枚分の余白を取ってください。余白を取らない場合、用紙フィード不良の原因となります。

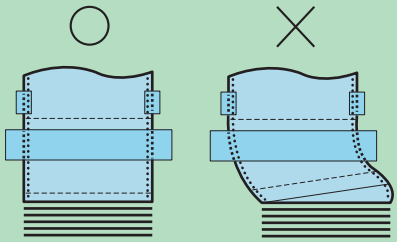
⑪ **トップカバーを閉じる。**

トップカバーを閉じると直後に用紙が引き込まれ、印刷したい位置がプラテン上に送られます。



チェック

連続紙のストック分は、トラクタの用紙セット位置に対して鉛直線上になるように置いてください。紙づまりなどの原因となります。



⑫ **［印刷可］スイッチを押して、セレクト状態（印刷可ランプ点灯）にする。**

これでコンピュータから受信したデータを連続紙で印刷するための準備ができました。

印刷に関する注意

印刷を行う場合は、次の点について注意してください。

チェック

- 印刷中はトップカバーを開けないでください。もし、印刷中にトップカバーを開けると印刷が停止します。再びカバーを閉じれば印刷が再開されますが、印刷文字に白いすじが発生したり、印刷品質が悪くなったりする場合があります。
- 印刷中にトップカバーを開けると印刷が停止し、用紙の一時排出動作を行います。このとき用紙ランプが点灯した場合は、トップカバーを閉じても用紙を元の位置に戻すことができないので、用紙を排出し、現在印刷中のページの残りのデータを捨ててしまいます。
- 操作パネル（またはリモートパネル）で設定する1ページの長さと印刷する用紙の長さが合っていない場合に用紙がなくなると、プラテンに空打ちして印刷ヘッドの故障の原因となりますので、必ず用紙長を正しく設定してください。また、用紙を再セットした後は印刷位置がずれますので、用紙の1ページの長さと操作パネル（またはリモートパネル）により設定する1ページの長さを合わせてください。用紙長が合っていないと、用紙切れ検出後のデータが失われます。
- 2ページにまたがる（設定されている用紙長以上の）逆改行はできません。
- 最終ページの用紙下端から8mmは印刷できませんので注意してください。最終ページの用紙下端から8mm以内に印刷するようにしている場合、プログラムどおり印刷できません。
- 最終ページの用紙下端から約30mm以内に印刷すると多少印刷が乱れることがあります。
- バーコードを印刷する時は、坪量81.4～104.7g/m^2（連量70～90kg）の用紙を使用してください。それ以外の用紙は推奨していないので事前にご確認ください。また、複写用紙には絶対に印刷しないでください。
- OCR-B近似フォントを印刷する時は、坪量104.7g/m^2（連量90kg）の用紙を使用してください。それ以外の用紙は推奨していないので事前にご確認ください。また、複写用紙には絶対に印刷しないでください。
- OCR-B近似フォントおよびバーコード／カスタマバーコードは高品位モードで印刷してください。それ以外のモードで印刷した場合は、読み取りは保証できません。
- エリートフォント、コンデンスフォントと2.47mm（7P）相当漢字、3.35mm（9.5P）相当漢字はエミュレーションして印刷しているため印刷品質が多少悪くなります。
- ドット列印字モードまたは修飾文字を印刷する場合、エミュレーションして印刷しているため印刷品質が多少悪くなります。
- 独自で作成したバーコードなど、プリンタ内蔵のバーコード以外のバーコードで印刷する場合、読み取れない場合がありますので事前にご確認ください。
- OCR-B近似フォントおよびバーコード／カスタマバーコードは読み取り装置によっては読み取れない場合があります。事前にご確認ください。
- インクリボンの寿命などにより印刷にかすれがある場合は、OCR-Bおよびバーコード読取装置でうまく読み取れない場合があります。
- 印刷中インクリボンの継ぎ目の影響による汚れが発生する場合があります。
- 印刷品質は、高品位印刷が最も良く、通常印刷や高速印刷の場合は多少悪くなります。
- 印刷範囲については、ユーザーズマニュアルの付録の「印刷範囲」を参照してください。
- ユーザーズマニュアルの付録の「用紙規格」および「用紙設計に関する注意事項」に合致した用紙を使用してください。
- 印刷開始後、用紙の先頭ページがミシン目の折り方向に折りたたまれ、正常にスタックされていることを確認してください。正常に折りたたまれていないと紙づまりなどが発生する場合があります。

メ　モ

2章 メニューモードで設定変更する

メニューモード

ここでは、メニューモードの設定方法について説明します。

メニューモード機能（MultiImpact 750シリーズ）

MultiImpact 750シリーズでのメニューモードの入り方やメニューモードで変更できる機能について説明します。

メニューモードでパラメータを表示・変更する

❶ **用紙をセットする。**

❷ **プリンタがディセレクト状態（印刷可ランプ消灯、液晶ディスプレイに“ディセレクト”と表示）になっていることを確認する。**

> **チェック**
>
> プリンタに用紙がセットされていないと液晶ディスプレイに“ディセレクト”と表示されません。用紙をセットしてから以下の操作を行ってください。

❸ **［機能選択］スイッチを押す。**

液晶ディスプレイに“オシラセ　ヒョウジ”と表示されます。

❹ **さらに［機能選択］スイッチを押して、目的の項目を表示させる。**

❺ **＜“オシラセ　ヒョウジ”の場合＞**

① **“オシラセ　ヒョウジ”と表示されている状態で［改頁］スイッチを1回押す。**

② **［用紙微調（▲）］あるいは［用紙微調（▼）］スイッチを押して、表示のON／OFFを切り替える。**

＜“ホシュ　カウンタ”の場合＞

① **“ホシュ　カウンタ”と表示されている状態で［改頁］スイッチを1回押す。**

はじめに推奨交換周期（交換の目安）に到達している部品の番号を表示する“オシラセ　タイショウブヒン”が表示されます。

② **［機能選択］スイッチを押す。**

押すたびに各部品と現在のカウンタ値、および推奨交換周期（交換の目安）に到達しているか、到達していないかを示す記号がディスプレイの2段目右端に表示されます（“＊”は推奨交換周期（交換の目安）に到達、空白は推奨交換周期（交換の目安）に未到達）。

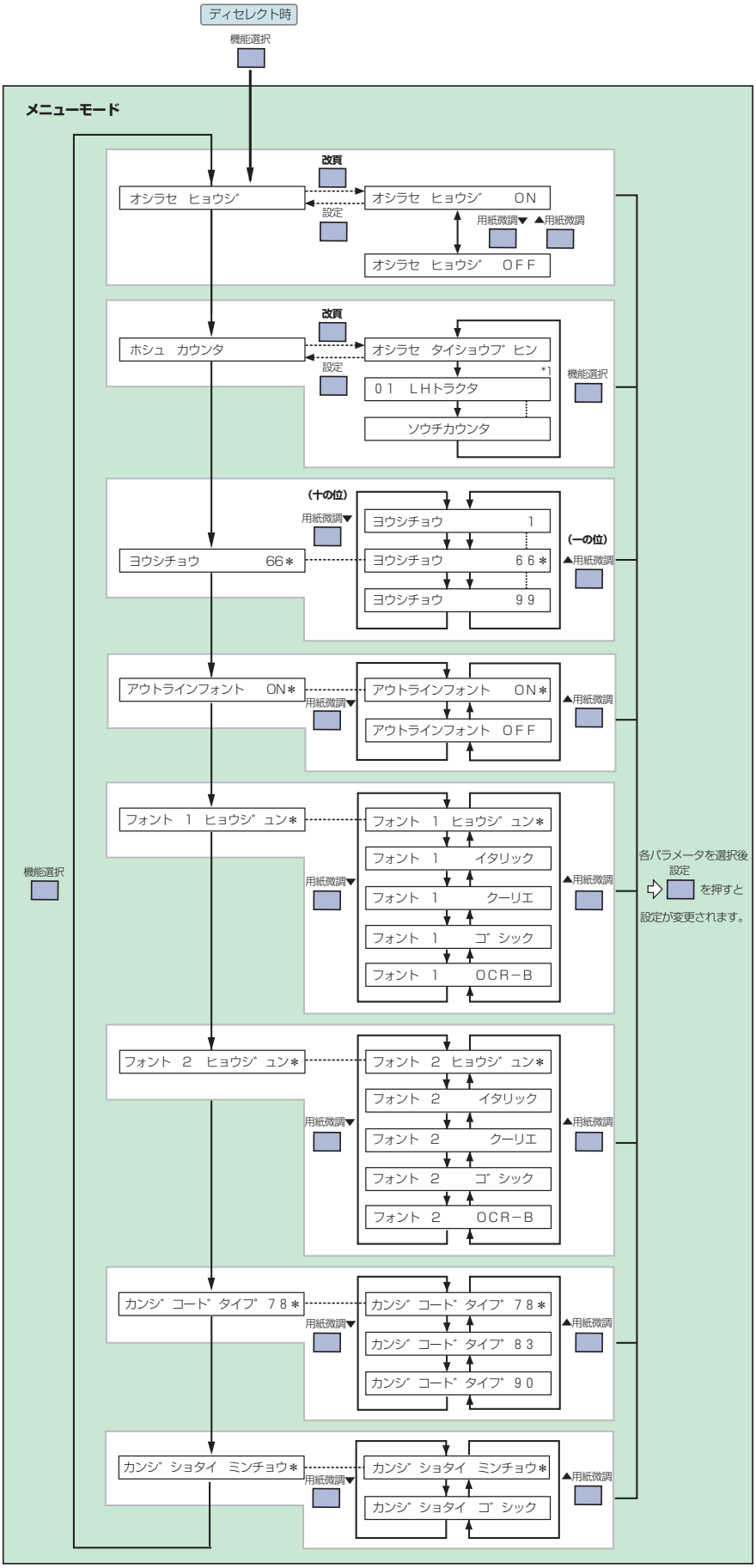
<その他の場合>

［用紙微調（▲）］あるいは［用紙微調（▼）］スイッチを押して、パラメータ項目のパラメータの設定変更を行う（それぞれの設定の説明を参照）。

❻ パラメータの確認または変更が終了したら［設定］スイッチを押す。

メニューモードを終了し、変更されたパラメータはプリンタ内に記憶されます。なお、変更したい項目が複数ある場合には、上記3～5の手順を繰り返してください。

メニューモードで設定を変更する操作の流れを次に示します。



*1　"ホシュ　カウンタ"の"オシラセ　タイショウブヒン"に表示される部品名はお使いのプリンタによって異なります。詳しくは次ページの「各機能項目の説明」を参照してください。

各機能項目の説明

お知らせ表示の設定

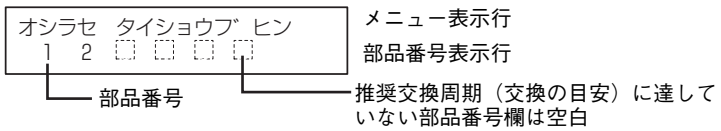
有寿命部品表示を有効にするか、無効にするかを設定します。有効（出荷時の設定：ON）にすると、推奨交換周期（交換の目安）に達した有寿命部品の部品名を操作パネルのディスプレイに表示します。無効（OFF）にすると、ディスプレイに表示しません。有寿命部品の推奨交換周期（交換の目安）を促す表示については下表のとおりです。
この表示が現れても、印刷を続けることはできます。ただし、プリンタ内部の部品劣化により装置故障を起こすおそれがあります。予防保全のために交換を希望される場合は、サービス担当者に依頼してください。

液晶ディスプレイの表示			内　容
MultiImpact 750/850A	MultiImpact 750/560	MultiImpact 750/210A	
01　トラクタL	01　トラクタL	01　LHトラクタ	トラクタの推奨交換周期（交換の目安）です。
02　トラクタR	02　トラクタR	02　RHトラクタ	
03　ハンマキコウブ	03　ハンマキコウブ	03　ハンマキコウブ	ハンマキコウブの推奨交換周期（交換の目安）です。
ー	04　ハンマケーブル	ー	ハンマケーブルの推奨交換周期（交換の目安）です。
05　リボンセパレータ	05　リボンセパレータ	05　リボンセパレータ	リボンセパレータの推奨交換周期（交換の目安）です。
ー	06　フリクションプレート	ー	フリクションプレートの推奨交換周期（交換の目安）です。
ー	07　プラテン	07　プラテン	プラテンの推奨交換周期（交換の目安）です。
08　タイミングベルト265	08　タイミングベルト	08　タイミングベルト	タイミングベルトの推奨交換周期（交換の目安）です。
09　タイミングベルト140	ー	ー	

保守カウンタの表示

この項目は有寿命部品の状態を確認するためのものです。
“オシラセ　タイショウブヒン”には推奨交換周期（交換の目安）に達した有寿命部品の部品番号が表示されます。“オシラセ　タイショウブヒン”で［機能選択］スイッチを押すごとに各有寿命部品の部品番号、部品名、およびその保守カウンタ値が表示されます。

推奨交換周期（交換の目安）に達している場合の表示例



MultiImpact 750/850Aでの部品番号

1　トラクタL（左側トラクタ）
2　トラクタR（右側トラクタ）
3　ハンマキコウブ（ハンマ機構部）
5　リボンセパレータ
8　タイミングベルト265
9　タイミングベルト140

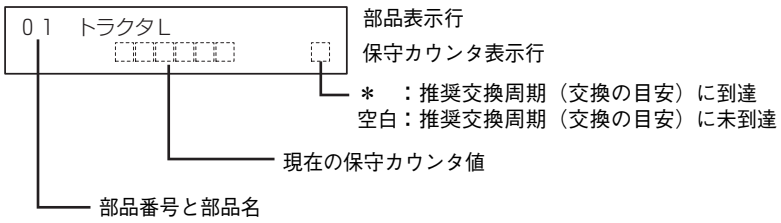
MultiImpact 750/560での部品番号

1　トラクタL（左側トラクタ）
2　トラクタR（右側トラクタ）
3　ハンマキコウブ（ハンマ機構部）
4　ハンマケーブル
5　リボンセパレータ
6　フリクションプレート
7　プラテン
8　タイミングベルト

MultiImpact 750/210Aでの部品番号

1　LHトラクタ（左側トラクタ）
2　RHトラクタ（右側トラクタ）
3　ハンマキコウブ（ハンマ機構部）
5　リボンセパレータ
7　プラテン
8　タイミングベルト

保守カウンタ表示例



MultiImpact 750/850Aでの部品番号

０１　トラクタＬ（左側トラクタ）
０２　トラクタＲ（右側トラクタ）
０３　ハンマキコウブ（ハンマ機構部）
０５　リボンセパレータ
０８　タイミングベルト265
０９　タイミングベルト140

MultiImpact 750/560での部品番号

０１　トラクタＬ（左側トラクタ）
０２　トラクタＲ（右側トラクタ）
０３　ハンマキコウブ（ハンマ機構部）
０４　ハンマケーブル
０５　リボンセパレータ
０６　フリクションプレート
０７　プラテン
０８　タイミングベルト
(空白) ソウチカウンタ（装置カウンタ）

MultiImpact 750/210Aでの部品番号

０１　ＬＨトラクタ（左側トラクタ）
０２　ＲＨトラクタ（右側トラクタ）
０３　ハンマキコウブ（ハンマ機構部）
０５　リボンセパレータ
０７　プラテン
０８　タイミングベルト
(空白) ソウチカウンタ（装置カウンタ）

用紙長の設定

改頁機能が正しく動作するように、使用する用紙の長さに応じた値を設定します。パラメータは、改行幅4.23mm（1/6インチ）を基準として、その行数を設定します。設定範囲は1行から99行までです。使用するソフトウェアまたはOSが用紙長を管理している場合、本設定は無効になることがあります。

アウトラインフォント設定

日本語モード（2バイト系文字）において、拡大印刷（2 X 2倍以上）を行う場合、アウトラインフォント（輪郭をなめらかにした字体）を使用するかどうかを選択します。本設定は、OS環境に関係なく機能します。また、ソフトウェアによる設定は行えません。
ただし、MultiImpact 750/850Aの場合は、2 X 2倍まではアウトライン処理を行いません。

- アウトラインフォント使用を選択すると、印刷のための処理に時間がかかり、印刷速度が遅くなる場合があります。
- 次の場合にはアウトラインフォント印刷は無効となります。
  - ー　外字を印刷するとき
  - ー　拡大文字印刷にワープロソフト独自の文字を使うような一部のワープロソフトを使用しているとき
- アウトラインフォントの設定をOFFにした状態で電源スイッチをOFF→ONにすると、アウトラインフォント設定はONに戻ります。

フォント1選択

ANKモード（1バイト系文字）において、印刷するANK文字フォントの選択を行います。

フォント2選択

ANKモード（1バイト系文字）において、印刷するANK文字フォントの選択を行います。

漢字コード選択

1978年のJIS漢字コード表、1983年のJIS漢字コード表および1990年版JIS漢字コード表のいずれかを選択する場合に使用します。

漢字書体選択

明朝体、またはゴシック体のどちらかの書体の選択を行います。

メニューモード機能（N1153-025/026/027）

N1153-025/026/027でのメニューモードの入り方やメニューモードで変更できる機能について説明します。なお、N6343-41A/N7859-01B、N5263-71A/N7860-03A、N1123-01A/N1133-01Aプリンタ互換に内部設定を変更する手順およびN6343-41A/N7859-01B、N5263-71A/N7860-03A、N1123-01A/N1133-01Aプリンタ互換におけるメニューモードの操作と機能については、36ページを参照してください。

メニューモードでパラメータを表示・変更する

❶ **用紙をセットする。**

❷ **プリンタがディセレクト状態（印刷可ランプ消灯、液晶ディスプレイに“ディセレクト”と表示）になっていることを確認する。**

> **チェック**
> プリンタに用紙がセットされていないと液晶ディスプレイに“ディセレクト”と表示されません。用紙をセットしてから以下の操作を行ってください。

❸ **［機能選択］スイッチを押す。**
液晶ディスプレイに“オシラセ　ヒョウジ”と表示されます。

❹ **さらに［機能選択］スイッチを押して、目的の項目を表示させる。**

❺ **＜“オシラセ　ヒョウジ”の場合＞**

① **“オシラセ　ヒョウジ”と表示されている状態で［改頁］スイッチを1回押す。**

② **［用紙微調（▲）］あるいは［用紙微調（▼）］スイッチを押して、表示のON／OFFを切り替える。**

＜“ホシュ　カウンタ”の場合＞

① **“ホシュ　カウンタ”と表示されている状態で［改頁］スイッチを1回押す。**
はじめに推奨交換周期（交換の目安）に到達している部品の番号を表示する“オシラセ　タイショウブヒン”が表示されます。

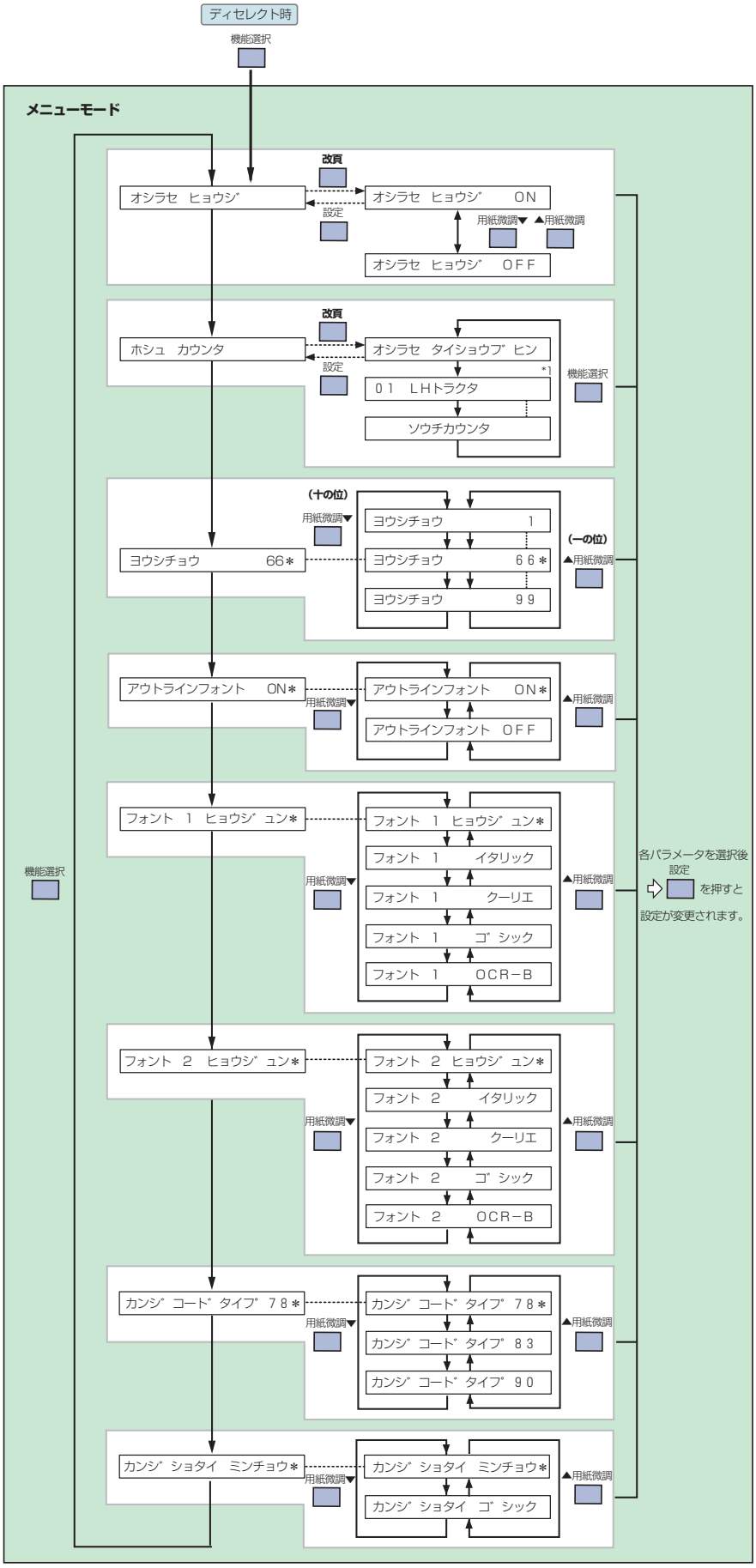
② **［機能選択］スイッチを押す。**
押すたびに各部品と現在のカウンタ値、および推奨交換周期（交換の目安）に到達しているか、到達していないかを示す記号がディスプレイの2段目右端に表示されます（“＊”は推奨交換周期（交換の目安）に到達、空白は推奨交換周期（交換の目安）に未到達）。

＜その他の場合＞

［用紙微調（▲）］あるいは［用紙微調（▼）］スイッチを押して、パラメータ項目のパラメータの設定変更を行う（それぞれの設定の説明を参照）。

❻ **パラメータの確認または変更が終了したら［設定］スイッチを押す。**
メニューモードを終了し、変更されたパラメータはプリンタ内に記憶されます。なお、変更したい項目が複数ある場合には、上記3～5の手順を繰り返してください。

メニューモードで設定を変更する操作の流れを次に示します。



*1　“ホシュ　カウンタ”の“オシラセ　タイショウブヒン”に表示される部品名はお使いのプリンタによって異なります。詳しくは次ページの「各機能項目の説明」を参照してください。

各機能項目の説明

お知らせ表示の設定

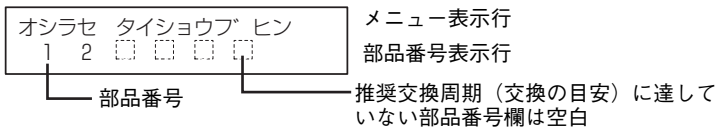
有寿命部品表示を有効にするか、無効にするかを設定します。有効（出荷時の設定：ON）にすると、推奨交換周期（交換の目安）に達した有寿命部品の部品名を操作パネルのディスプレイに表示します。無効（OFF）にすると、ディスプレイに表示しません。有寿命部品の推奨交換周期（交換の目安）を促す表示については下表のとおりです。
この表示が現れても、印刷を続けることはできます。ただし、プリンタ内部の部品劣化により装置故障を起こすおそれがあります。予防保全のために交換を希望される場合は、サービス担当者に依頼してください。

液晶ディスプレイの表示			内　容
N1153-025	N1153-026	N1153-027	
01　トラクタL	01　トラクタL	01　LHトラクタ	トラクタの推奨交換周期（交換の目安）です。
02　トラクタR	02　トラクタR	02　RHトラクタ	
03　ハンマキコウブ	03　ハンマキコウブ	03　ハンマキコウブ	ハンマキコウブの推奨交換周期（交換の目安）です。
04　ハンマケーブル	ー	ー	ハンマケーブルの推奨交換周期（交換の目安）です。
05　リボンセパレータ	05　リボンセパレータ	05　リボンセパレータ	リボンセパレータの推奨交換周期（交換の目安）です。
06　フリクションプレート	ー	ー	フリクションプレートの推奨交換周期（交換の目安）です。
07　プラテン	ー	07　プラテン	プラテンの推奨交換周期（交換の目安）です。
08　タイミングベルト	08　タイミングベルト265	08　タイミングベルト	タイミングベルトの推奨交換周期（交換の目安）です。
ー	09　タイミングベルト140	ー	

保守カウンタの表示

この項目は有寿命部品の状態を確認するためのものです。
“オシラセ　タイショウブヒン”には推奨交換周期（交換の目安）に達した有寿命部品の部品番号が表示されます。“オシラセ　タイショウブヒン”で［機能選択］スイッチを押すごとに各有寿命部品の部品番号、部品名、およびその保守カウンタ値が表示されます。

推奨交換周期（交換の目安）に達している場合の表示例



N1153-025での部品番号

1　トラクタL（左側トラクタ）
2　トラクタR（右側トラクタ）
3　ハンマキコウブ（ハンマ機構部）
4　ハンマケーブル
5　リボンセパレータ
6　フリクションプレート
7　プラテン
8　タイミングベルト

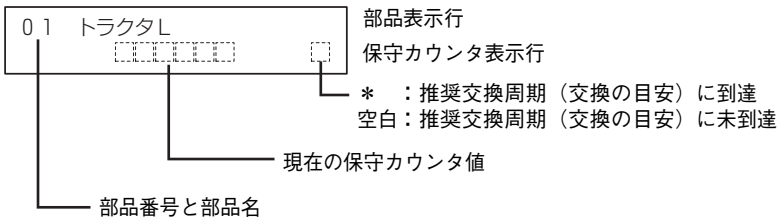
N1153-026での部品番号

1　トラクタL（左側トラクタ）
2　トラクタR（右側トラクタ）
3　ハンマキコウブ（ハンマ機構部）
5　リボンセパレータ
8　タイミングベルト265
9　タイミングベルト140

N1153-027での部品番号

1　LHトラクタ（左側トラクタ）
2　RHトラクタ（右側トラクタ）
3　ハンマキコウブ（ハンマ機構部）
5　リボンセパレータ
7　プラテン
8　タイミングベルト

保守カウンタ表示例



N1153-025での部品番号

０１　トラクタＬ（左側トラクタ）
０２　トラクタＲ（右側トラクタ）
０３　ハンマキコウブ（ハンマ機構部）
０４　ハンマケーブル
０５　リボンセパレータ
０６　フリクションプレート
０７　プラテン
０８　タイミングベルト
(空白) ソウチカウンタ（装置カウンタ）

N1153-026での部品番号

０１　トラクタＬ（左側トラクタ）
０２　トラクタＲ（右側トラクタ）
０３　ハンマキコウブ（ハンマ機構部）
０５　リボンセパレータ
０８　タイミングベルト265
０９　タイミングベルト140

N1153-027での部品番号

０１　ＬＨトラクタ（左側トラクタ）
０２　ＲＨトラクタ（右側トラクタ）
０３　ハンマキコウブ（ハンマ機構部）
０５　リボンセパレータ
０７　プラテン
０８　タイミングベルト
(空白) ソウチカウンタ（装置カウンタ）

用紙長の設定

改頁機能が正しく動作するように、使用する用紙の長さに応じた値を設定します。パラメータは、改行幅4.23mm（1/6インチ）を基準として、その行数を設定します。設定範囲は1行から99行までです。使用するソフトウェアまたはOSが用紙長を管理している場合、本設定は無効になることがあります。

アウトラインフォント設定

日本語モード（2バイト系文字）において、拡大印刷（2 X 2倍以上）を行う場合、アウトラインフォント（輪郭をなめらかにした字体）を使用するかどうかを選択します。本設定は、OS環境に関係なく機能します。また、ソフトウェアによる設定は行えません。

- アウトラインフォント使用を選択すると、印刷のための処理に時間がかかり、印刷速度が遅くなる場合があります。
- 次の場合にはアウトラインフォント印刷は無効となります。
  - ー　外字を印刷するとき
  - ー　拡大文字印刷にワープロソフト独自の文字を使うような一部のワープロソフトを使用しているとき
- アウトラインフォントの設定をOFFにした状態で電源スイッチをOFF→ONにすると、アウトラインフォント設定はONに戻ります。

フォント1選択

ANKモード（1バイト系文字）において、印刷するANK文字フォントの選択を行います。

フォント2選択

ANKモード（1バイト系文字）において、印刷するANK文字フォントの選択を行います。

漢字コード選択

1978年のJIS漢字コード表、1983年のJIS漢字コード表および1990年版JIS漢字コード表のいずれかを選択する場合に使用します。

漢字書体選択

明朝体、またはゴシック体のどちらかの書体の選択を行います。

N6343-41A/N7859-01B・N5263-71A/N7860-03A・N1123-01A/N1133-01A互換モードにおける操作と機能

N1153-025/026/027では、一般的なラインプリンタとしての機能を持ったモードでの運用の他に、Express5800/100シリーズのN6343-41A/N5263-71A/N1123-01Aプリンタや、N7859-01B/N7860-03A/N1133-01Aプリンタと互換を持ったモードでの運用ができます。
モードの切り替えには、プリンタの内部設定を変更する必要があります。プリンタの動作確認を行う前に、内部設定を変更してください。
設定方法は次のとおりです。

❶ **プリンタの電源スイッチをOFF（「○」側）にする。**

❷ **［印刷可］スイッチと［設定］スイッチを押したまま電源をONにする。**

❸ **［用紙微調（▼）］スイッチを5回押す。**
液晶ディスプレイの上段の行に“SMSW”、下段の行に“13-1　00000000”と表示されます。

❹ **［機能選択］スイッチを1回押す。**

❺ **［印刷可］スイッチを押す。**

❻ **［設定］スイッチを押す。**
液晶ディスプレイには“セレクト”と表示されます。
内部設定変更処理のため表示にしばらく時間がかかります。

チェック
手順に示す以外の操作は行わないでください。

上記に示す手順を行ったあと、さまざまの機能の設定や変更のできるメニューモードへの入り方と操作は次のとおりです。

❶ **用紙をセットする。**

❷ **プリンタがディセレクト状態（印刷可ランプ消灯、液晶ディスプレイに“ディセレクト”と表示）になっていることを確認する。**

チェック
プリンタに用紙がセットされていないと液晶ディスプレイに“ディセレクト”と表示されません。用紙をセットしてから以下の操作を行ってください。

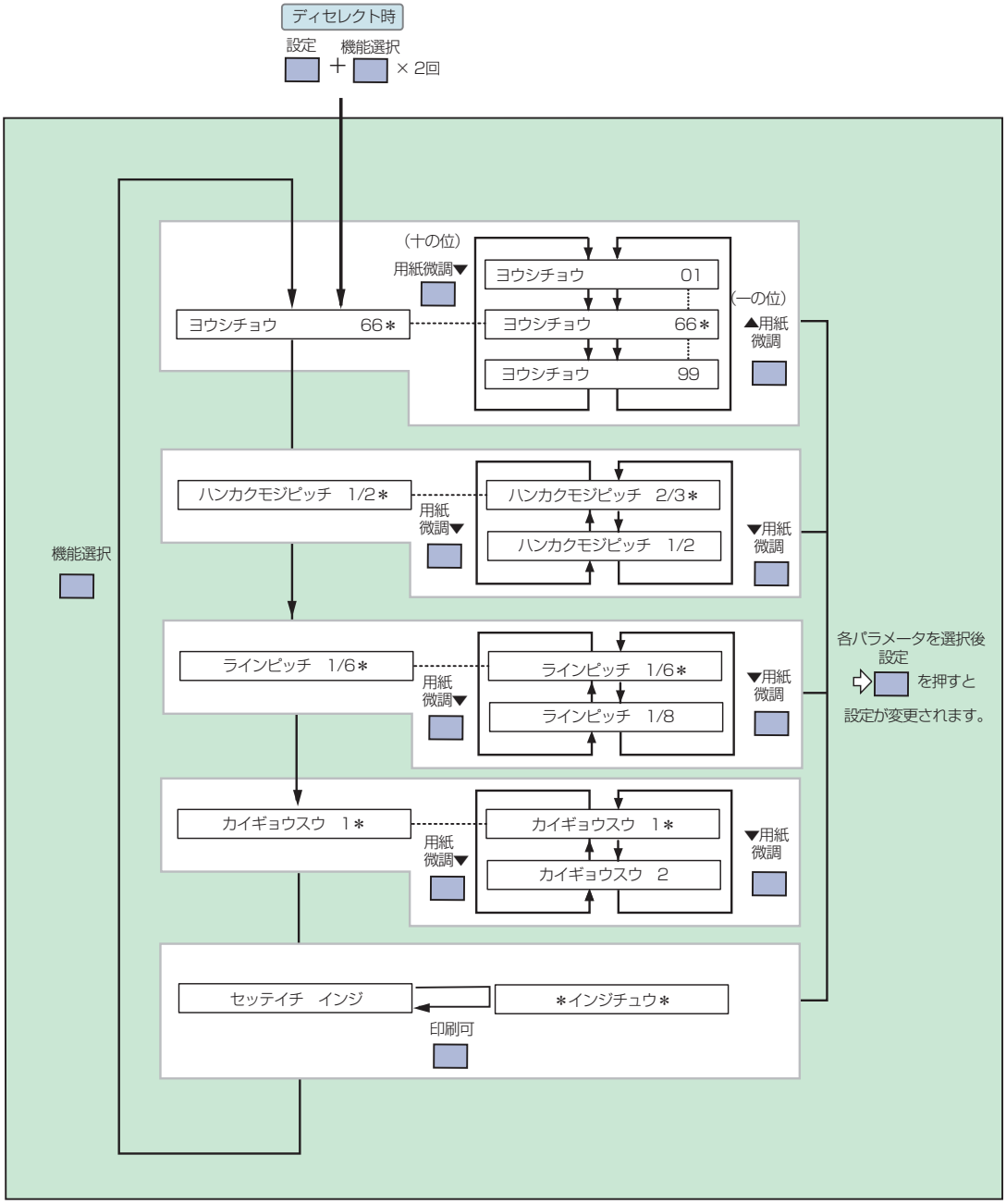
❸ **［設定］スイッチを押したまま［機能選択］スイッチを2回続けて押す。**
液晶ディスプレイに“ヨウシチョウ”と表示されます。

❹ **さらに［機能選択］スイッチを押して、設定・変更したいパラメータ項目を選択する。**

❺ **［用紙微調（▲）］あるいは［用紙微調（▼）］スイッチを押して、パラメータ項目のパラメータの設定変更を行う（それぞれの設定の説明を参照）。**

❻ **パラメータの変更が終了したら［設定］スイッチを押す。**
メニューモードを終了し、変更されたパラメータが設定されます。なお、変更したい項目が複数ある場合には、上記4、5の手順を繰り返してください。

N6343-41A/N7859-01B・N5263-71A/N7860-03A・N1123-01A/N1133-01A互換モードで設定を変更する操作の流れを次に示します。



各機能項目の説明

用紙長の設定

改頁機能が正しく動作するように、使用する用紙の長さに応じた値を設定します。パラメータは、改行幅4.23mm（1/6インチ）を基準として、その行数を設定します。設定範囲は1行から99行までです。使用するソフトウェアまたはOSが用紙長を管理している場合、本設定は無効になることがあります。

半角文字ピッチ切り替え

1/2または2/3のどちらかに桁方向の半角文字ピッチを選択します。

改行ピッチ切り替え

4.23mm（1/6インチ）または3.18mm（1/8インチ）のどちらかに改行ピッチを選択します。

改行数切り替え

1または2のどちらかに改行数を選択します。(N6343-41A/N7859-01B互換モードでは、用紙長設定の基準は4.23mm（1/6インチ）の場合と3.18mm（1/8インチ）の場合があります。)

設定値印字

現在設定されている内容を印刷します。

メモリスイッチ設定モード

MultiImpact 750シリーズには、32個のメモリスイッチ（Memory Switch：MSWと略す。機械的なスイッチではなく、ソフトウェアスイッチ）が内蔵されていて、各メモリスイッチの状態（ON/OFF）を切り替えることによって様々な機能を設定することができます。
メモリスイッチとは、電源スイッチのように機械的なものではなく、ON/OFFの設定を電気的に切り替え、記憶するものです。

メモリスイッチの機能とON/OFFに対応する設定内容は次のとおりです。（【　】の設定が工場出荷設定です。）

MSW番号	内容	OFF	ON
1-1～1-3	各国文字の切り替え	3つのスイッチのON/OFFの組み合わせにより、【日本】、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデンが切り替わります。	
1-4	（未使用）		
1-5	DC1/DC3の有効／無効の切り替え	【有効】	無効
1-6	自動復帰改行の切り替え	【復帰改行】	復帰のみ
1-7	印刷指令コードの切り替え	【CR】	CR＋その他
1-8	CR機能の切り替え	【復帰のみ】	復帰改行
2-1	1バイト系の数字ゼロの字体の切り替え	【0】	Ø
2-2	ドラフト解除受信時のモード設定	【通常】	高品位
2-3	ドット対応グラフィックのドット数の切り替え *1	【ネイティブモード】	コピーモード
2-4	コンピュータからの印刷モード切り替え	【有効】	無効
2-5	コンピュータからの濃度選択切り替え	【有効】	無効
2-6	7ビット／8ビットデータの切り替え	【8ビット】	7ビット
2-7	用紙無し時の受信データ処理切り替え	【捨てる】	捨てない
2-8	ペーパジャム/リボンジャム時の復旧切り替え	【POWER　OFF/ON、強制リセット】	[MultiImpact 750/560・MultiImpact 750/210Aの場合] 用紙厚セットレバー開閉およびプラテン開閉レバー
			[MultiImpact 750/850Aの場合] プラテン開閉レバー
3-1	[MultiImpact 750/850A・MultiImpact 750/560の場合] （未使用）		
3-2	[MultiImpact 750/850A・MultiImpact 750/560の場合] ビジブル動作有効／無効	【有効】	無効
3-1～3-2	[MultiImpact 750/210Aの場合] 高速モードの切り替え	2つのスイッチのON/OFFの組み合わせにより、【310行/分】、225行/分、240行/分に切り替わります。	
3-3	バーコード／OCR印刷時の印刷モード自動切り替え	【無効】	有効
3-4	プリンタドライバの切り替え	【MultiImpact 750/850A(168)】	MultiImpact 750/850A(160)
		【MultiImpact 750/560(168)】	MultiImpact 750/560(160)
		【MultiImpact 750/210A(168)】	MultiImpact 750/210A(160)
3-5	ポート選択方法の切り替え	【先に受信したポート】	どちらか固定
3-6	ポートの選択	【LAN】	パラレル
3-7	2バイト系の数字ゼロの字体の切り替え	【0】	Ø
3-8	[MultiImpact 750/560・MultiImpact 750/210Aの場合] 節電機能の切り替え	【有効】	無効
	[MultiImpact 750/850Aの場合] （未使用）		
4-1	[MultiImpact 750/850A・MultiImpact 750/560の場合] （未使用）		

MSW番号	内容	OFF	ON
4-1	[MultiImpact 750/210Aの場合] 濃度3印刷モードの切り替え	【コピーモード】	段差紙モード
4-2～4-3	濃度選択	2つのスイッチのON/OFFの組み合わせにより、【標準】、濃度1、濃度2、濃度3に切り替わります。	
4-4	自動排出の切り替え	【自動排出なし】	自動排出あり
4-5～4-6	印刷モードの切り替え	2つのスイッチのON/OFFの組み合わせにより、高速モード、高品位モード、【標準モード】に切り替わります。	
4-7	EMコードの有効／無効の切り替え	【有効】	無効
4-8	バーコードパターンの切り替え	【幅広パターン】	新情処パターン

*1　制御コードを使って設定を変えることができます。（初期状態になるとメモリスイッチの設定内容に戻ります。）

MSW			各国文字
1-1	1-2	1-3	
OFF	ON	OFF	アメリカ
ON	ON	OFF	イギリス
OFF	OFF	ON	ドイツ
ON	OFF	ON	スウェーデン
【OFF】	【OFF】	【OFF】	【日本】

（表以外の組み合わせはすべてスウェーデンになります。）

MSW		高速モード
3-1	3-2	
OFF	ON	240行/分
ON	OFF	225行/分
【OFF】	【OFF】	【310行/分】

（この機能は、MultiImpact 750/210Aのみのものです。また表以外の組み合わせはすべて標準モードになります。）

MSW		濃度
4-2	4-3	
ON	ON	濃度3
OFF	ON	濃度2
ON	OFF	濃度1
【OFF】	【OFF】	【標準】

MSW		印字モード
4-5	4-6	
OFF	ON	高速モード
ON	OFF	高品位モード
【OFF】	【OFF】	【標準モード】

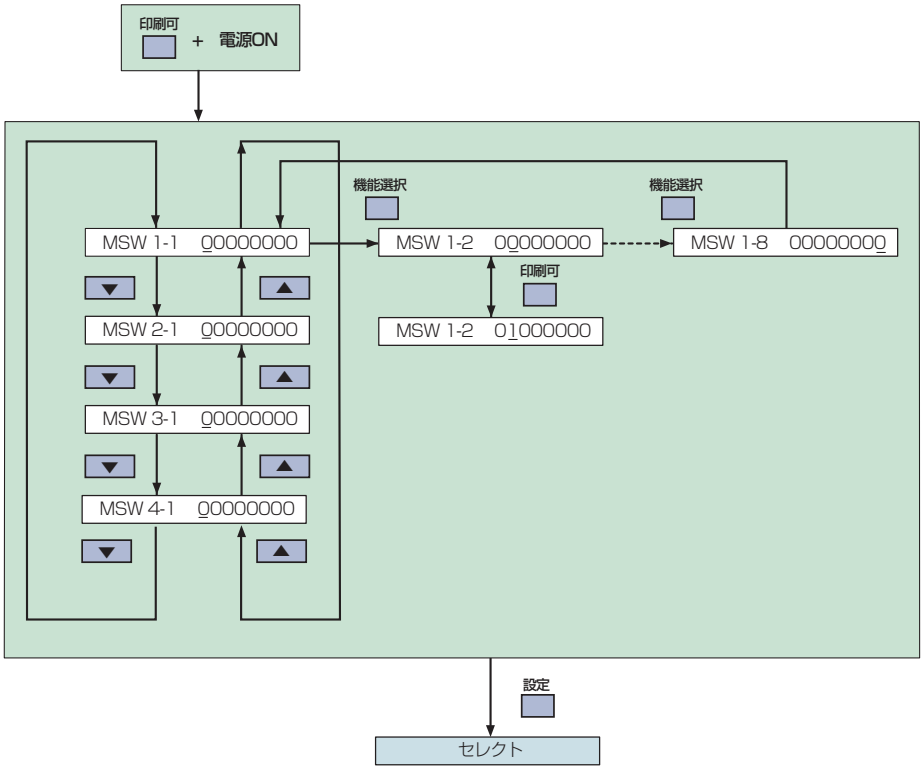
（表以外の組み合わせはすべて標準モードになります。）

チェック

未使用のメモリスイッチは工場出荷時（OFF）のままにしておいてください。

メモリスイッチのON/OFF切り替えのための操作の流れを次に示します。

- 0がOFF、1がONを示します。



メモリスイッチの変更方法

❶ **［印刷可］スイッチを押しながらプリンタの電源スイッチをON（「｜」）側）にする。**

液晶ディスプレイに“MSW1-1 00000000”と表示されます。

❷ **［機能選択］、［用紙微調（▲）］、または［用紙微調（▼）］スイッチを押して、設定変更したいメモリスイッチを選択する。**

❸ **［印刷可］スイッチを押してメモリスイッチの設定変更を行う。**

それぞれの設定の説明を参照してください。

❹ **メモリスイッチの設定変更が終了したら［設定］スイッチを押す。**

イニシャライズ動作を行ってセレクト状態になります。なお、変更したい設定が2項目以上ある場合には、上記の手順2、3を繰り返してください。

メモリスイッチの機能

1-1～1-3　**各国文字の切り替え**

各国文字を日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデンのいずれかに切り替えます。表以外の組み合わせのときは、すべてスウェーデン文字となります。

1-5　**DC1／DC3の有効／無効の切り替え**

制御コードDC1とDC3の制御コードを有効にするか、無効にするかを切り替えます。

1-6　**自動復帰改行の切り替え**

データがライトマージンを越えたとき、復帰のみの動作を行うか復帰改行動作を行うかを切り替えます。

1-7　**印刷指令コードの切り替え**

印刷指令コードCRを受信したときのみ印刷を開始するか、CR、LF、VT、FFを有効にするかを切り替えます。

1-8　**CR機能の切り替え**

制御コードCRの機能を復帰のみにするか復帰改行かを切り替えます。

2-1　**1バイト系の数字「0」の字体の切り替え**

8ビットコード表、7ビットコード表の数字ゼロを「0」と印刷するか、「ø」と印刷するかを切り替えます。

2-2　**ドラフト解除受信時のモード指定**

ドラフト解除命令を受信した時、「通常」にするか「高品位」にするかを切り替えます。

2-3　**ドット対応グラフィックのドット数の切り替え**

グラフィック（ドット列印刷）モードの横ドット数をネイティブモードにするかコピーモードにするかを切り替えます。コピーモードでの横ドット数はネイティブモードでの1/2になります。

2-4　**コンピュータからの印刷モードの切り替え**

コンピュータからの印刷モード切り替えを有効にするか無効とするかを切り替えます。

2-5　**コンピュータからの濃度選択の切り替え**

コンピュータからの濃度選択切り替えを有効にするか無効にするかを切り替えます。

2-6　**7ビット／8ビットデータの切り替え**

インタフェースのデータが8ビット有効か7ビット有効かを切り替えます。ドット列印刷モードでのデータ転送は、このメモリスイッチの設定によらず8ビット有効です。

2-7　**用紙無し時の受信データ処理の切り替え**

印刷途中で用紙無しが発生した場合、用紙無し発生頁のデータを捨てるか、捨てないかを切り替えます。

2-8　ペーパジャム、リボンジャム時の復旧方法の切り替え

[MultiImpact 750/560・MultiImpact 750/210Aの場合]
ペーパジャム、リボンジャムが発生した場合の復旧方法を電源OFF/ONまたは強制リセットのみとするか、用紙厚セットレバー開閉およびプラテン開閉レバーの開閉を含むかを切り替えます。

[MultiImpact 750/850Aの場合]
ペーパジャム、リボンジャムが発生した場合の復旧方法を電源OFF/ONまたは強制リセットのみとするか、プラテン開閉レバーの開閉を含むかを切り替えます。

3-1～3-2　高速モードの切り替え（MultiImpact 750/210Aのみ）

高速モードの印刷速度を310行/分、225行/分、240行/分のいずれかに切り替えます。40ページの表以外の組み合わせのときはすべて310行/分となります。
なお、MultiImpact 750/560およびMultiImpact 750/850AではMSW3-1は未使用。MSW3-2は「ビジブル動作の有効／無効」の切り替え機能を持っています（下記説明を参照してください）。

3-2　ビジブル動作の有効／無効（MultiImpact 750/850A・MultiImpact 750/560のみ）

カバーを開けた時のビジブル動作を有効にするか、無効にするかを切り替えます。設定を有効にするには電源の再投入が必要です。
なお、MultiImpact 750/210AではMSW3-1とMSW3-2の組み合わせによる「高速モード」の切り替え機能を持っています（上記説明を参照してください）。

3-3　バーコード／OCR-B相当印刷時の印刷モード自動切り替え

バーコードまたはOCR-B相当を印刷時、高品位モードへの自動切り替えを有効とするか無効とするかを切り替えます。

3-4　プリンタドライバの切り替え

Windowsのプラグ・アンド・プレイによるプリンタドライバのインストールを行う前に切り替えてください。

[MultiImpact 750/850Aの場合]
MultiImpact 750/850A(168)とMultiImpact 750/850A(160)とのどちらかを使用するかを切り替えます。

[MultiImpact 750/560の場合]
MultiImpact 750/560(168)とMultiImpact 750/560(160)とのどちらかを使用するかを切り替えます。

[MultiImpact 750/210Aの場合]
MultiImpact 750/210A(168)とMultiImpact 750/210A(160)とのどちらかを使用するかを切り替えます。

3-5　ポート選択方法の切り替え

パラレルポートとLANポートの選択を先にデータを受信したポートとするか、どちらか固定とするかを切り替えます。設定を有効にするには電源の再投入が必要です。

3-6　ポートの選択

MSW3-5をONにした場合、ポートをパラレルにするかLANにするかを選択します。設定を有効にするには電源の再投入が必要です。

3-7　2バイト系の数字「0」の字体の切り替え

漢字コード表の半角および全角の数字ゼロを「0」と印刷するか、「Ø」と印刷するかを切り替えます。

3-8　**節電機能の切り替え（MultiImpact 750/560・MultiImpact 750/210Aのみ）**

5分以上、印刷動作やスイッチ動作が行われなかった場合、節電機能を有効にするか、無効にするかを切り替えます。設定を有効にするには電源の再投入が必要です。

4-1　**濃度3印刷モードの切り替え（MultiImpact 750/210Aのみ）**

濃度3印刷モードの初期設定をコピーモードと段差紙モードのいずれかに切り替えます。

4-2～4-3　**濃度選択**

印刷濃度の初期設定を標準、濃度1、濃度2、濃度3のいずれかに切り替えます。

4-4　**自動排出の切り替え**

コンピュータからのデータ転送終了後、約15秒たっても再度データが転送されない場合、待機中のデータを自動排出するか、しないかを切り替えます。

4-5～4-6　**印刷モードの切り替え**

印刷モードの初期設定を高品位モード、高速モード、標準モードのいずれかに切り替えます。表以外の組み合わせの時は、すべて標準モードとなります。

4-7　**EMコードの有効／無効の切り替え**

EMコードを受信したとき、同期するか、しないかを切り替えます。

4-8　**バーコードパターンの切り替え**

バーコード初期設定を幅広にするか新情処パターンにするかを切り替えます。

設定内容をリセットする

変更した設定内容を一度にリセットすることができます。設定内容のリセットは、すべての設定内容（メニューモード、メモリスイッチ）を工場出荷設定に戻します。

❶ **プリンタの電源スイッチをOFF（「○」側）にする。**

❷ **［改頁］スイッチと［機能選択］スイッチを押しながら電源スイッチをON（「｜」側）にする。**

液晶ディスプレイに“セッテイクリア？　Y／N”と表示されます。

設定内容のリセットを中止したいときは［機能選択］スイッチを押し、“N”を選択して［設定］スイッチを押すと、リセットせずにセレクト状態に戻ります。

❸ **「Y」を選択し、［設定］スイッチを押す。**

これで設定内容はリセットされます。

チェック

強制リセットとは異なり、すべての設定を工場出荷時の状態にリセットしますので注意してください。

設定内容を印刷する

現在設定されている内容（メモリスイッチ、メニュー、印刷モード）を印刷します。

MultiImpact 750シリーズの場合

❶ **プリンタの電源スイッチをOFF（「○」側）にする。**

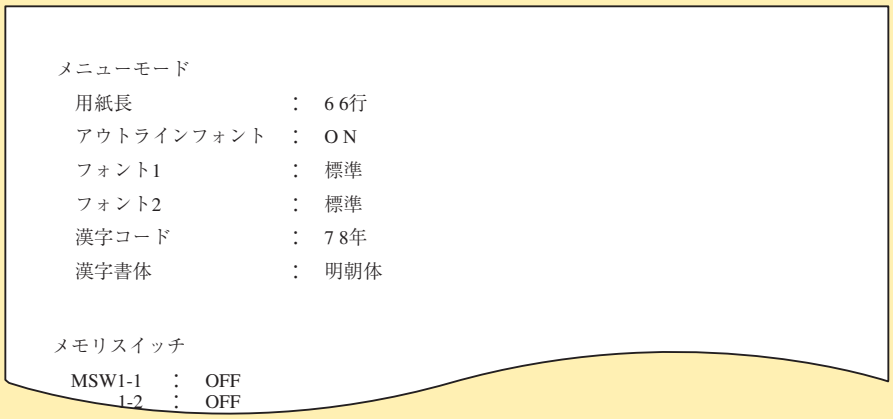
❷ **［改頁］スイッチを押しながら電源スイッチを　ON（「｜」側）にする。**
液晶ディスプレイに“テストインサツ”が表示されます。

❸ **［用紙微調（▲）］または［用紙微調（▼）］スイッチを押す。**
液晶ディスプレイに“セッテイチインジ”が表示されます。

❹ **［印刷可］スイッチを押す。**
設定内容が印刷されます。

❺ **終了する場合は、印刷動作が停止してから［設定］スイッチを押すか、電源スイッチをOFF（「○」側）にする。**
また、途中で用紙がなくなり用紙ランプが点灯したときは、新しい用紙をセットしてから［印刷可］スイッチを押してください。最初から印刷されます。

設定内容の印刷例



N1153-025/026/027の場合

❶ **プリンタの電源スイッチをOFF（「○」側）にする。**

❷ **［印刷可］スイッチを押して、ディスプレイに“ディセレクト”を表示させる。**
液晶ディスプレイに“ディセレクト”が表示されます。

❸ **［設定］スイッチを押したまま［機能選択］スイッチを続けて押す。**
液晶ディスプレイに“ヨウシチョウ　６６”が表示されます。

❹ **［機能選択］スイッチを4回押す。**
液晶ディスプレイに“セッテイチインジ”が表示されます。

❺ **［印刷可］スイッチを押す。**
設定内容が印刷されます。

❻ **終了する場合は、印刷動作が停止してから［設定］スイッチを押す。**
また、途中で用紙がなくなり用紙ランプが点灯したときは、新しい用紙をセットしてから［印刷可］スイッチを押してください。最初から印刷されます。

設定内容の印刷例（N1153-027の場合）

メニューモード

N1153-010/011互換モード

用紙長	：	66行
アウトラインフォント	：	ON
フォント1	：	標準
フォント2	：	標準
漢字コード	：	78年
漢字書体	：	明朝体

N6343-41A、N7859-01B互換モード

用紙長	：	66行
半角、2／3角	：	半角
改行1／6、1／8	：	1／6
1改行／2改行	：	1改行

メモリスイッチ

3章 プリンタドライバ

プリンタドライバは、本プリンタで印刷を行うために必要なソフトウェアです。ご使用のコンピュータにプリンタドライバをインストールすることによって、印刷品質に関する様々な要求に応えることができます。ここでは一般的な印刷の手順と印刷の詳細な設定を行うプロパティダイアログボックスの概要について、各OSに分けて説明します。

ここではMultiImpact 750/560(168)プリンタドライバを例にあげて説明します。

チェック

- MultiImpact 750シリーズのプリンタドライバは、縦方向解像度が168dpiのドライバと160dpiのドライバの2種類があります。プリンタドライバの特徴については、ソフトウェアマニュアルを参照してください。
- MultiImpact 750/850A、MultiImpact 750/560には、LANボード（PR-NP-06相当品）およびLANボード用セットアップガイド、CD-ROMが標準で添付されています。
  また、LANアダプタ（PR-NP-07）はMultiImpact 750/210Aのみサポートしています。

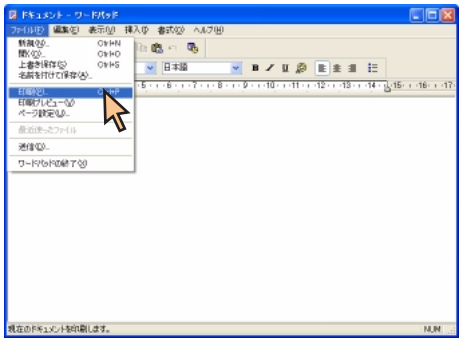
Windows XP/2000/Server 2003 日本語版の場合

印刷の手順

ここでは、Windows XPで日本語ワードプロセッサ「ワードパッド」を使用した場合を例にとって一般的な印刷手順について説明します。お使いになるアプリケーションによってはメニュー構成など多少異なる点があるかもしれません。詳細はアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

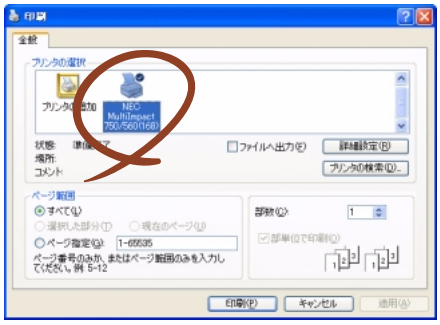
❶［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。

［印刷］ダイアログボックスが開きます。



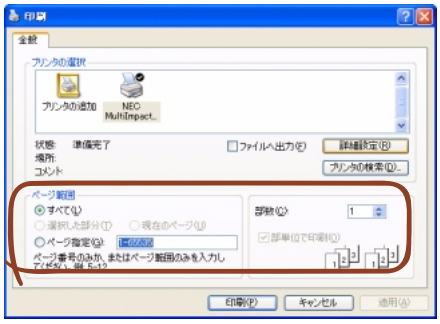
❷ 使用するプリンタ名として「NEC MultiImpact 750/560(168)」が選択されていることを確認する。

もし選択されていなければ、選択し直します。49ページの「プリンタドライバの選択」を参照してください。



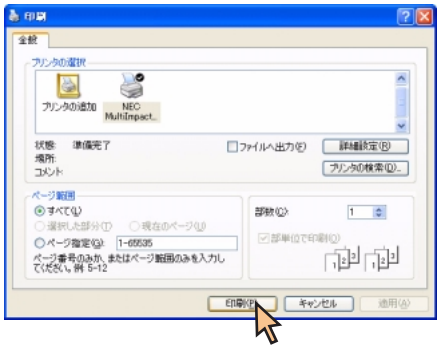
❸ ページ範囲、部数を指定する。

用紙サイズなど、さらに詳しい設定をしたい場合は、［詳細設定］をクリックし、設定を変更します。Windows 2000の場合は、［レイアウト］シートまたは［用紙/品質］シートで設定を変更します。



❹ 印刷の設定が終わったら［印刷］をクリックする。

印刷が開始されます。



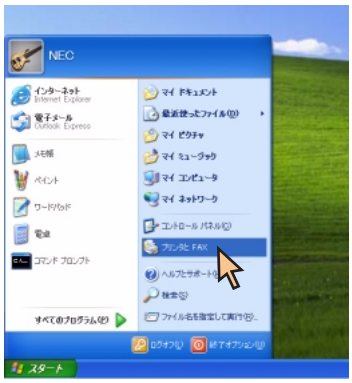
プリンタドライバの選択

1台のコンピュータに複数のプリンタドライバをインストールしている場合は、あらかじめ使用するプリンタドライバを選択してから印刷する必要があります。次の手順でプリンタドライバを選択します。

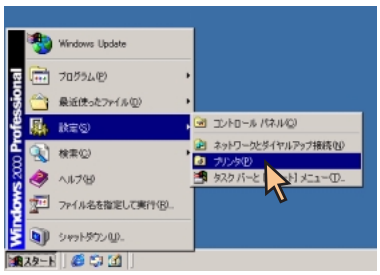
❶［プリンタと FAX］フォルダまたは［プリンタ］フォルダを開く。

Windows XP Professional/Server 2003の場合は、［スタート］の［プリンタとFAX］をクリックします。

Windows XP Home Editionの場合は、［スタート］から［コントロールパネル］をクリックし、［プリンタとその他のハードウェア］、［プリンタとFAX］の順にクリックします。

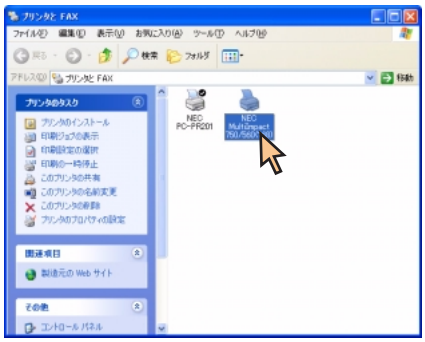


Windows 2000の場合は、［スタート］の［設定］から［プリンタ］をクリックします。



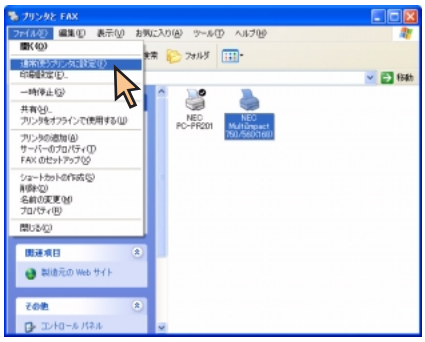
❷［NEC MultiImpact 750/560(168)］アイコンをクリックする。

ドライバのインストール時に付けた名前が表示されます。



❸［ファイル］メニューの［通常使うプリンタに設定］をクリックする。

これでプリンタドライバが選択されます。



印刷先の変更

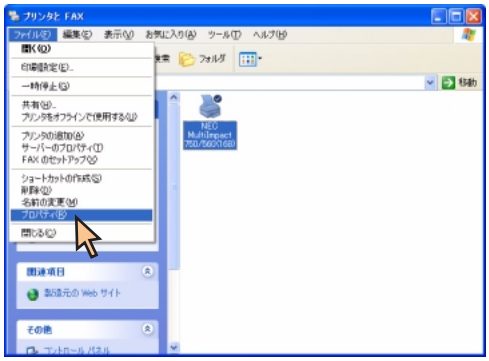
LANボードまたはLANアダプタによってネットワークに接続されているプリンタを指定する方法を説明します。プリンタソフトウェアのインストールにより作成されたプリンタの［ポート］プロパティシート上で行います。印刷先の変更は、「Standard TCP/IP Port」を使用した場合を例にとって説明します。

LANボードまたはLANアダプタについては、それぞれの取扱説明書を参照してください。

ここではWindows XP 日本語版、Windows 2000 日本語版、Windows Server 2003 日本語版の環境で印刷先を変更する方法についてMultiImpact 750/560(168)とNEC PR-NP-06を使用した場合を例にとって説明します。

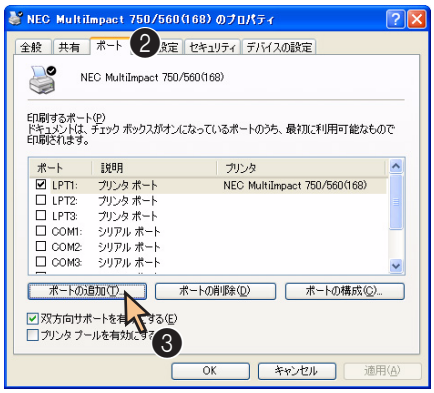
❶ **［MultiImpact 750/560(168)のプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。**

［プリンタとFAX］フォルダまたは［プリンタ］フォルダの［NEC MultiImpact 750/560(168)］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

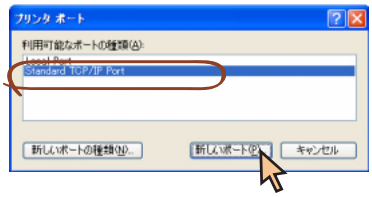


❷ **［ポート］シートを開く。**

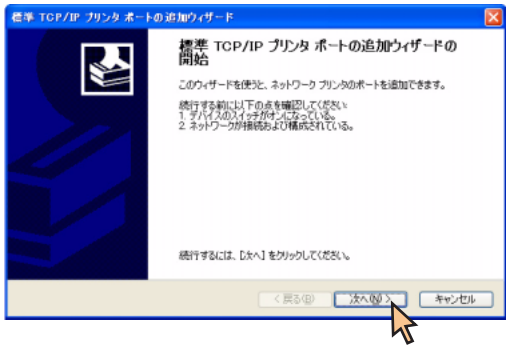
❸ **［ポートの追加］をクリックする。**



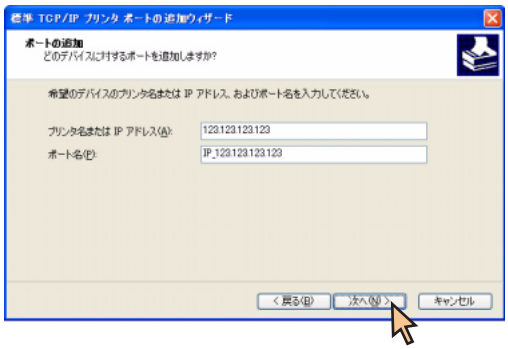
❹ **［Standard TCP/IP Port］を選んで、［新しいポート］をクリックする。**



❺ **［次へ］をクリックする。**

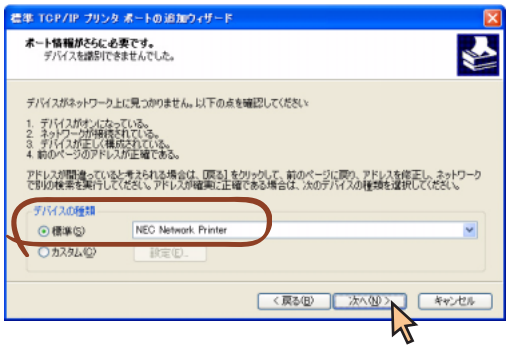


❻ **「NEC PR-NP-06」のIPアドレスを入力し、［次へ］をクリックする。**

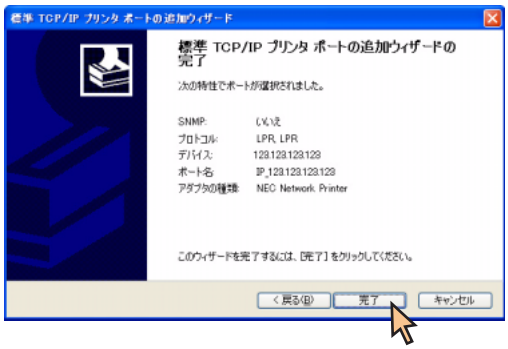


❼ **手順❻で入力されたIPアドレスがネットワーク上に設定されていない場合、次のようなダイアログボックスが表示されるので、［デバイスの種類］の［標準］をクリックし、［NEC Network Printer］を選択し、［次へ］をクリックする。**

表示されない場合は、手順❽へ進んでください。

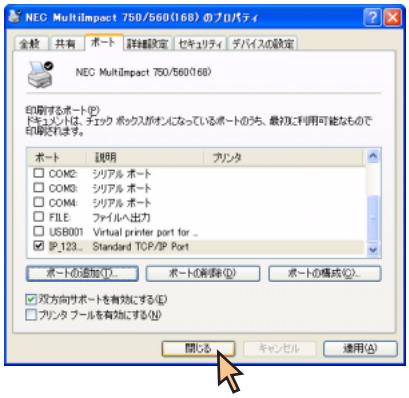


❽［完了］をクリックする。



❾［閉じる］をクリックする。

印刷先の変更が完了しました。



共有プリンタに設定する

本プリンタを、Windows XP 日本語版、Windows 2000 日本語版、Windows Server 2003 日本語版環境のネットワークで共有する場合の設定について説明します。

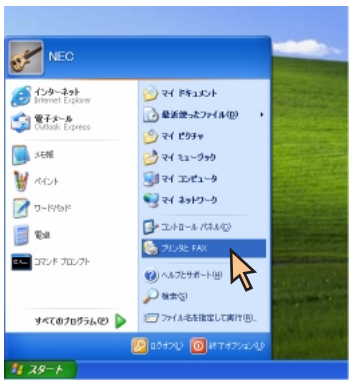
ネットワーク環境で共有プリンタをお使いになるためには、コンピュータにあらかじめ「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」などクライアントソフトウェアを組み込んでおく必要があります。詳しくはOSの取扱説明書をご覧ください。

ここではWindows XP 日本語版、Windows 2000 日本語版、Windows Server 2003 日本語版の環境で、MultiImpact 750/560(168)の場合を例にあげて共有プリンタとして設定する手順について説明します。

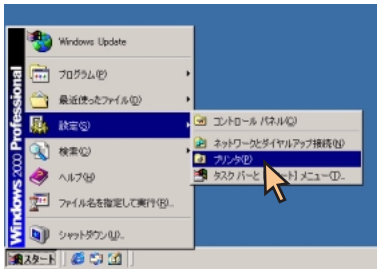
❶［プリンタと FAX］フォルダまたは［プリンタ］フォルダを開く。

Windows XP Professional/Server 2003の場合は、［スタート］の［プリンタとFAX］をクリックします。

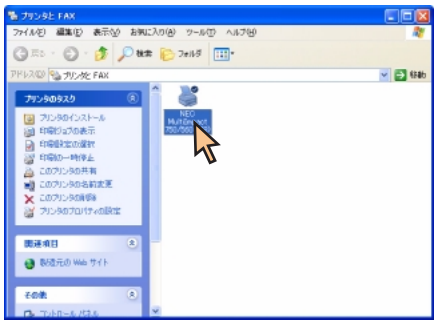
Windows XP Home Editionの場合は、［スタート］から［コントロールパネル］をクリックし、［プリンタとその他のハードウェア］、［プリンタとFAX］の順にクリックします。



Windows 2000の場合は、［スタート］の［設定］から［プリンタ］をクリックします。

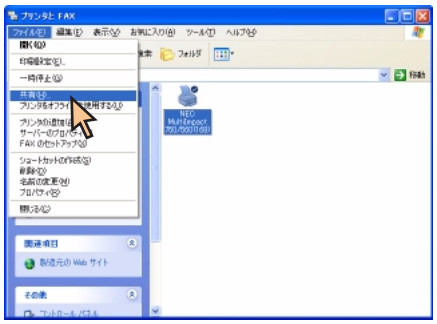


❷［NEC MultiImpact 750/560(168)］アイコンをクリックする。

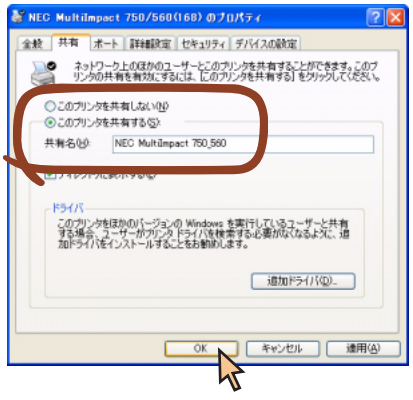


❸［ファイル］メニューの［共有］をクリックする。

［NEC MultiImpact 750/560(168)のプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。



❹［このプリンタを共有する］または［共有する］をチェックし、そのプリンタの共有名を入力し、［OK］をクリックする。



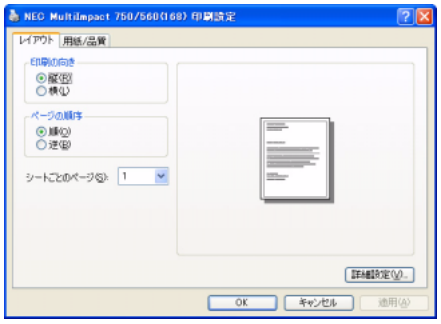
これで共有プリンタの設定は完了です。

印刷の詳細設定

本プリンタは次のような2つの［プロパティ］ダイアログボックスと呼ばれる画面を使って印刷の詳細な設定を行います。

［印刷設定］ダイアログボックス

印刷の詳細な設定をするダイアログボックスです。次の2つのプロパティシートから構成されています。



- ［レイアウト］シート
- ［用紙/品質］シート

［プロパティ］ダイアログボックス

プリンタのポートや共有などに関する設定をするダイアログボックスです。次の6枚のプロパティシートから構成されています。

- ［全般］シート
- ［共有］シート
- ［ポート］シート
- ［詳細設定］シート
- ［セキュリティ］シート*
- ［デバイスの設定］シート

* Windows XP Home Editionの場合、表示されません。Windows XP Professionalの場合、設定によって表示されないことがあります。

チェック

アプリケーションによっては、ダイアログボックスの設定を変更するタイミングに関係なくアプリケーションからの設定が優先されるものがあります。また、［スタート］からの設定変更に合わせて、アプリケーションの設定も自動的に変わるなど、使用するアプリケーションによって異なりますのでアプリケーションのマニュアルを参照してください。

[プロパティ] ダイアログボックスを開く

プロパティダイアログボックスを呼び出す方法は次の2通りあります。

- デスクトップ上の［スタート］ボタンを使って呼び出す方法

  ダイアログボックスの設定はすべてのアプリケーションでの基本設定となります。

- アプリケーションのメニューから呼び出す方法

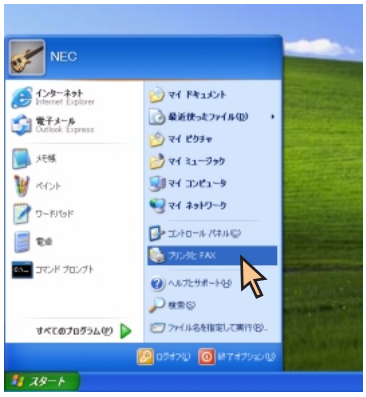
  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目などが表示されないことがあります。

［スタート］ボタンを使って呼び出す

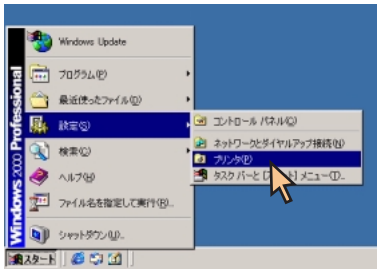
❶［プリンタと FAX］フォルダまたは［プリンタ］フォルダを開く。

Windows XP Professional/Server 2003の場合は、［スタート］の［プリンタとFAX］をクリックします。

Windows XP Home Editionの場合は、［スタート］から［コントロールパネル］をクリックし、［プリンタとその他のハードウェア］、［プリンタとFAX］の順にクリックします。

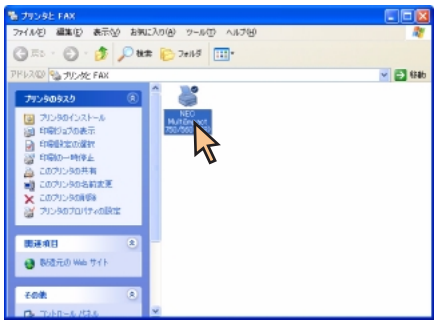


Windows 2000の場合は、［スタート］の［設定］から［プリンタ］をクリックします。

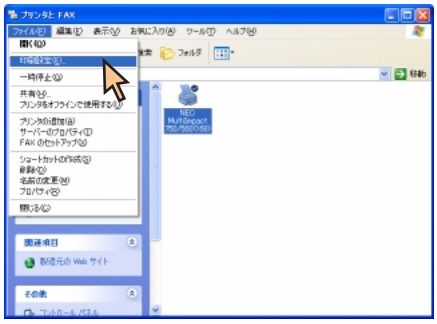


❷［NEC MultiImpact 750/560(168)］アイコンをクリックする。

［印刷設定］ダイアログボックスを開きたいときは手順❸へ、［プロパティ］ダイアログボックスを開きたいときは手順❹へ進んでください。

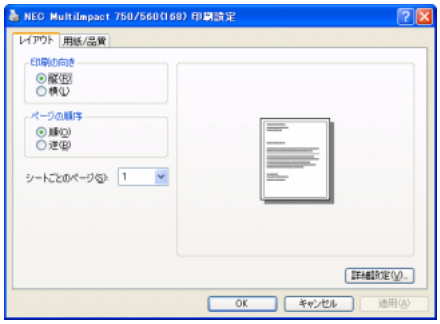


❸［ファイル］メニューの［印刷設定］をクリックする。

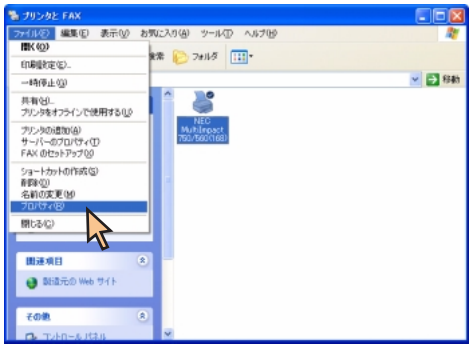


［印刷設定］ダイアログボックスが開きます。

各プロパティシートについては、57ページからの「［印刷設定］ダイアログボックスで詳細設定を行う」を参照してください。



❹ ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックする。



［プロパティ］ダイアログボックスが開きます。

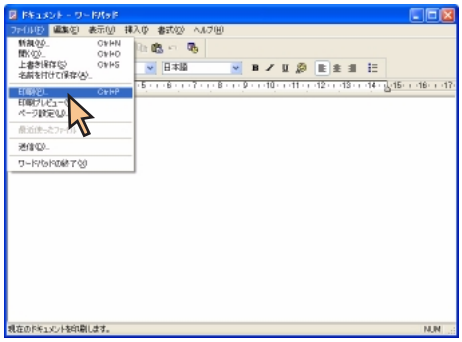
各プロパティシートについては、63ページからの「［プロパティ］ダイアログボックスで詳細設定を行う」を参照してください。

アプリケーションを使って呼び出す

アプリケーションからプロパティダイアログボックスを呼び出す場合、［ファイル］メニューの［印刷］コマンドまたは［プリンタの設定］コマンドを使います。（このコマンドはほとんどの場合、［ファイル］メニューの中にありますが、メニューの構成はアプリケーションによって違います。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。）

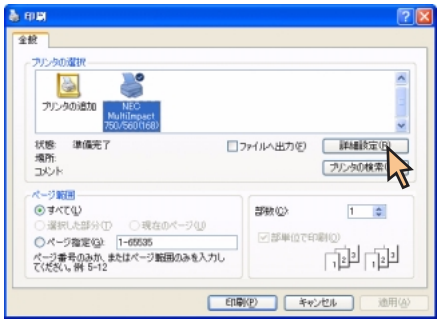
❶［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。

［印刷］ダイアログボックスが開きます。



❷［詳細設定］をクリックし、印刷の設定を行う。

Windows 2000の場合は［レイアウト］シートおよび［用紙／品質］シートで、印刷の設定を行います。



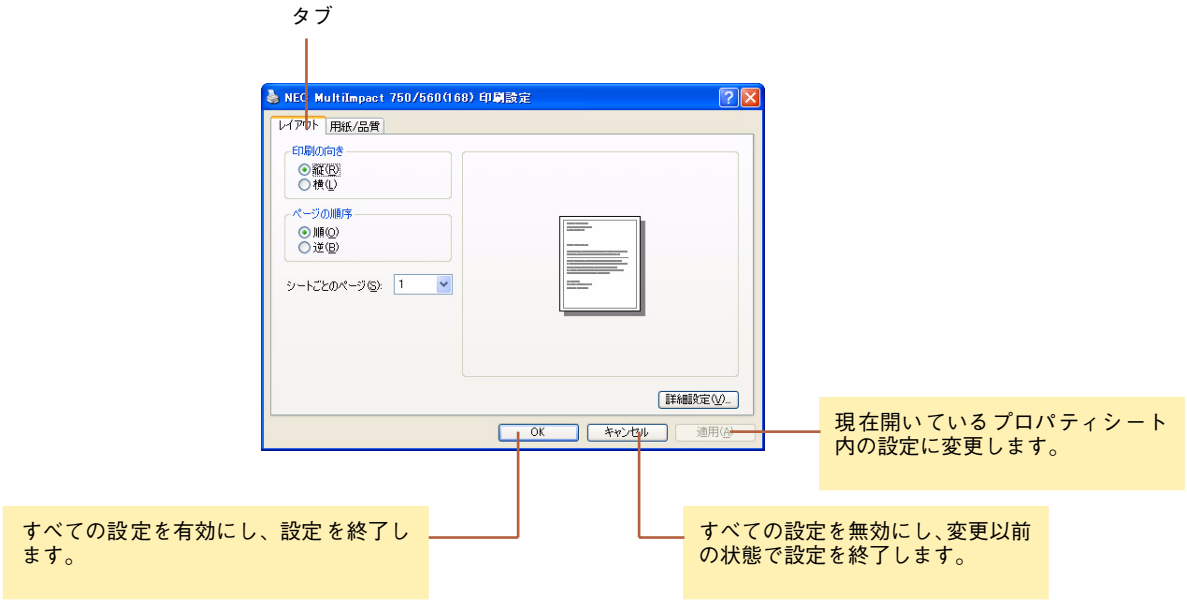
チェック

アプリケーションによっては、アプリケーション上からすべてのプロパティシートを開けなかったり、設定内容を変更できない場合があります。その場合は［スタート］から開くか、アプリケーションのヘルプや添付のマニュアルをご覧ください。

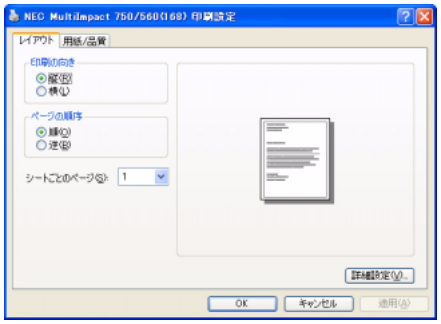
[印刷設定] ダイアログボックスで詳細設定を行う

[印刷設定] ダイアログボックスで設定できる項目について、各プロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることにより表示されるヘルプでも説明されています。

各プロパティシートを開くには、開きたい項目のタブをクリックします。
また、各プロパティシート共通に使用されている3つのボタンには以下のような機能があります。

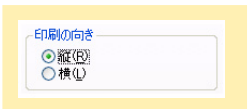


[レイアウト] シート



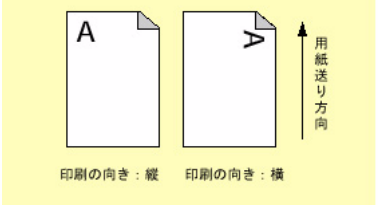
このプロパティシートは印刷の向き、ページの順序など印刷のレイアウトに関する設定を行うものです。

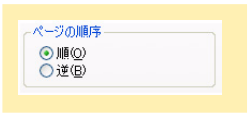
印刷の向き、ページの順序などを設定すると右側に表示されているイラストが設定に応じて変化します。



印刷の向き

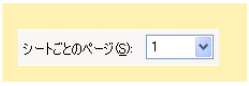
縦　用紙を縦長に使って印刷します。
横　用紙を横長に使って印刷します。





ページの順序

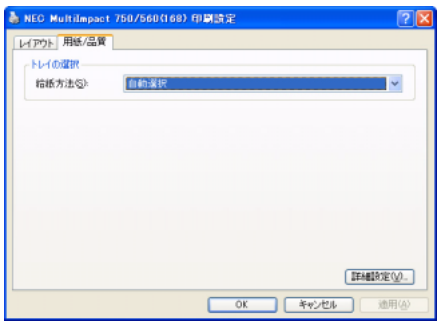
順　用紙をページの始めから順に印刷します。
逆　用紙をページの終わりから順に印刷します。



シートごとのページ

1枚の用紙にドキュメントの何ページ分を印刷するかを指定します。

[用紙/品質] シート



このプロパティシートは給紙方法の選択を行うものです。

トレイの選択

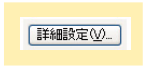
用紙の給紙方法を選択します。詳細は59ページをご覧ください。

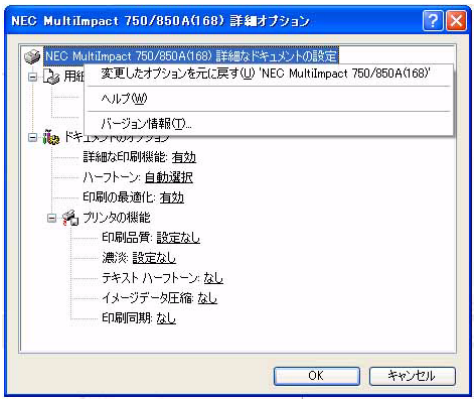
給紙方法について

給紙方法を選択します。本プリンタがサポートする給紙方法は次のとおりです。

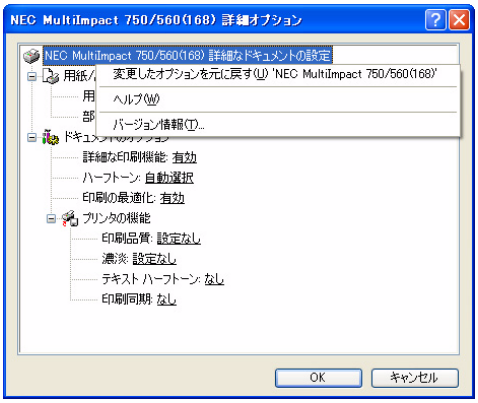
画面表示	内容
自動選択	［デバイスの設定］プロパティシートの給紙方法と用紙の割り当ての設定に従います。
トラクタフィーダ	用紙の上下に6.2mmの余白を付けたトラクタフィーダ
トラクタフィーダ（上下余白0）	用紙の上下に余白を付けないトラクタフィーダ*1

*1　印刷可能領域をミシン目近くまで取りたい場合にのみ、ご使用いただけますが、以下の点をご承知の上で使用願います。
ユーザーズマニュアル記載の印刷保証領域以外は、かすれ等の印刷品位劣化が生じる場合があります。
ミシン目上は印刷しないでください。ピン折れ等の障害が発生することがあります。

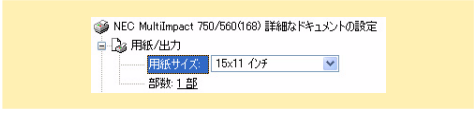


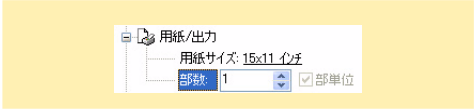


MultiImpact 750/850Aの場合



MultiImpact 750/560・MultiImpact 750/210Aの場合





［詳細設定］

このボタンをクリックすると［詳細オプション］ダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスで印刷の詳細に関する以下の設定を行うことができます。

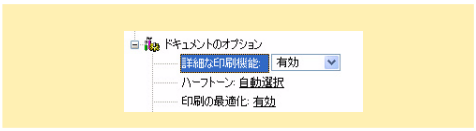
- このダイアログボックスで右クリックすると、次のメニューを表示します。
  ［変更したオプションを元に戻す］
  変更した設定をプロパティシートを開いたときの状態に戻します。
  ［バージョン情報］
  本プリンタに関する情報を表示します。
- ［プリンタ機能］で［イメージ圧縮］の項目は、MultiImpact 750/850Aでのみ表示されます。MultiImpact 750/560およびMultiImpact 750/210Aでは表示されません。

用紙サイズ

印刷用紙のサイズを選択します。
詳細は62ページを参照してください。

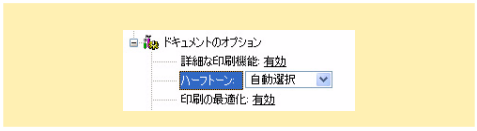
部数

印刷部数を選択します。



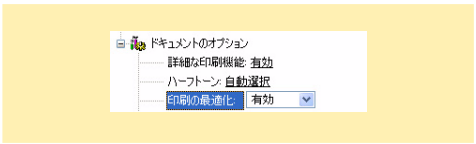
詳細な印刷機能

［詳細オプション］ダイアログボックスで設定した印刷機能を有効にするか、無効にするかを選択します。



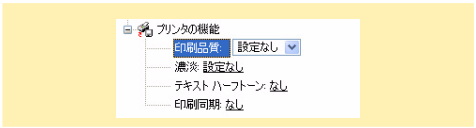
ハーフトーン

ハーフトーンの設定方法を選択します。



印刷の最適化

印刷の最適化を有効にするか、無効にするかを選択します。



印刷品質

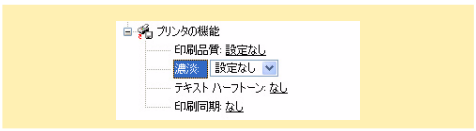
- 設定なし

  プリンタの操作パネルの［印刷モード選択］スイッチの設定に従います。
- 通常

  印刷モード選択の設定を解除します。
- 高品位

  印刷モード選択を高品位に設定します。
- 高速

  印刷モード選択を高速に設定します。



濃淡

- 設定なし

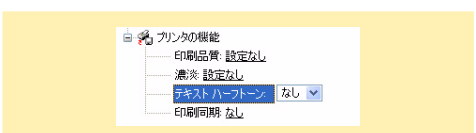
  プリンタの操作パネルの設定に従います。
- 通常

  濃度選択を通常に設定します。
- 濃度1

  濃度選択を濃度1に設定します。
- 濃度2

  濃度選択を濃度2に設定します。
- 濃度3

  濃度選択を濃度3に設定します。



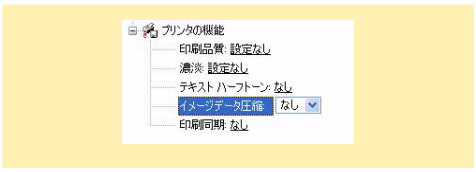
テキストハーフトーン*1
TrueTypeフォントにハーフトーン処理を行うかを設定します。

- なし

  従来OSとTrueTypeフォントの印刷結果が同じになります。
- 160

  ハーフトーン処理を行います。

*1 Windows 2000 には、この設定はありません。



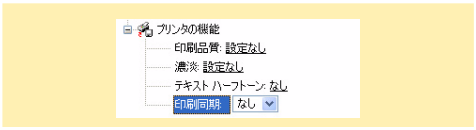
（MultiImpact 750/850Aのみ）

イメージデータ圧縮*1
イメージデータの圧縮を行うかを設定します。

- なし

  イメージデータの圧縮を行いません。通常は［なし］を選択してください。
- あり

  イメージデータを圧縮してプリンタに送信します。データ転送の遅い環境をご使用の場合に選択してください。



印刷同期

- なし

  印刷同期を行いません。
- あり

  プリンタでの印刷動作が完全に終了してから、次の印刷を開始します。

チェック

PrinterSignalStationを［印刷時にジョブの同期を行う］をチェックした状態でご使用になる場合は、［あり］を選択してください。

*1　MultiImpact 750/560には、この設定はありません。

用紙サイズについて

用紙サイズを選択します。本プリンタがサポートする用紙の種類は次のとおりです。給紙方法により、サポートする用紙が異なります。現在設定されている給紙方法で使用できない用紙を選択すると、使用不可のメッセージが出ます。

画面表示	内容
10 x 11インチ	10インチ幅の連続紙をセットします。
15 x 11インチ	15インチ幅の連続紙をセットします。
登録した用紙	Windows XP/2000/Server 2003の「新しい用紙を作成する」によって登録した用紙を使用する場合は、登録した用紙名を選択してください。以下の範囲内で作成してください。用紙の登録方法については、67ページの「ユーザー定義用紙サイズの登録」をご覧ください。 幅　50.8～420mm*1 ／高さ　25.4～541.02mm
上記の他に「15 x 1インチ」～「15 x 16.5インチ」などの連続紙を40種類、選択することができます。*2	

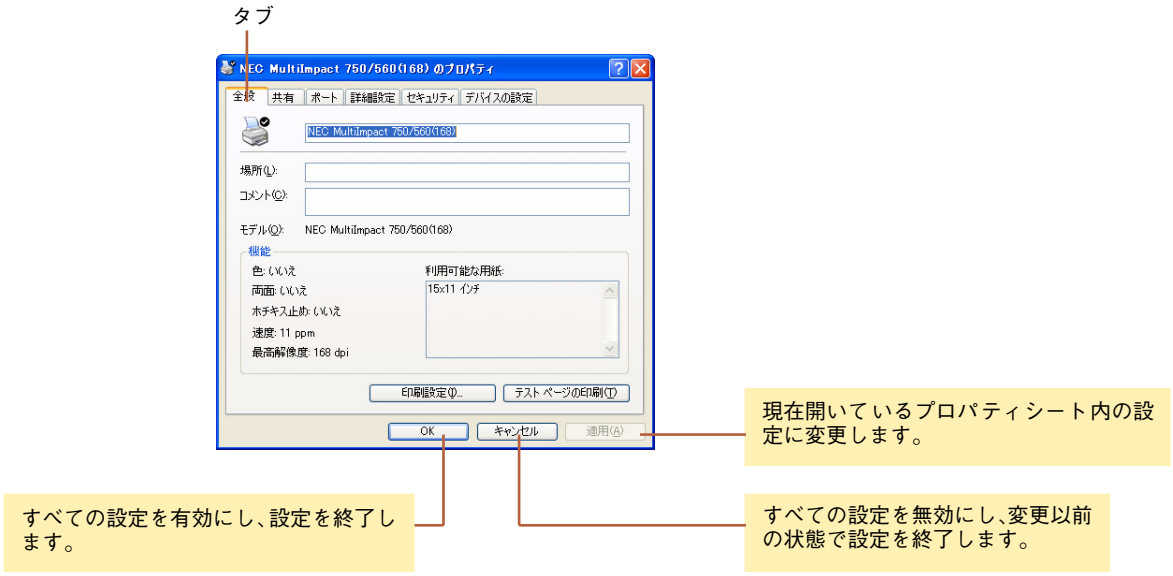
*1　本プリンタの印刷領域は最大 345.4mm です。これを超える用紙を登録した場合、右余白に 345.4mm を超える分の余白がつきます。
例）用紙サイズ 360mm、左右余白 0mm とした場合
360-345.4=14.6mm
14.6mm の余白が右につきます。

*2　給紙方法をトラクタフィーダ（上下余白 0）に選択した場合のみ、使用可能です。

［プロパティ］ダイアログボックスで詳細設定を行う

［プロパティ］ダイアログボックスで設定できる項目について、各プロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることにより表示されるヘルプでも説明されています。

各プロパティシートを開くには、開きたい項目のタブをクリックします。
また、各プロパティシート共通に使用されている3つのボタンには以下のような機能があります。

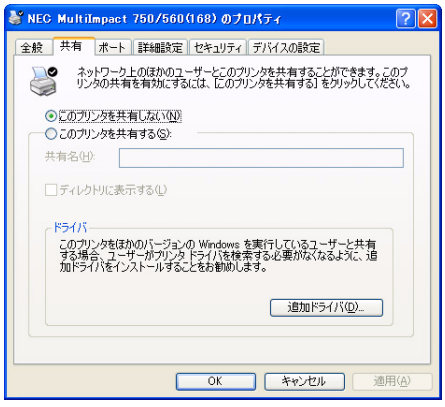


［全般］シート

このプロパティシートはWindows XP/2000/Server 2003対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows XP/2000/Server 2003のヘルプをご覧ください。

［共有］シート



このプロパティシートはWindows XP/2000/Server 2003対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows XP/2000/Server 2003のヘルプをご覧ください。

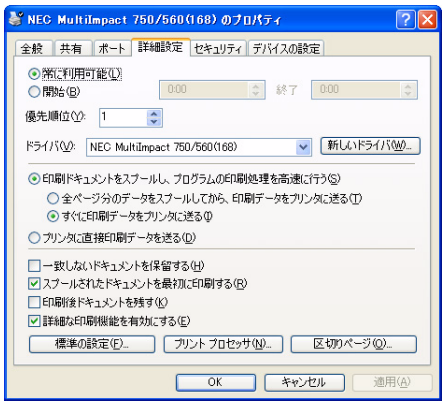
[ポート] シート

このプロパティシートはWindows XP/2000/Server 2003対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows XP/2000/Server 2003のヘルプをご覧ください。

> **チェック**
>
> PrinterSignalStationを使用する場合は [双方向サポートを有効にする] を選択してください。

[詳細設定] シート



このプロパティシートはWindows XP/2000/Server 2003対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows XP/2000/Server 2003のヘルプをご覧ください。

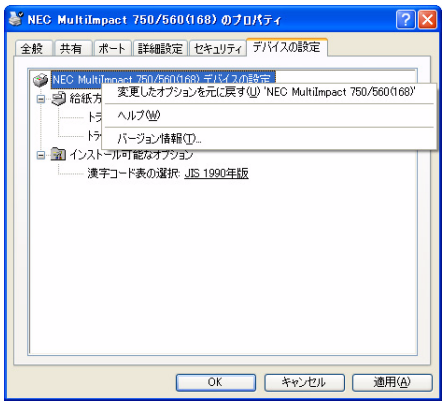
[セキュリティ] シート

このプロパティシートはWindows XP/2000/Server 2003対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows XP/2000/Server 2003のヘルプをご覧ください。

Windows XP Home Editionの場合、表示されません。
Windows XP Professionalの場合、設定によって表示されないことがあります。

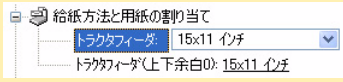
［デバイスの設定］シート



このプロパティシートはデバイスの設定に関する以下の設定を行います。

このプロパティシートで右クリックすると、左の画面が表示されます。

- 変更したオプションを元に戻す
  変更した設定をプロパティシートを開いたときの状態に戻します。
- バージョン情報
  プリンタドライバのバージョンに関する情報を表示します。



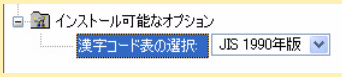
給紙方法と用紙の割り当て

本プリンタがサポートしている給紙方法から、使用するものを選択します。

ツリービューの中の給紙方法の1つをクリックすると給紙方法に割り当てる用紙が表示されます（本プリンタでサポートする給紙方法については59ページを参照してください）。給紙方法に割り当てる用紙を選択します。

チェック

給紙方法として［自動選択］を選択したときに、［給紙方法と用紙の割り当て］の設定が有効となります。設定方法については、66ページを参照してください。



漢字コード表の選択

漢字コード表の選択を設定します。

- JIS1978年版

  JIS1978年版漢字コード表で印刷します。
- JIS1990年版

  JIS1990年版漢字コード表で印刷します。

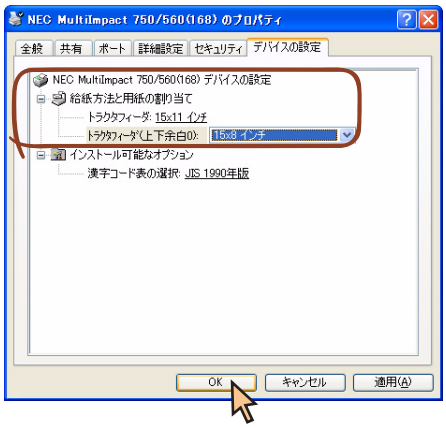
給紙方法と用紙の割り当て

給紙方法と用紙の割り当てにより、給紙方法を自動選択する場合は以下のように設定します。

❶［プロパティ］ダイアログボックスを開く。

［プロパティ］ダイアログボックスの開き方については、54ページの「［スタート］ボタンを使って呼び出す」をご覧ください。

❷［デバイスの設定］シートで［給紙方法と用紙の割り当て］を設定し、［OK］をクリックする。

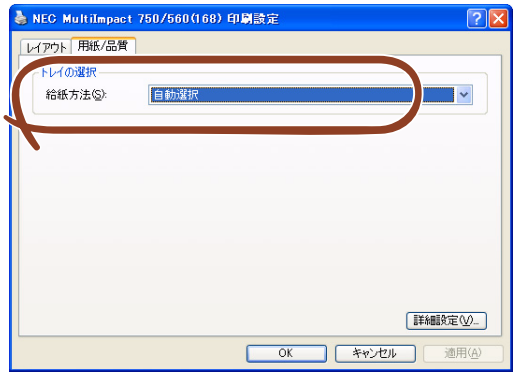


同じ用紙サイズを複数の給紙方法に割り当てた場合は、上の方に表示されている給紙方法が選択されます。

❸［印刷設定］ダイアログボックスを開く。

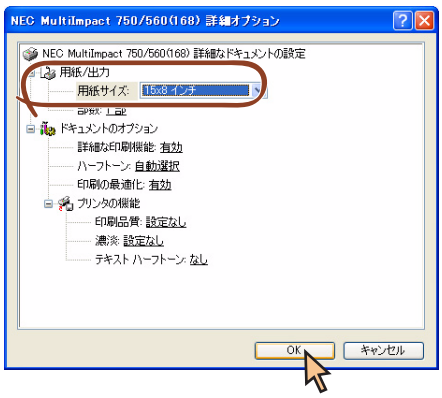
［印刷設定］ダイアログボックスの開き方については、54ページの「［プロパティ］ダイアログボックスを開く」をご覧ください。

❹［用紙／品質］シートで給紙方法から［自動選択］を選択する。



［自動選択］以外の給紙方法を選択した場合は、［給紙方法と用紙の割り当て］の設定にかかわらず、ここで選択した設定方法で印刷が行われます。

❺使用する用紙サイズを選択し、［OK］をクリックする。



ここで［給紙方法と用紙の割り当て］で設定した用紙サイズ以外の用紙を選択した場合は、［給紙方法と用紙の割り当て］で一番上に表示されている給紙方法で印刷が行われます。

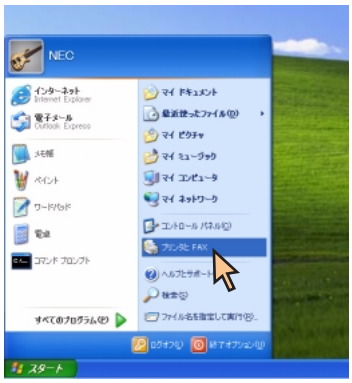
ユーザー定義用紙サイズの登録

次の手順でユーザー定義用紙サイズを登録します。

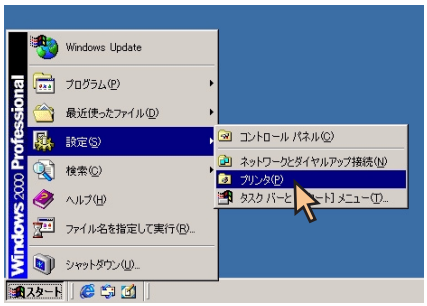
❶ **［プリンタと FAX］フォルダまたは［プリンタ］フォルダを開く。**

Windows XP Professional/Server 2003の場合は、［スタート］の［プリンタとFAX］をクリックします。

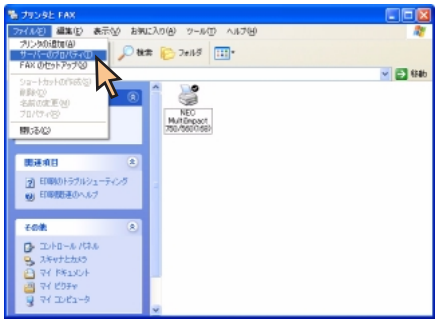
Windows XP Home Editionの場合は、［スタート］から［コントロールパネル］をクリックし、［プリンタとその他のハードウェア］、［プリンタとFAX］の順にクリックします。



Windows 2000の場合は、［スタート］の［設定］から［プリンタ］をクリックします。



❷ **［ファイル］メニューの［サーバーのプロパティ］をクリックし、［プリント サーバーのプロパティ］ダイアログボックスを開く。**



❸ **［用紙］シートにおいて［新しい用紙を作成する］をチェックする。**

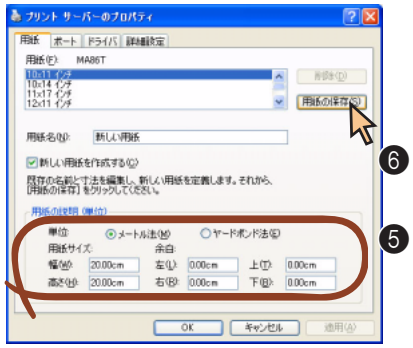
❹ **［用紙名］ボックスに用紙の名前を入力する。**

チェック

すでに登録されている用紙と同じ名前を設定することはできません。

❺ **［単位］を指定して［用紙サイズ］と［余白］を設定する。**

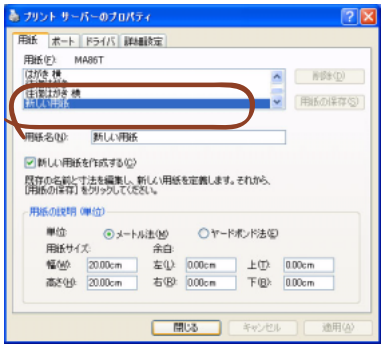
❻ **［用紙の保存］をクリックする。**



チェック

- すでに登録されている用紙と同じ用紙サイズを設定することはできません。
- MultiImpact 750/560プリンタドライバでは、幅50.8～420.05mm、長さ25.4～541mmの範囲内で用紙サイズを使用することができます。
- MultiImpact 750/560プリンタドライバでは、ユーザー定義用紙サイズの左右余白は0mm固定です。また、上下余白は給紙方法を選択することで設定されます。このため、用紙登録時の余白設定は反映されません。

❼［用紙］一覧に新しい用紙が表示されたことを確認する。



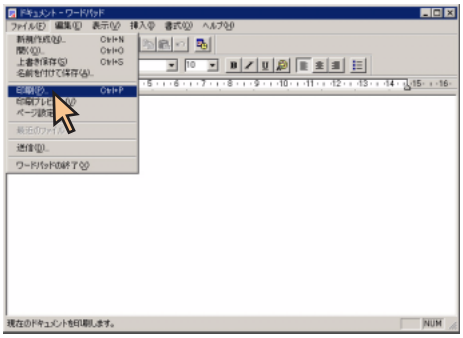
Windows Me/98 日本語版の場合

印刷の手順

ここでは、Windows Meで日本語ワードプロセッサ「ワードパッド」を使用した場合を例にとって一般的な印刷手順について説明します。お使いになるアプリケーションによってはメニュー構成など多少異なる点があるかもしれません。詳細はアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

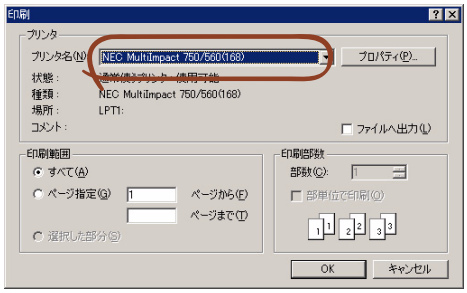
❶［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。

［印刷］ダイアログボックスが開きます。



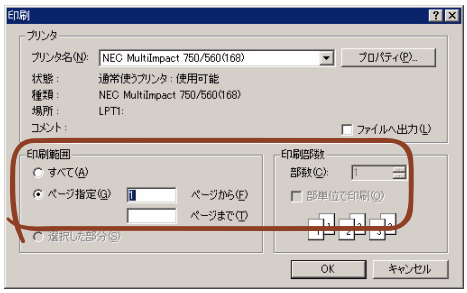
❷ 使用する［プリンタ名］として「NEC　MultiImpact 750/560(168)」が選択されていることを確認する。

もし選択されていなければ、選択し直します。72ページの「プリンタドライバの選択」を参照してください。



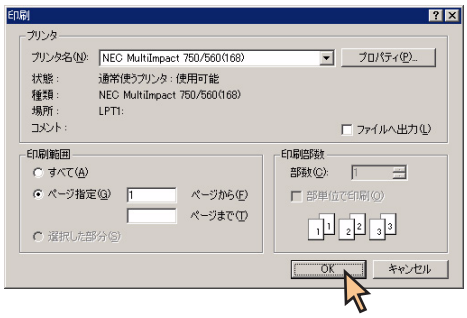
❸ 印刷範囲、部数を指定する。

用紙サイズなど、さらに詳しい設定をしたい場合は［プロパティ］をクリックし、設定を変更します。



❹ 印刷の指定が終わったら［OK］をクリックする。

印刷が開始されます。



NEC Print Server Portのインストール方法

ここでは、Windows 98とPR-NP-06を使用して印刷する場合に必要となるNEC Print Server Portをインストールする手順を説明します。

なお、Windows 98の基本的な操作およびセットアップについては、OS添付のマニュアルなどをご覧ください。

チェック

- NEC Print Server Portをインストールする前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。
- インストールを始める前に、PR-NP-06添付のCD-ROMを用意してください。
- PR-NP-06添付のCD-ROMはCD-ROMをドライブにセットするだけで、自動的にメニュープログラムを起動させる機能を持っています。自動的にメニュープログラムが起動しない場合は、CD-ROM内のルートディレクトリにあるAutoRun.exeを実行してください。

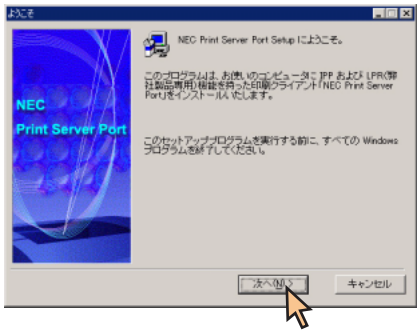
❶ コンピュータの電源をONにし、Windows 98を起動する。

❷ PR-NP-06に添付のCD-ROMをドライブにセットする。

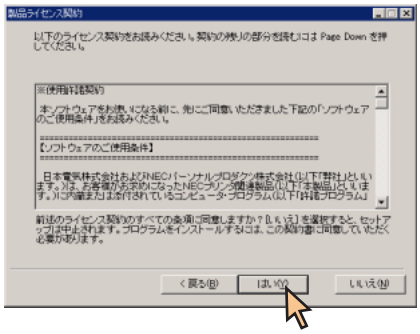
メインメニューが起動します。

❸ [LPR/IPP Port]ボタンをクリックする。

❹ [次へ]をクリックする。

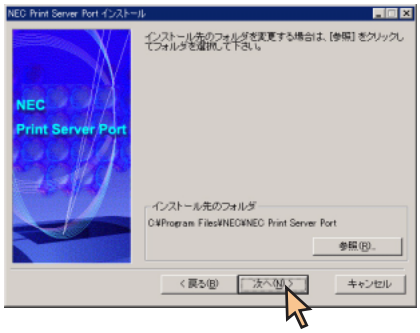


❺ 使用許諾契約を読み、[はい]をクリックする。



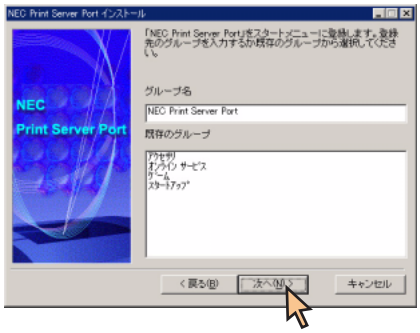
❻ NEC Print Server Portのインストール先を指定し、[次へ]をクリックする。

作成先フォルダを変更したい場合は、[参照]をクリックしインストールするフォルダを選択してください。



❼ スタートメニューの登録先を指定し、[次へ]をクリックする。

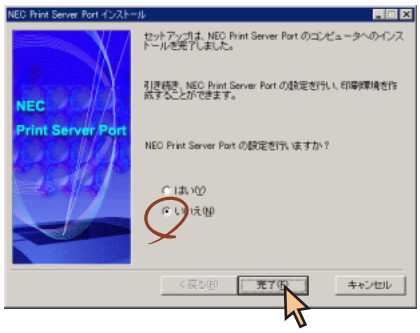
既存のグループに登録したい場合は、下のリストボックスから選択してください。



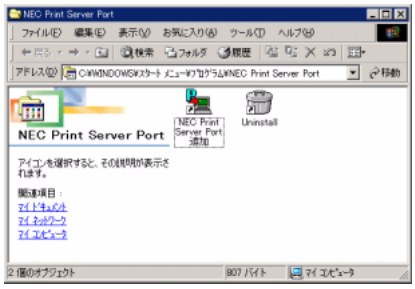
❽ [いいえ]をクリックし、[完了]をクリックする。

[はい]を選択すると、引き続きNEC Print Server Portの設定を行えますが、ここでは[いいえ]を選択し、インストールを終了させます。

このままセットアップを続けたい場合は、NEC PR-NP-06添付のオンラインマニュアルを参照してください。



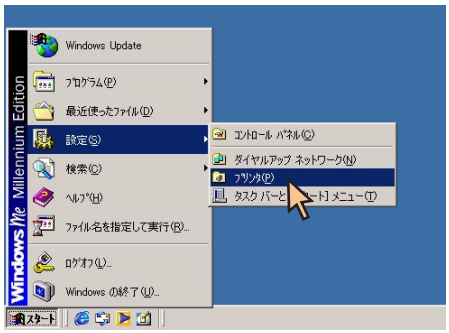
❾ 下に表示された画面を閉じる。



プリンタドライバの選択

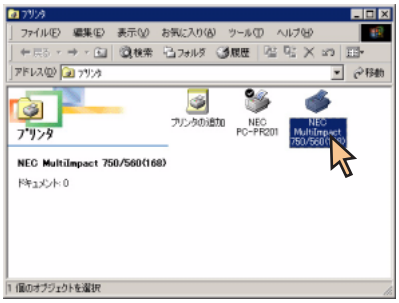
1台のコンピュータに複数のプリンタドライバをインストールしている場合は、あらかじめ使用するプリンタドライバを選択してから印刷する必要があります。次の手順でプリンタドライバを選択します。

❶ **［プリンタ］フォルダを開く。**

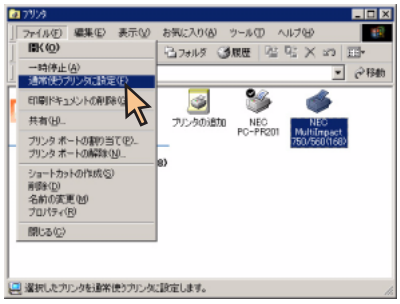


❷ **［NEC　MultiImpact　750/560(168)］アイコンをクリックする。**

ドライバのインストール時に付けた名前が表示されます。



❸ **［ファイル］メニューの［通常使うプリンタに設定］をクリックする。**



これでプリンタドライバが選択されます。

印刷先の変更

LANボードまたはLANアダプタによってネットワークに接続されているプリンタを指定する方法を説明します。プリンタソフトウェアのインストールにより作成されたプリンタの［詳細］プロパティシート上で行います。印刷先の変更は、「NEC Print Server Port」をインストールした後に行ってください。

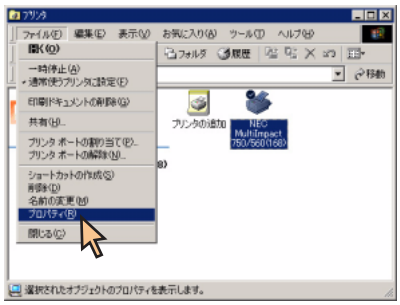
LANボードまたはLANアダプタについては、それぞれの取扱説明書を参照してください。

NEC Print Server Portについては、PR-NP-06を使用した場合のインストール方法を、「NEC Print Server Portのインストール方法」（70ページ）に記載してありますので、そちらを参照してください。

ここではWindows Me 日本語版、Windows 98 日本語版の環境で印刷先を変更する方法についてMultiImpact 750/560（168）とNEC PR-NP-06を使用した場合を例にとって説明します。

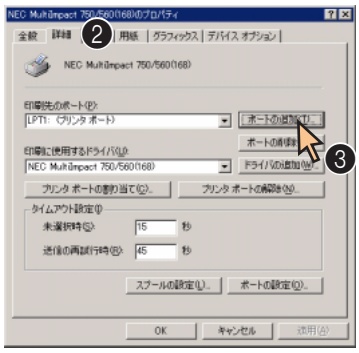
❶［MultiImpact 750/560(168)のプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

［プリンタ］フォルダの［NEC MultiImpact 750/560（168）］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

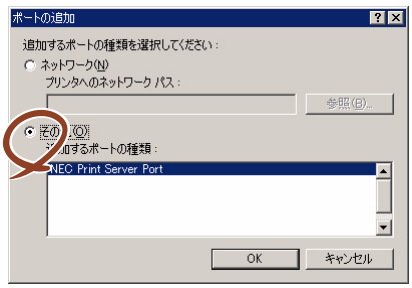


❷［詳細］シートを開く。

❸［ポートの追加］をクリックする。

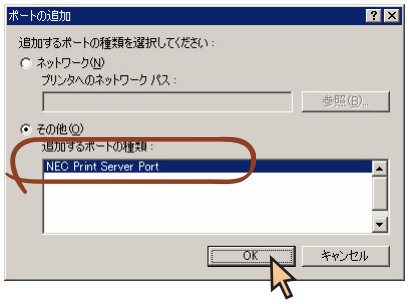


❹［その他］を選択する。



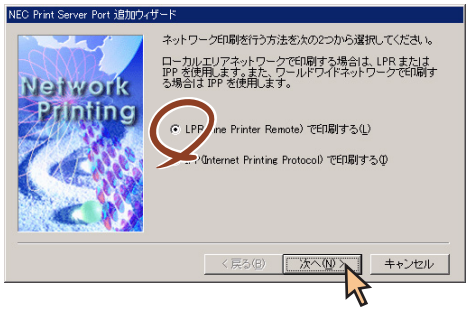
❺「NEC Print Server Port」を選んで、［OK］をクリックする。

［NEC Print Server Port追加ウィザード］が表示されます。



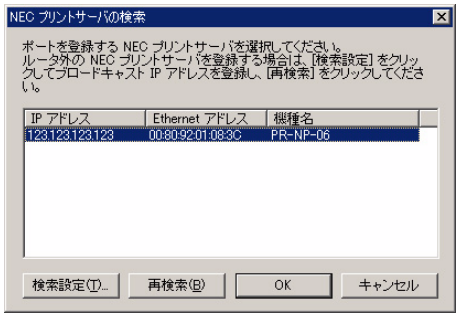
❻［LPR（Line Printer Remote）で印刷する］をクリックし、［次へ］をクリックする。

［IPP（Internet Printing Protocol）］を選択してPortを設定したい場合は、PR-NP-06添付のUser Softwareのオンラインマニュアルを参照してください。



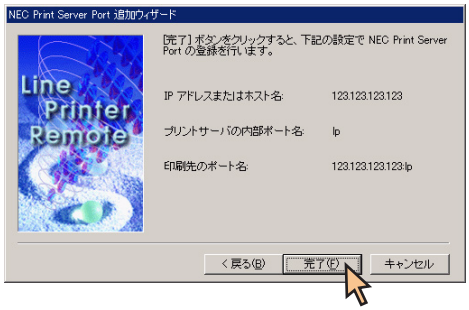
❼ **IPアドレスまたはホスト名を入力し、[次へ]をクリックする。**

「NEC PR-NP-06」が存在する場合、検索をクリックし使用するPR-NP-06を選択します。

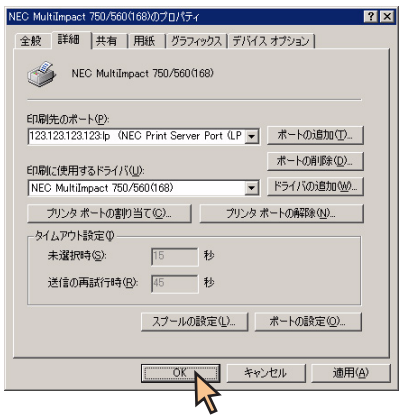


❽ **印刷先のポート名を確認し，[次へ] をクリックする。**

❾ **[完了] をクリックする。**



❿ **[OK] をクリックする。**



共有プリンタに設定する

本プリンタを、Windows Me/98環境のネットワークで共有する場合の設定について説明します。

ネットワーク環境で共有プリンタをお使いになるためには、コンピュータにあらかじめ「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」などクライアントソフトウェアを組み込んでおく必要があります。詳しくはOSの取扱説明書をご覧ください。

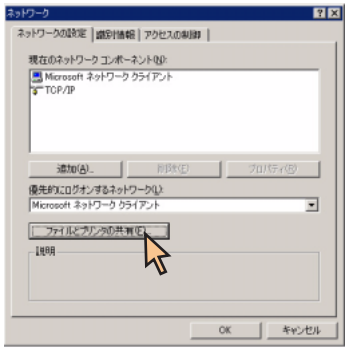
ここではWindows Me/98の環境で、MultiImpact 750/560(168)の場合を例にあげ、共有プリンタとして設定する手順について説明します。

❶［コントロールパネル］を開く。

❷［ネットワーク］アイコンをダブルクリックする。

❸［ファイルとプリンタの共有］をクリックする。

［ファイルとプリンタの共有］ダイアログボックスが開きます。



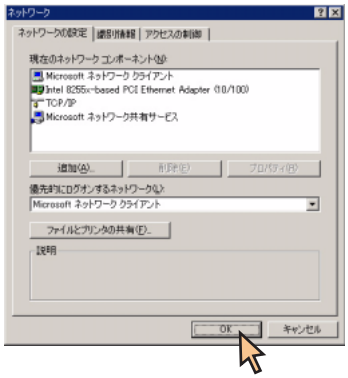
チェック

ネットワーク構成にTCP/IPプロトコル、Microsoftネットワーク共有サービスが必要です。

❹［プリンタを共有できるようにする］をチェックし、［OK］をクリックする。

［ネットワーク］ダイアログボックスが表示されます。

❺［OK］をクリックする。



チェック

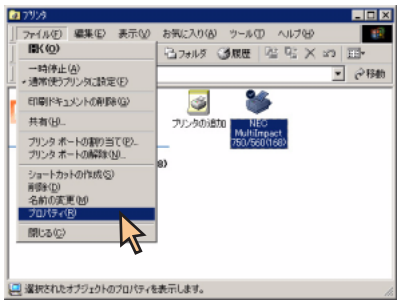
ネットワークの構成を変更した場合は、必ずWindowsを再起動してください。

❻［プリンタ］フォルダ内の［NEC MultiImpact 750/560(168)］アイコンをクリックする。

［プリンタ］フォルダは［スタート］から［設定］-［プリンタ］をクリックすると開きます。

❼ **［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックする。**

［NEC MultiImpact 750/560(168)のプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

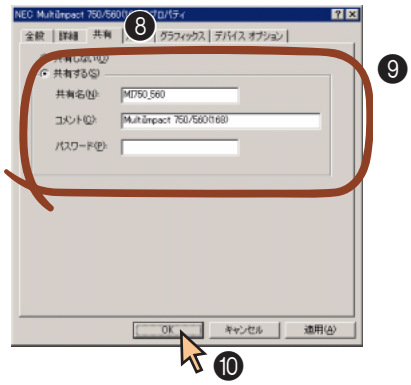


❽ **［共有］シートを開く。**

❾ **［共有］シートの設定をする。**

［共有する］を選び、そのプリンタに対して、共有名を入力します（コメント、パスワードは必要に応じて入力します）。

❿ **［OK］をクリックする。**



ネットワーク環境で共有プリンタをお使いになるためには、コンピュータにあらかじめ「Microsoftネットワーク共有サービス」などクライアントソフトウェアを組み込んでおく必要があります。詳しくはOSの取扱説明書をご覧ください。

印刷の詳細設定

本プリンタでは次のような［プロパティ］ダイアログボックスと呼ばれる画面を使って印刷の詳細な設定を行います。［プロパティ］ダイアログボックスは以下のような6枚のプロパティシートから構成されています。

ここでは［プロパティ］ダイアログボックスの開き方とダイアログボックスの設定の概要について説明します。

- ［全般］シート
- ［詳細］シート
- ［共有］シート*
- ［用紙］シート
- ［グラフィックス］シート
- ［デバイスオプション］シート

* お使いのコンピュータの設定環境によっては、表示されない場合があります。

［プロパティ］ダイアログボックスを開く

プロパティダイアログボックスを呼び出す方法は次の2通りあります。

- デスクトップ上の［スタート］ボタンを使って呼び出す方法

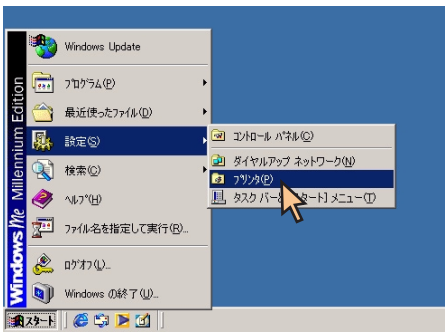
  ダイアログボックスの設定はすべてのアプリケーションでの基本設定となります。

- アプリケーションのメニューから呼び出す方法

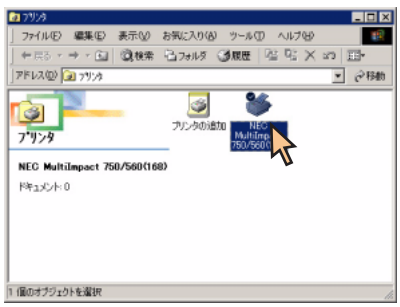
  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目などが表示されないことがあります。

［スタート］ボタンを使って呼び出す

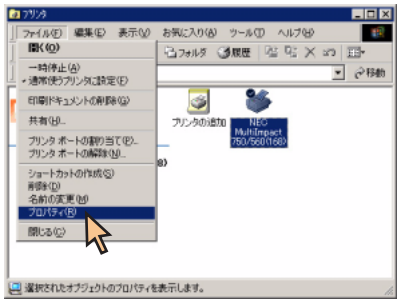
❶ ［プリンタ］フォルダを開く。



❷ ［NEC MultiImpact 750/560(168)］アイコンをクリックする。



❸［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックする。



［プロパティ］ダイアログボックスが開きます。

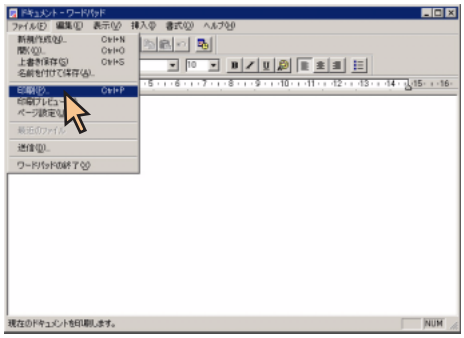
アプリケーションを使って呼び出す

アプリケーションからプロパティダイアログボックスを呼び出す場合、［ファイル］メニューの［印刷］コマンドまたは［プリンタの設定］コマンドを使います。（このコマンドはほとんどの場合、［ファイル］メニューの中にありますが、メニューの構成はアプリケーションによって違います。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

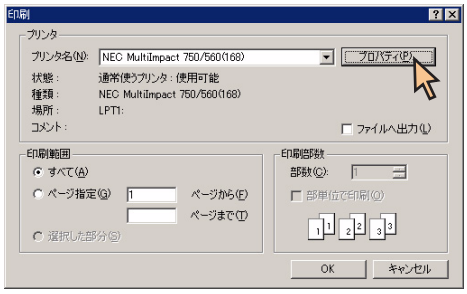
ここではWindows Meで日本語ワードプロセッサ「ワードパッド」を使用した場合を例にとって説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

❶［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。

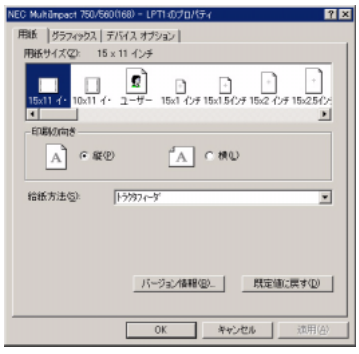
［印刷］ダイアログボックスが開きます。



❷［プロパティ］をクリックする。



下のような［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。



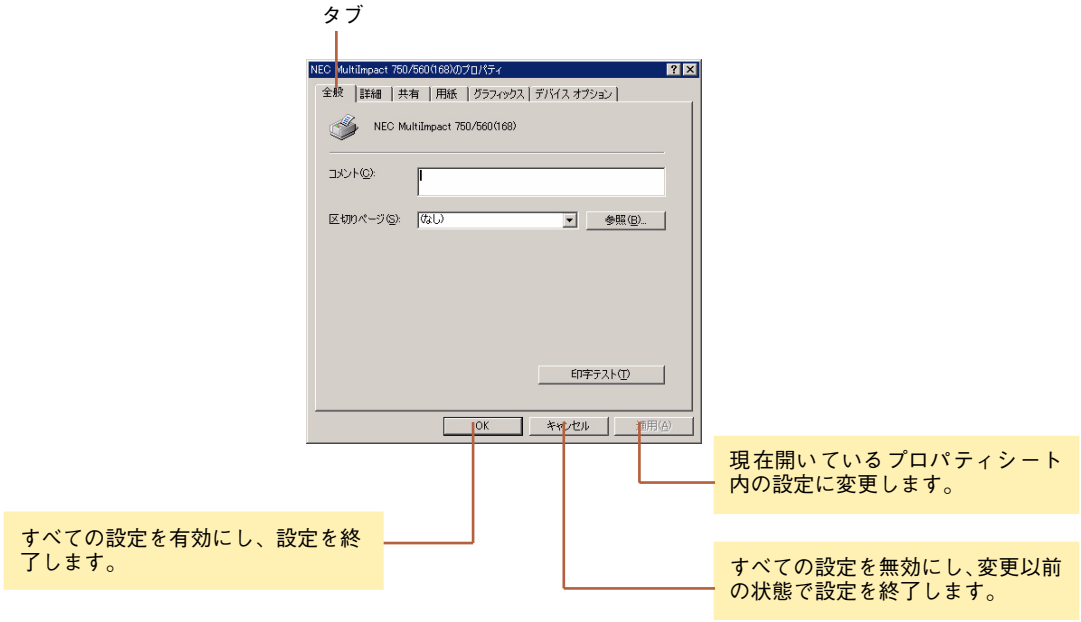
チェック

アプリケーションによっては、アプリケーション上からすべてのプロパティシートを開けなかったり、設定内容を変更できない場合があります。その場合は［スタート］から開くか、アプリケーションのヘルプや添付のマニュアルをご覧ください。

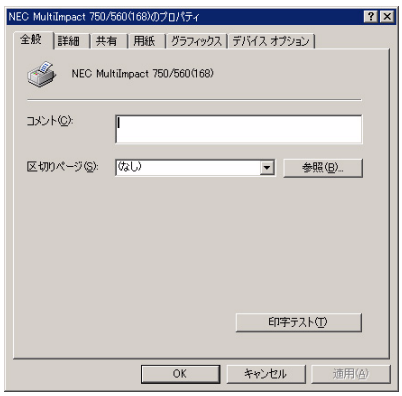
プロパティシートで詳細設定を行う

［プロパティ］ダイアログボックスで設定できる内容についてプロパティシートごとに説明します。なお、各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることにより表示されているヘルプでも説明されています。

各プロパティシートを開くには、開きたい項目のタブをクリックします。
また、各プロパティシート共通に使用されている3つのボタンには以下のような機能があります。

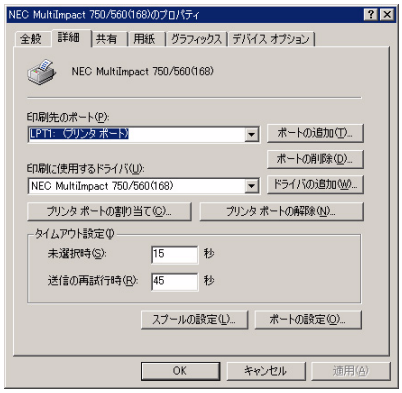


［全般］シート

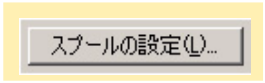


このプロパティシートはWindows Me/98対応のプリンタドライバ共通のものです。
通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows Me/98のヘルプをご覧ください。

[詳細] シート

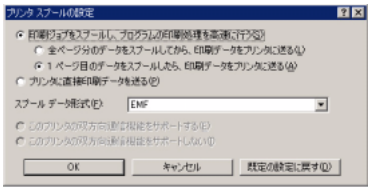


このプロパティシートはWindows Me/98対応のプリンタドライバ共通のものです。
通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows Me/98のヘルプをご覧ください。



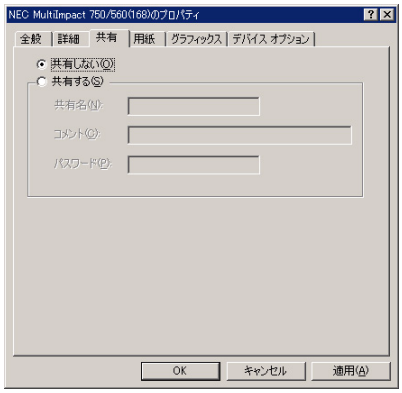
［スプールの設定］

このボタンをクリックすると次のダイアログボックスが表示されます。



このダイアログボックスでプリンタスプールに関するいろいろな設定を行うことができます。

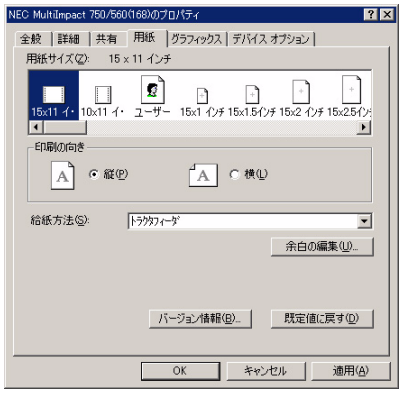
[共有] シート



このプロパティシートはWindows Me/98対応のプリンタドライバ共通のものです。

このプロパティシートはWindows Me/98対応のプリンタをネットワークで使用しているときのみ表示されます。
プリンタを共有するときの設定を行うシートです。詳しくはWindows Me/98のヘルプをご覧ください。

［用紙］シート



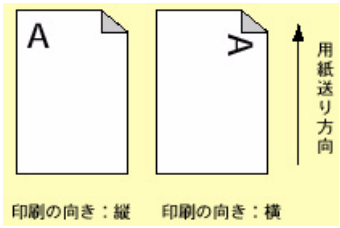
このプロパティシートは用紙に関する以下の設定を行うものです。

用紙サイズ

用紙のサイズを選択します。詳しくは82ページをご覧ください。

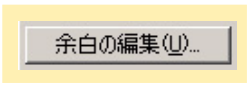
用紙の向き

縦　用紙を縦長に使って印刷します。
横　用紙を横長に使って印刷します。



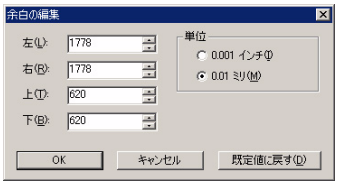
給紙方法

給紙方法を選択します。詳しくは82ページをご覧ください。

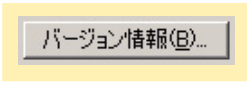


［余白の編集］

このボタンをクリックすると次のダイアログボックスが表示されます。

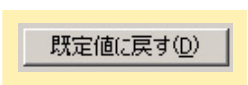


このダイアログボックスで余白の編集を行います。選択した用紙サイズに最適な値が設定されていますので通常の印刷で、この値を変更する必要はありません。
設定を変更すると印刷位置が不正になる場合がありますので、必要なとき以外は変更しないでください。



［バージョン情報］

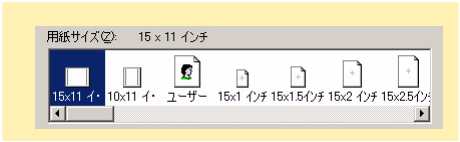
プリンタドライバのバージョンに関する情報を表示します。



［既定値に戻す］

現在開いているプロパティシート内のすべての設定を標準の状態に戻します。

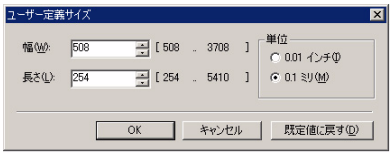
用紙サイズについて



用紙のサイズを選択します。本プリンタがサポートする用紙の種類は次のとおりです。給紙方法により、サポートする用紙が異なります。現在設定されている給紙方法で使用できない用紙を選択すると、使用不可のメッセージが出ます。

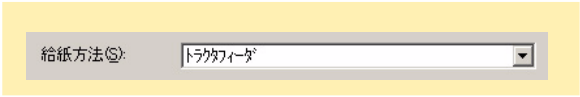
画面表示	内容
15 x 11インチ	15インチ幅の連続紙をセットします。
10 x 11インチ	10インチ幅の連続紙をセットします。
ユーザー定義サイズ*1	上記以外の定形外 サイズの用紙を、幅50.8～370.8mm、長さ25.4～541mmの範囲内で、［ユーザー定義サイズ］で定義して使うことができます。
上記の他に「15 x 1インチ」～「15 x 16.5インチ」などの連続紙を40種類、選択することができます。*2	

*1　［ユーザー定義サイズ］を選択すると下の画面が表示されます。定形外サイズの用紙を、幅50.8～370.8mm、長さ25.4～541mmの範囲内で定義して使用することができます。



*2　給紙方法をトラクタフィーダ（上下余白 0）に選択した場合のみ、使用可能です。

給紙方法について



給紙方法を選択します。本プリンタがサポートする給紙方法は次のとおりです。

画面表示	内容
トラクタフィーダ	用紙の上下に6.2mmの余白を付けたトラクタフィーダ
トラクタフィーダ（上下余白0）	用紙の上下に余白を付けないトラクタフィーダ*1

*1　印刷可能領域をミシン目近くまで取りたい場合にのみ、ご使用いただけますが、以下の点をご承知の上で使用願います。
ユーザーズマニュアル記載の印刷保証領域以外は、かすれ等の印刷品位劣化が生じる場合があります。
ミシン目上は印刷しないでください。ピン折れ等の障害が発生することがあります。

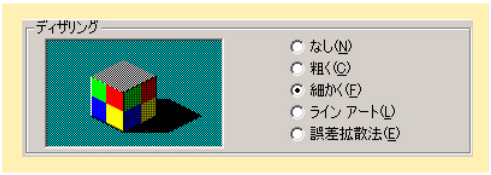
[グラフィックス] シート

このプロパティシートはグラフィックスに関する以下の設定を行います。

- 解像度
- ディザリング
- 濃度

解像度

MultiImpact 750/560の解像度はNEC MultiImpact 750/560(168)を使用した場合、6.6ドット/mm（168dpi）、NEC MultiImpact 750/560(160)を使用した場合は6.3ドット/mm（160dpi）のみです。



ディザリング

使用するディザパターンを選択します。デフォルトは「細かく」です。

- なし

  濃淡を使わず、白か黒で印刷します。
- 軽く

  解像度300dpi以上のプリンタを使用するときに選びます。MultiImpact 750には適していません。
- 細かく

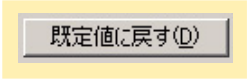
  解像度200dpi以下のプリンタを使用するときに最適です。本プリンタにも最適です。
- ラインアート

  カラー印刷データにせずに、印刷するグラフィックに黒、白グレー階調の間にくっきりとした境目のあるときに選んでください。このプロパティシート中の［色］の［カラー制御］を［白黒のみで印刷］に設定している場合のみ選択可能です。
- 誤差拡散法

  はっきりした境目のない写真や絵を印刷する場合に選択してください。

濃度

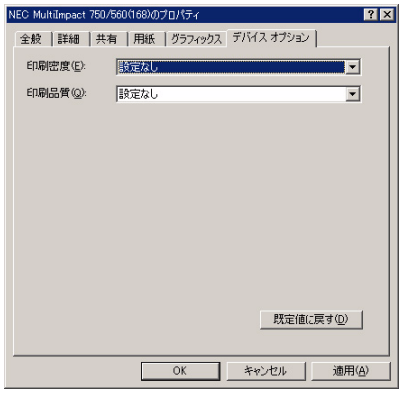
グラフィックスの明暗を増減するときに使います。印刷を薄くするときは［明］の方向へ、印刷を濃くするときは［暗］の方向へ設定します。デフォルト値は100です。



［既定値に戻す］

現在開いているプロパティシート内のすべての設定を標準の状態に戻します。

[デバイスオプション] シート



このプロパティシートはデバイスオプションに関しての設定を行います。

印刷密度

- 設定なし

  プリンタの操作パネルの［濃度選択］スイッチの設定になります。
- 通常

  プリンタの操作パネルの濃度設定を解除し、通常で印刷します。
- 濃度1

  プリンタの操作パネルの濃度設定を濃度1に設定し印刷します。
- 濃度2

  プリンタの操作パネルの濃度設定を濃度2に設定し印刷します。
- 濃度3

  プリンタの操作パネルの濃度設定を濃度3に設定し印刷します。

印刷品質

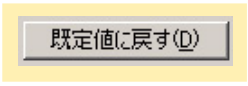
- 設定なし

  プリンタの操作パネルの［印刷モード選択］スイッチの設定になります。
- 通常

  印刷モード選択の設定を解除します。
- 高品位

  印刷モード選択を高品位に設定します。
- 高速

  印刷モード選択を高速に設定します。



［既定値に戻す］

現在開いているプロパティシート内のすべての設定を標準の状態に戻します。

Windows NT 4.0 日本語版の場合

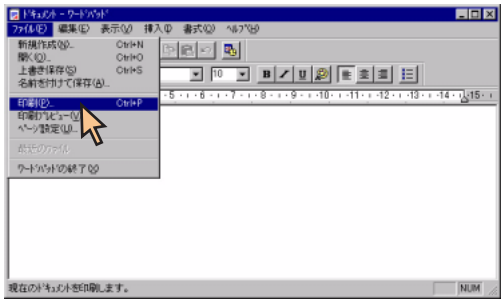
ここではMultiImpact 750/560(168)プリンタドライバを例にあげて説明します。

印刷の手順

ここでは、Windows NT 4.0で日本語ワードプロセッサ「ワードパッド」を例にとって一般的な印刷手順について説明します。お使いになるアプリケーションによってはメニュー構成など多少異なる点があるかもしれません。詳細はアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

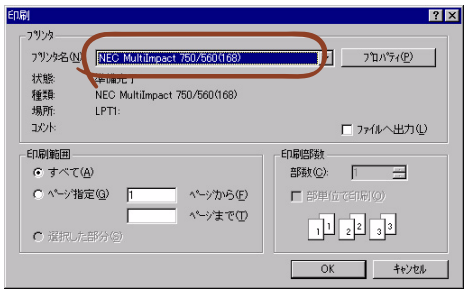
❶［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。

［印刷］ダイアログボックスが開きます。



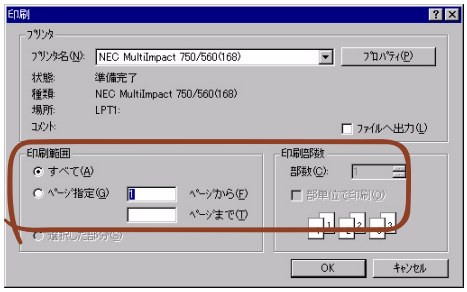
❷ 使用するプリンタ名として「NEC MultiImpact 750/560(168)」が選択されていることを確認する。

もし選択されていなければ、選択し直します。86ページの「プリンタドライバの選択」を参照してください。



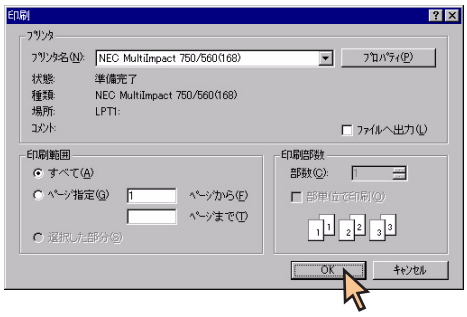
❸ 印刷範囲、部数を指定する。

用紙サイズなど、さらに詳しい設定をしたい場合は［プロパティ］をクリックし、設定を変更します。



❹ 印刷の設定が終わったら［OK］をクリックする。

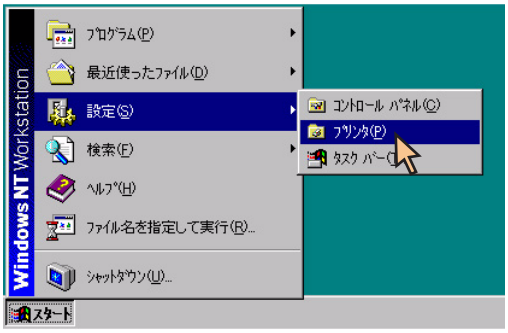
印刷が開始されます。



プリンタドライバの選択

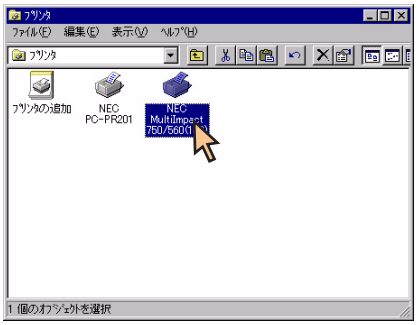
1台のコンピュータに複数のプリンタドライバをインストールしている場合は、あらかじめ使用するプリンタドライバを選択してから印刷する必要があります。次の手順でプリンタドライバを選択します。

❶ ［プリンタ］フォルダを開く。

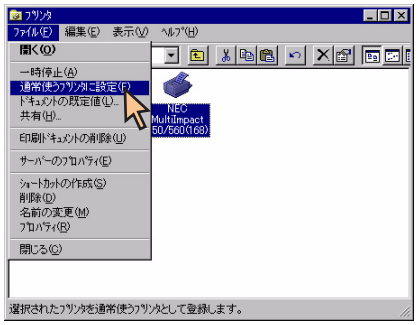


❷ ［NEC　MultiImpact　750/560(168)］アイコンをクリックする。

ドライバのインストール時に付けた名前が表示されます。



❸ ［ファイル］メニューの［通常使うプリンタに設定］をクリックする。



これでプリンタドライバが選択されます。

印刷先の変更

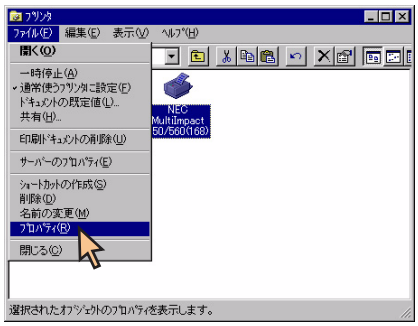
LANボードまたはLANアダプタによってネットワークに接続されているプリンタを指定する方法を説明します。プリンタソフトウェアのインストールにより作成されたプリンタの［ポート］プロパティシート上で行います。印刷先の変更は、「LPR Port」を使用した場合を例にとって説明します。

LANボードまたはLANアダプタについては、それぞれの取扱説明書を参照してください。

ここではWindows NT 4.0 日本語版の環境で印刷先を変更する方法についてMultiImpact 750/560（168）とNEC PR-NP-06を使用した場合を例にとって説明します。

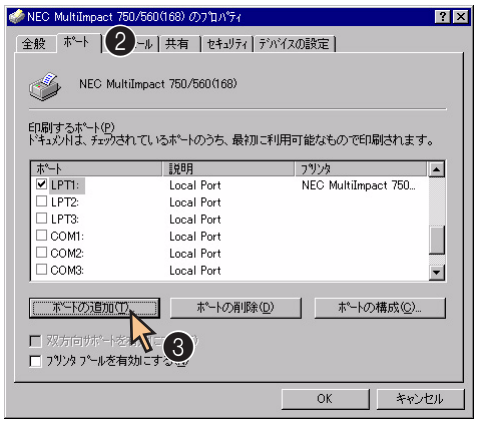
❶［NEC MultiImpact 750/560(168)のプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

［プリンタ］フォルダの［MultiImpact 750/560(168)］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

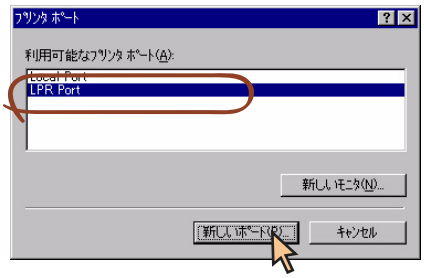


❷［ポート］シートを開く。

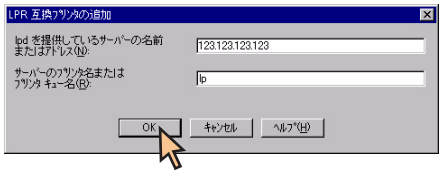
❸［ポートの追加］をクリックする。



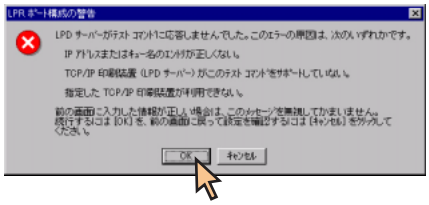
❹［LPR Port］を選んで、［新しいポート］をクリックする。



❺NEC　PR-NP-06のIPアドレスを入力し、［プリンタキュー名］に、名前を入力し、［OK］をクリックする。

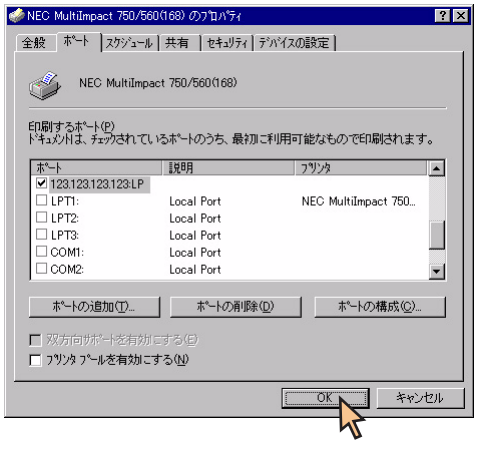


以下のような画面が表示された場合は、［OK］をクリックする。



❻［OK］をクリックする。

印刷先の変更が完了しました。



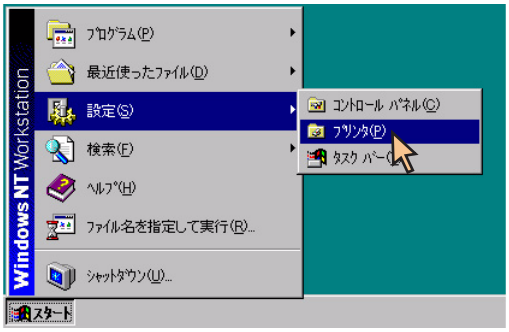
共有プリンタに設定する

本プリンタを、Windows NT 4.0環境のネットワークで共有する場合の設定について説明します。

ネットワーク環境で共有プリンタをお使いになるためには、コンピュータにあったクライアントソフトウェアを組み込んでおく必要があります。詳しくはOSの取扱説明書をご覧ください。

ここではWindows NT 4.0 日本語版の環境で、MultiImpact 750/560(168)の場合を例にあげて共有プリンタとして設定する手順について説明します。

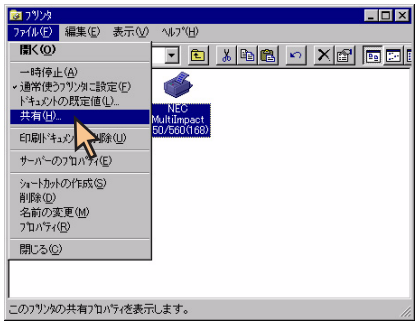
❶ ［プリンタ］フォルダを開く。



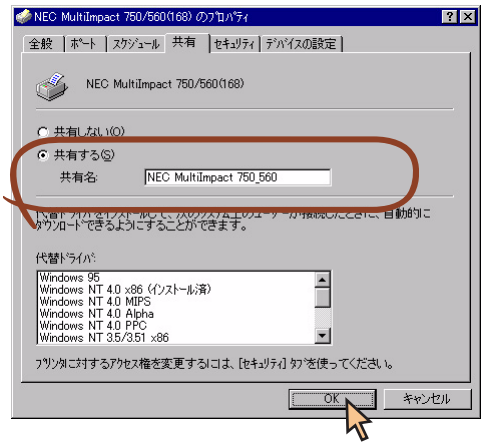
❷ ［NEC MultiImpact 750/560(168)］アイコンをクリックする。

❸ ［ファイル］メニューの［共有］をクリックする。

［NEC MultiImpact 750/560(168)］ダイアログボックスが表示されます。



❹ ［共有する］をチェックし、そのプリンタの共有名を入力し、［OK］をクリックする。



これで共有プリンタの設定は完了です。

印刷の詳細設定

本プリンタでは次のような2つの［プロパティ］ダイアログボックスと呼ばれる画面を使って印刷の詳細な設定を行います。

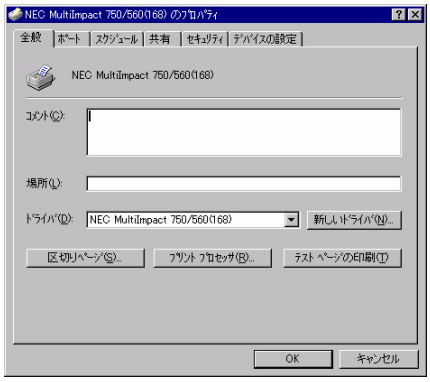
［既定のドキュメントのプロパティ］ダイアログボックス

印刷の詳細な設定をするダイアログボックスです。次の2つのプロパティシートから構成されています。

- ［ページ設定］シート
- ［詳細］シート

［プロパティ］ダイアログボックス

プリンタのポートや共有などに関する設定をするダイアログボックスです。次の6枚のプロパティシートから構成されています。このダイアログボックスはアプリケーションからは表示されません。



- ［全般］シート
- ［ポート］シート
- ［スケジュール］シート
- ［共有］シート
- ［セキュリティ］シート
- ［デバイスの設定］シート

チェック

- アプリケーションによっては、ダイアログボックスの設定を変更するタイミングに関係なくアプリケーションからの設定が優先されるものがあります。また、［スタート］からの設定変更に合わせて、アプリケーションの設定も自動的に変わるなど、使用するアプリケーションによって異なりますのでアプリケーションのマニュアルを参照してください。
- ［既定のドキュメントのプロパティ］と［プロパティ］で同じ項目の設定は、［既定のドキュメントのプロパティ］の設定が優先されます。

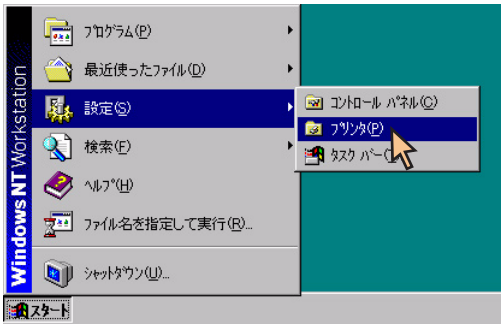
[プロパティ] ダイアログボックスを開く

プロパティダイアログボックスを呼び出す方法は次の2通りあります。

- デスクトップ上の［スタート］ボタンを使って呼び出す方法
  ダイアログボックスの設定はすべてのアプリケーションでの基本設定となります。
- アプリケーションのメニューから呼び出す方法
  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目などが表示されないことがあります。

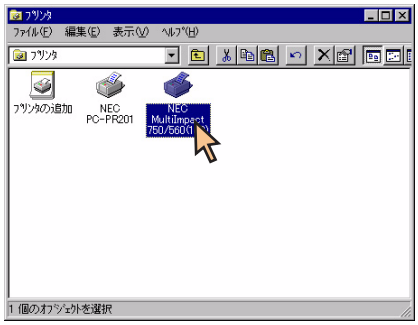
［スタート］ボタンを使って呼び出す

❶［プリンタ］フォルダを開く。

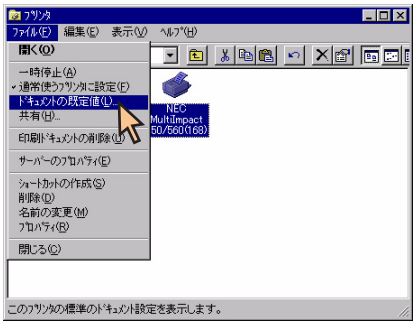


❷［NEC MultiImpact 750/560(168)］アイコンをクリックする。

［既定のドキュメントのプロパティ］ダイアログボックスを開きたいときは手順❸へ、［プロパティ］ダイアログボックスを開きたいときは手順❹へ進んでください。



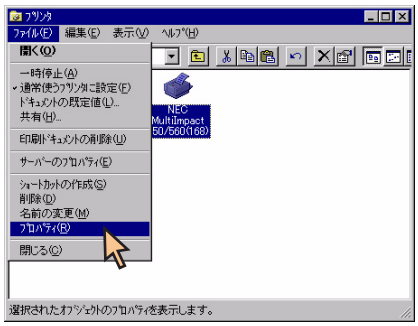
❸［ファイル］メニューの［ドキュメントの既定値］をクリックする。



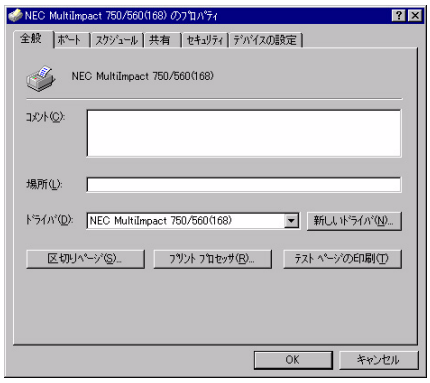
［既定のドキュメントのプロパティ］ダイアログボックスが開きます。

各プロパティシートについては、93ページからの「[既定のドキュメントのプロパティ］ダイアログボックスで詳細設定を行う」を参照してください。

❹ **［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックする。**



［プロパティ］ダイアログボックスが開きます。



各プロパティシートについては、99ページからの「［プロパティ］ダイアログボックスで詳細設定を行う」を参照してください。

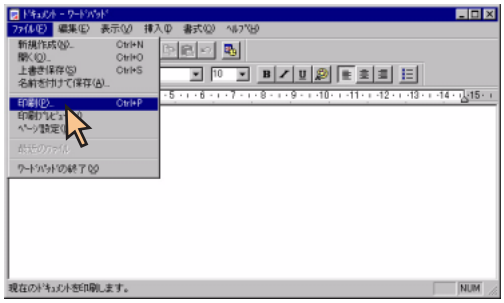
アプリケーションを使って呼び出す

アプリケーションから［プロパティ］ダイアログボックスを呼び出す場合、［ファイル］メニューの［印刷］コマンドまたは［プリンタの設定］コマンドを使います。（このコマンドはほとんどの場合、［ファイル］メニューの中にありますが、メニューの構成はアプリケーションによって違います。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。）

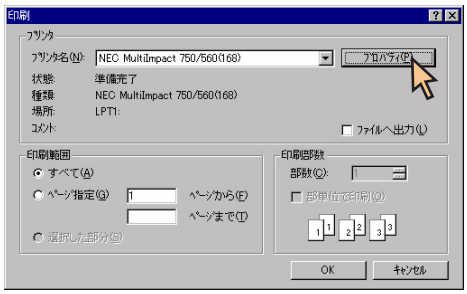
ここではWindows NT 4.0に付属している日本語ワードプロセッサ「ワードパッド」を例にとって説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を参照してください。

❶ **［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。**

［印刷］ダイアログボックスが開きます。



❷ **［プロパティ］をクリックする。**



下のような［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

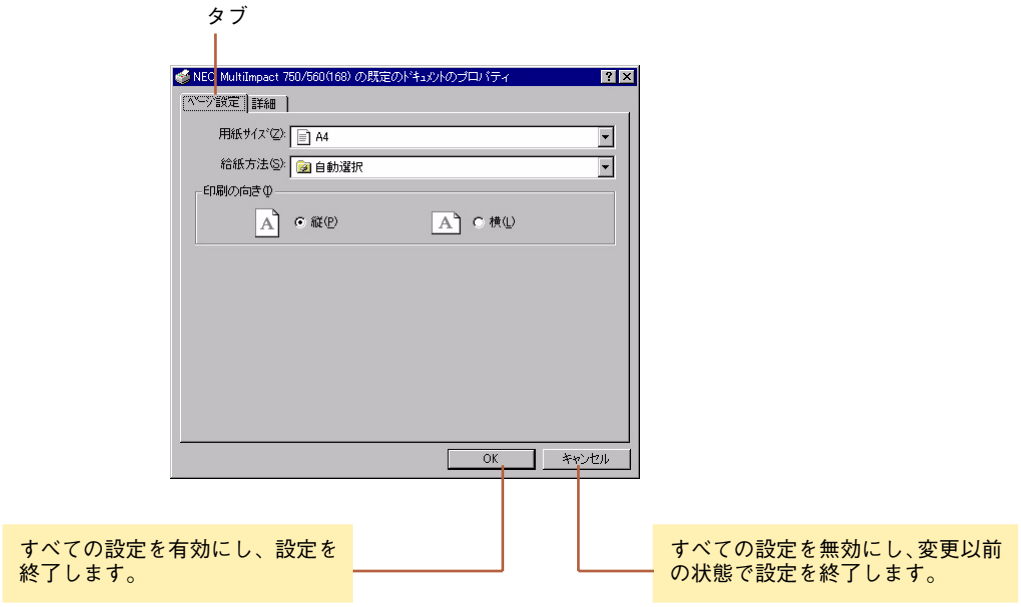
チェック

アプリケーションによっては、アプリケーション上からすべてのプロパティシートを開けなかったり、設定内容を変更できない場合があります。その場合は［スタート］から開くか、アプリケーションのヘルプや添付のマニュアルをご覧ください。

[既定のドキュメントのプロパティ] ダイアログボックスで詳細設定を行う

[既定のドキュメントのプロパティ] ダイアログボックスで設定できる項目について、各プロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることにより表示されるヘルプでも説明されています。

各プロパティシートを開くには、開きたい項目のタブをクリックします。
また、各プロパティシート共通に使用されている2つのボタンには以下のような機能があります。

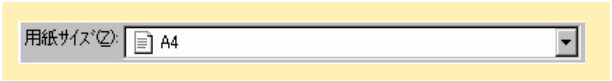


[ページ設定] シート

このプロパティシートはページ設定に関する以下の設定を行うものです。

- 用紙サイズ
- 給紙方法
- 印刷の向き

用紙サイズ



用紙サイズを選択します。本プリンタがサポートする用紙の種類は次のとおりです。

画面表示	内容
10 x 11インチ	10インチ幅の連続紙をセットします。
15 x 11インチ	15インチ幅の連続紙をセットします。
登録した用紙	Windows NT 4.0の「新しい用紙を作成する」によって登録した用紙を使用する場合は、登録した用紙名を選択してください。以下の範囲内で作成してください。用紙の登録方法については、「ユーザー定義用紙サイズの登録」(104ページ)をご覧ください。 幅　50.8～420.05mm*1／高さ　25.4～541mm
上記の他に「15 x 1インチ」～「15 x 16.5インチ」などの連続紙を40種類、選択することができます。	

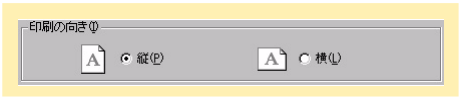
*1　幅が 345.4mm を超える用紙を登録した場合、アプリケーションから印刷時に幅と余白の差が 345.4mm以内になるよう、アプリケーションでの設定が必要です。

給紙方法

給紙方法を選択します。本プリンタのプリンタドライバがサポートする給紙方法は次のとおりです。

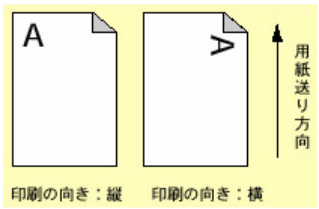
画面表示	内容
自動選択	[デバイスの設定] プロパティシートの給紙方法と用紙の割り当ての設定に従います。
トラクタフィーダ	用紙の上下に6.2mmの余白を付けたトラクタフィーダ
トラクタフィーダ（上下余白0）	用紙の上下に余白を付けないトラクタフィーダ*1

*1　印刷可能領域をミシン目近くまで取りたい場合にのみ、ご使用いただけますが、以下の点をご承知の上で使用願います。
ユーザーズマニュアル記載の印刷保証領域以外は、かすれ等の印刷品位劣化が生じる場合があります。
ミシン目上は印刷しないでください。ピン折れ等の障害が発生することがあります。



印刷の向き

縦　用紙を縦長に使って印刷します。
横　用紙を横長に使って印刷します。



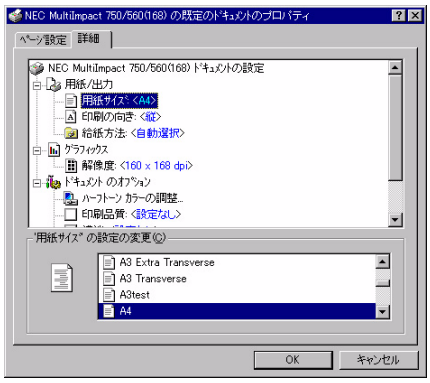
[詳細] シート

[変更したオプションを元に戻す]

変更した設定をプロパティシートを開いたときの状態に戻します。

[ラスタプリンタドライバのバージョン情報]

ラスタプリンタドライバのバージョンに関する情報を表示します。

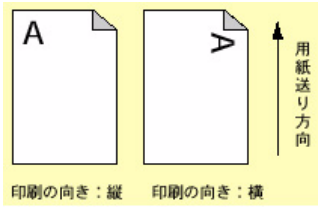


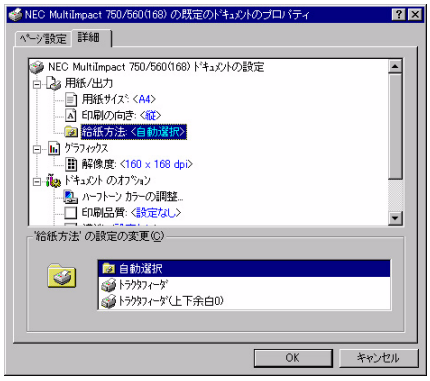
用紙サイズ

印刷用紙のサイズを選択します。
本プリンタがサポートする用紙については94ページを参照してください。

印刷の向き

縦　用紙を縦長に使って印刷します。
横　用紙を横長に使って印刷します。



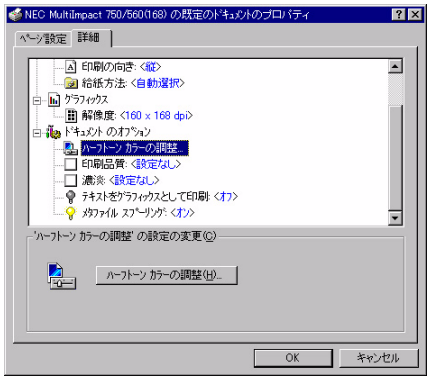


給紙方法

給紙方法を選択します。詳細は94ページを参照してください。

解像度

本プリンタの解像度はNEC MultiImpact 750/560(168)を使用した場合、6.6ドット/mm（168dpi）、NEC MultiImpact 750/560(160)を使用した場合、6.3ドット/mm（160dpi）のみです。



ハーフトーンカラーの調整

［ハーフトーンの調整］ボタンをクリックすると［ハーフトーンの調整］ダイアログボックスが表示されます。

ハーフトーンカラーの調整について

［標準値］

すべての設定値を初期設定に戻します。

［戻す］

すべての設定値をダイアログボックスを開いたときの状態に戻します。

［開く］

グラフィックスファイルを選択して開きます。

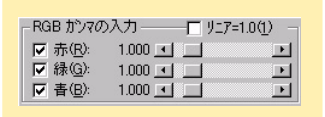
［名前を付けて保存］

開いたグラフィックスファイルを保存します。グラフィックのサイズ・向き・色に対して行った変更結果が保存されます。

色や明るさなどの調整

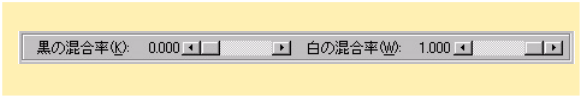
グラフィックスのコントラストや明るさを調整します。

ｺﾝﾄﾗｽﾄ	明暗の色調の差を調整します。
明るさ	光の輝度を調整します。
色	本プリンタドライバでは設定できません。
濃淡	本プリンタドライバでは設定できません。
暗い色	このチェックボックスをチェックすることで露出過度のグラフィックスを調整します。
反転	このチェックボックスをチェックすることで色の反転を調整します



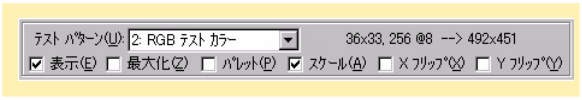
RGBガンマの入力

リニア　このチェックボックスをチェックすることで、明るさを入力値と等しくするかどうかを指定します。



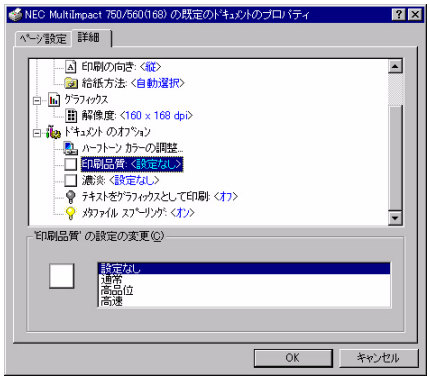
黒／白の混合率

イメージの最も暗い点から最も明るい点までの範囲を設定します。



テストパターン

参照色またはグラフィックスが表示されます。



印刷品質

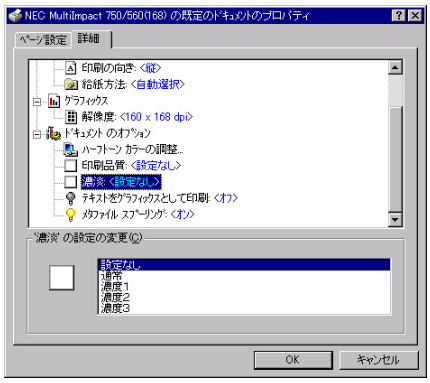
- 設定なし

  プリンタの操作パネルの［印刷モード選択］スイッチの設定になります。
- 通常

  印刷モード選択の設定を解除します。
- 高品位

  印刷モード選択を高品位に設定します。
- 高速

  印刷モード選択を高速に設定します。



濃淡

- 設定なし

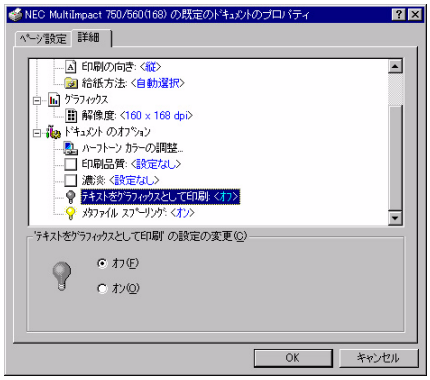
  プリンタの操作パネルの［濃度選択］スイッチの設定になります。
- 通常

  プリンタの操作パネルの濃度設定を解除し、通常で 印刷します。
- 濃度1

  プリンタの操作パネルの濃度設定を濃度1に設定し印刷します。
- 濃度2

  プリンタの操作パネルの濃度設定を濃度2に設定し印刷します。
- 濃度3

  プリンタの操作パネルの濃度設定を濃度3に設定し印刷します。



テキストをグラフィックスとして印刷

- オフ

  テキストを設定されているフォントで印刷します。
- オン

  プリンタフォントを使用せず、グラフィックスでテキストを印刷します。

メタファイルスプーリング

印刷情報をディスクに格納する形式を指定します。

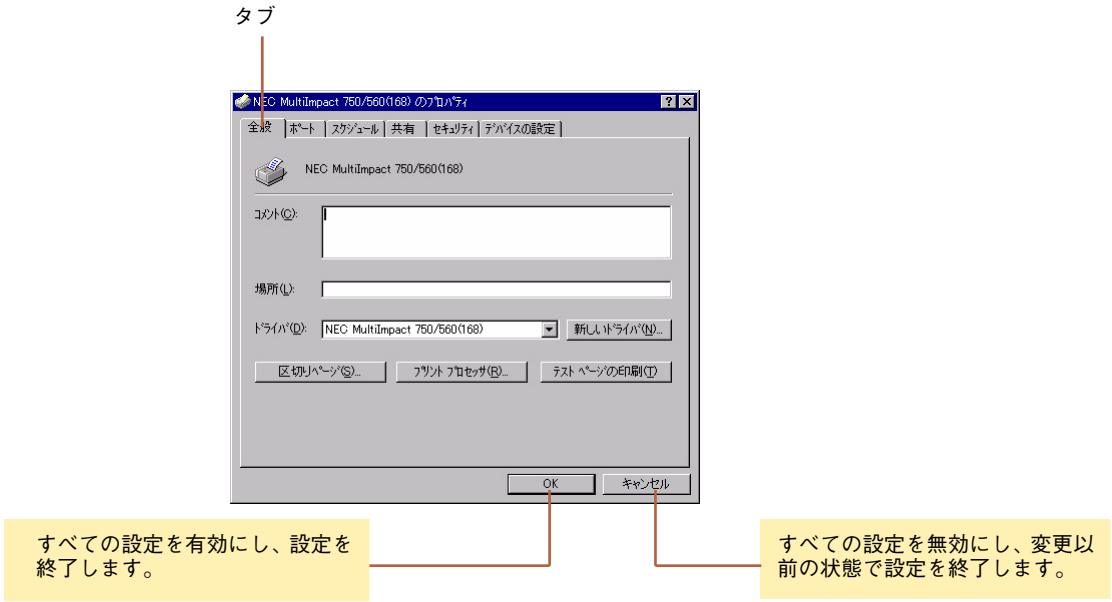
- オン　EMF（メタファイル）形式
- オフ　RAW形式

- ［用紙サイズ］、［給紙方法］、［印刷の向き］の3つの設定はページ設定と詳細プロパティシートの両方にあります。どちらか一方のプロパティシートで設定を変更すると、もう一方も変更されます。
- 用紙サイズは、給紙方法に割り当てる機能です。このため、アプリケーションより給紙方法を設定したときなど、自動的に用紙サイズが給紙方法に割り当てられたものに変わる場合があります。

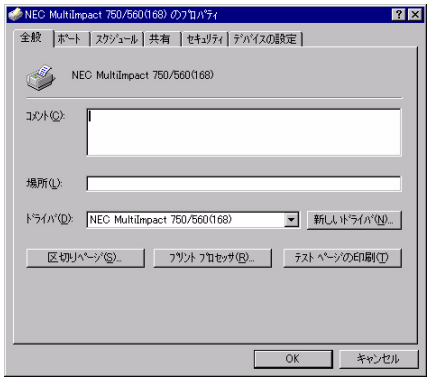
[プロパティ] ダイアログボックスで詳細設定を行う

[プロパティ] ダイアログボックスで設定できる項目について、各プロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることにより表示されるヘルプでも説明されています。

各プロパティシートを開くには、開きたい項目のタブをクリックします。
また、各プロパティシート共通に使用されている2つのボタンには以下のような機能があります。



[全般] シート



このプロパティシートはWindows NT 4.0対応のプリンタドライバ共通のものです。

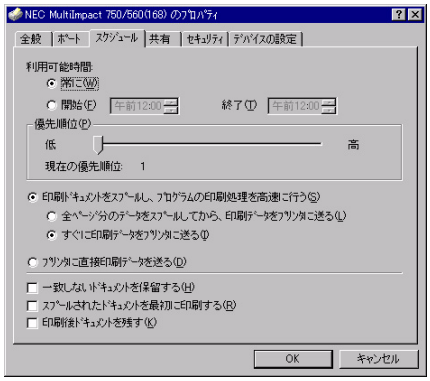
通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows NT 4.0のヘルプをご覧ください。

[ポート] シート

このプロパティシートはWindows NT 4.0対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows NT 4.0のヘルプをご覧ください。

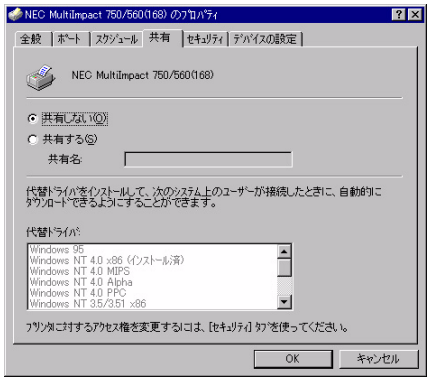
[スケジュール] シート



このプロパティシートはWindows NT 4.0対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows NT 4.0のヘルプをご覧ください。

[共有] シート



このプロパティシートはWindows NT 4.0対応のプリンタドライバ共通のものです。

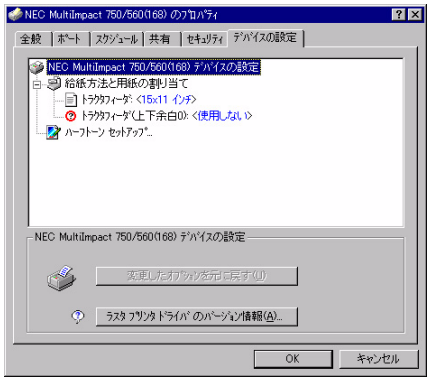
通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows NT 4.0のヘルプをご覧ください。

[セキュリティ] シート

このプロパティシートはWindows NT 4.0対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows NT 4.0のヘルプをご覧ください。

［デバイスの設定］シート



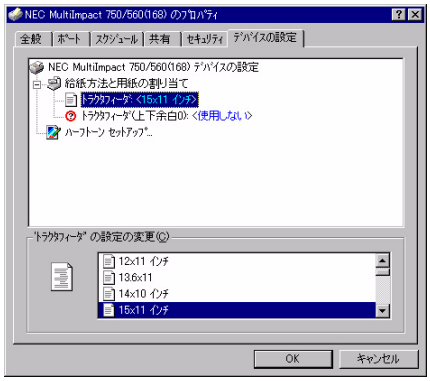
このシートはデバイスの設定に関する以下の設定を行います。

［変更したオプションを元に戻す］

変更した設定をプロパティ シートを開いたときの状態に戻します。

［ラスタプリンタドライバのバージョン情報］

プリンタドライバのバージョンに関する情報を表示します。

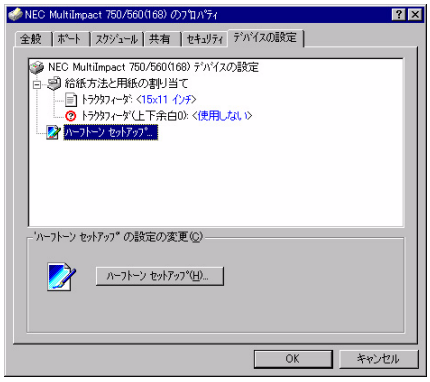


給紙方法と用紙の割り当て

本プリンタがサポートしている給紙方法から、使用するものを選択します。

ツリービューの中の給紙方法の1つをクリックすると［「給紙方法」の設定の変更］として給紙方法に割り当てる用紙が表示されます（本プリンタでサポートする給紙方法については94ページを参照してください）。給紙方法に割り当てる用紙を選択します。

> ［給紙方法］として［自動選択］を選択したときに、［給紙方法と用紙の割り当て］の設定が有効となります。設定方法については、103ページを参照してください。



ハーフトーンセットアップの設定の変更

［ハーフトーンセットアップ］をクリックすると［デバイスカラー/ハーフトーンのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。［ハーフトーンセットアップ］については以下の項目を参照してください。

ハーフトーンセットアップについて

［戻す］

すべての設定値をダイアログボックスを開いたときの状態にします。

［標準値］

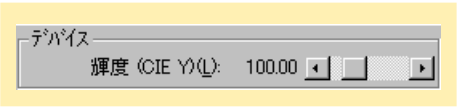
すべての設定値を標準値に戻します。

ハーフトーンのパターン

画面パターン1つ分のサイズを設定します。サイズはピクセル（画素）単位で計測されます。

- デバイスガンマ
  ガンマ特性を用いて、出力データの明るさを調整します。値を小さくすると明るくなり、大きくすると暗くなります。

- ピクセルの大きさ
  ピクセルの大きさを設定して、印刷濃度を調整します。



デバイス

国際照明委員会（CIE）規格を使って、輝度を調整します。

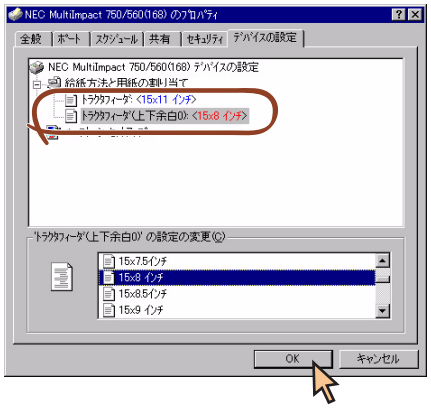
給紙方法と用紙の割り当てについて

給紙方法と用紙の割り当てにより、給紙方法を自動選択する場合は以下のように設定します。

❶［プロパティ］ダイアログボックスを開く。

［プロパティ］ダイアログボックスの開き方については、90ページの「［スタート］ボタンを使って呼び出す」をご覧ください。

❷［デバイスの設定］シートで［給紙方法と用紙の割り当て］を設定し、［OK］をクリックする。



同じ用紙サイズを複数の給紙方法に割り当てた場合は、上の方に表示されている給紙方法が選択されます。

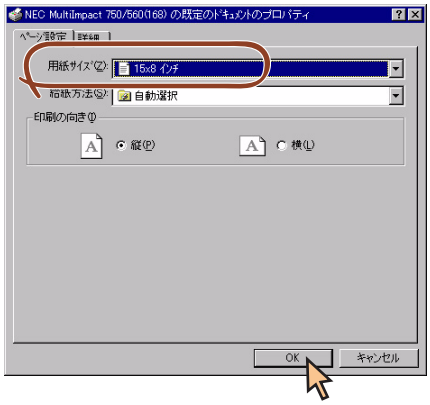
❸［ドキュメントのプロパティ］ダイアログボックスを開く。

［ドキュメントのプロパティ］ダイアログボックスの開き方については、90ページの「［プロパティ］ダイアログボックスを開く」をご覧ください。

❹［ページ設定］シートで給紙方法から［自動選択］を選択する。

［自動選択］以外の給紙方法を選択した場合は、［給紙方法と用紙の割り当て］の設定にかかわらず、ここで選択した給紙方法で印刷が行われます。

❺使用する用紙サイズを選択し、［OK］をクリックする。

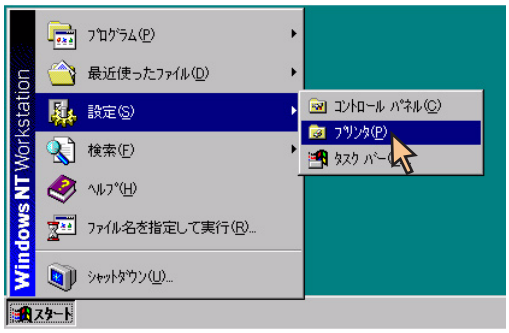


ここで［給紙方法と用紙の割り当て］で設定した用紙サイズ以外の用紙を選択した場合は、［給紙方法と用紙の割り当て］で一番上に表示されている給紙方法で印刷が行われます。

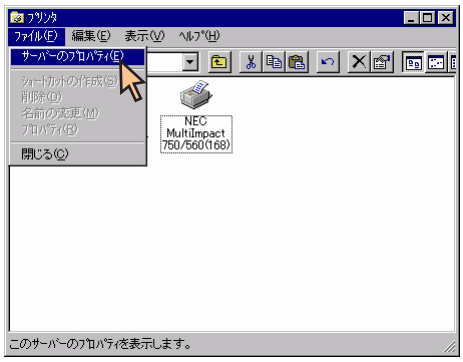
ユーザー定義用紙サイズの登録

次の手順でユーザー定義用紙サイズを登録します。

❶［プリンタ］フォルダを開く。



❷［ファイル］メニューの［サーバーのプロパティ］をクリックし、［プリンタ サーバーのプロパティ］ダイアログボックスを開く。



❸［用紙］シートにおいて［新しい用紙を作成する］をチェックする。

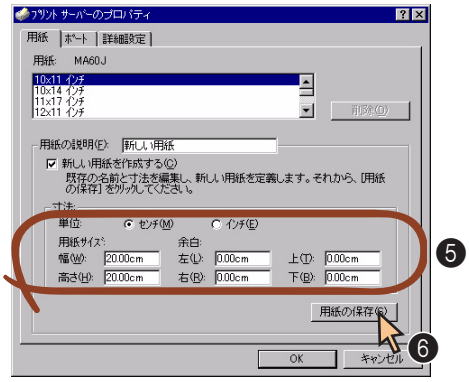
❹［用紙の説明］ボックスに用紙の名前を入力する。

チェック

すでに登録されている用紙と同じ名前を設定することはできません。

❺［単位］を指定して［用紙サイズ］と［余白］を設定する。

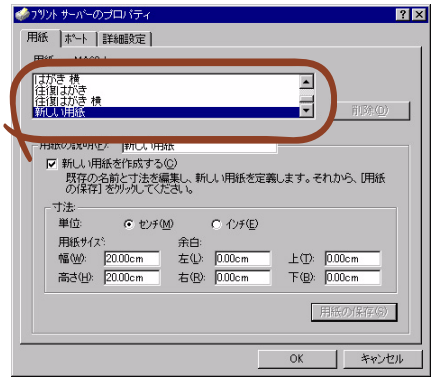
❻［用紙の保存］をクリックする。



チェック

- すでに登録されている用紙と同じ用紙サイズを設定することはできません。
- MultiImpact 750シリーズプリンタドライバでは、幅50.8～345.44mm、長さ25.4～541.02mmの範囲内で用紙サイズを使用することができます。
- MultiImpact 750シリーズプリンタドライバでは、ユーザー定義用紙サイズの左右余白は0mm固定です。また、上下余白は給紙方法を選択することで設定されます。このため、用紙登録時の余白設定は反映されません。

❼［用紙］一覧に新しい用紙が表示されたことを確認する。



4章 リモートパネル

リモートパネルは、プリンタの操作パネルから行う各種設定をご使用のコンピュータの画面上で実行できるように作成されたソフトウェアです。
ここではMultiImpact 750/560を例にあげてリモートパネルの起動方法、リモートパネルの使い方について説明します。

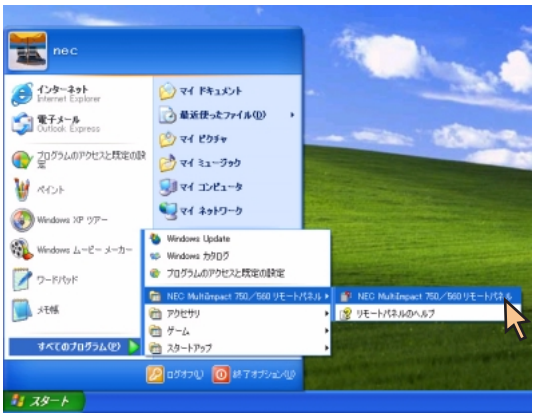
チェック

- リモートパネルはWindows XP 日本語版、Windows 2000 日本語版、Windows Server 2003 日本語版、Windows Me 日本語版、Windows 98 日本語版、Windows NT 4.0 日本語版でのみ動作します。リモートパネルのインストール方法についてはソフトウェアマニュアルをご覧ください。
- N1153-025/026/027には対応していません。

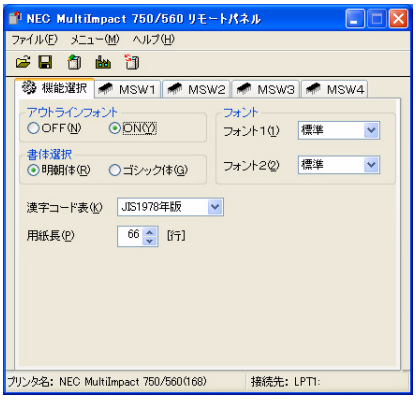
リモートパネルの起動

［リモートパネル］を開く。

［スタート］の［すべてのプログラム］から、［NEC MultiImpact 750/560リモートパネル］フォルダの［NEC MultiImpact 750/560リモートパネル］をクリックします。



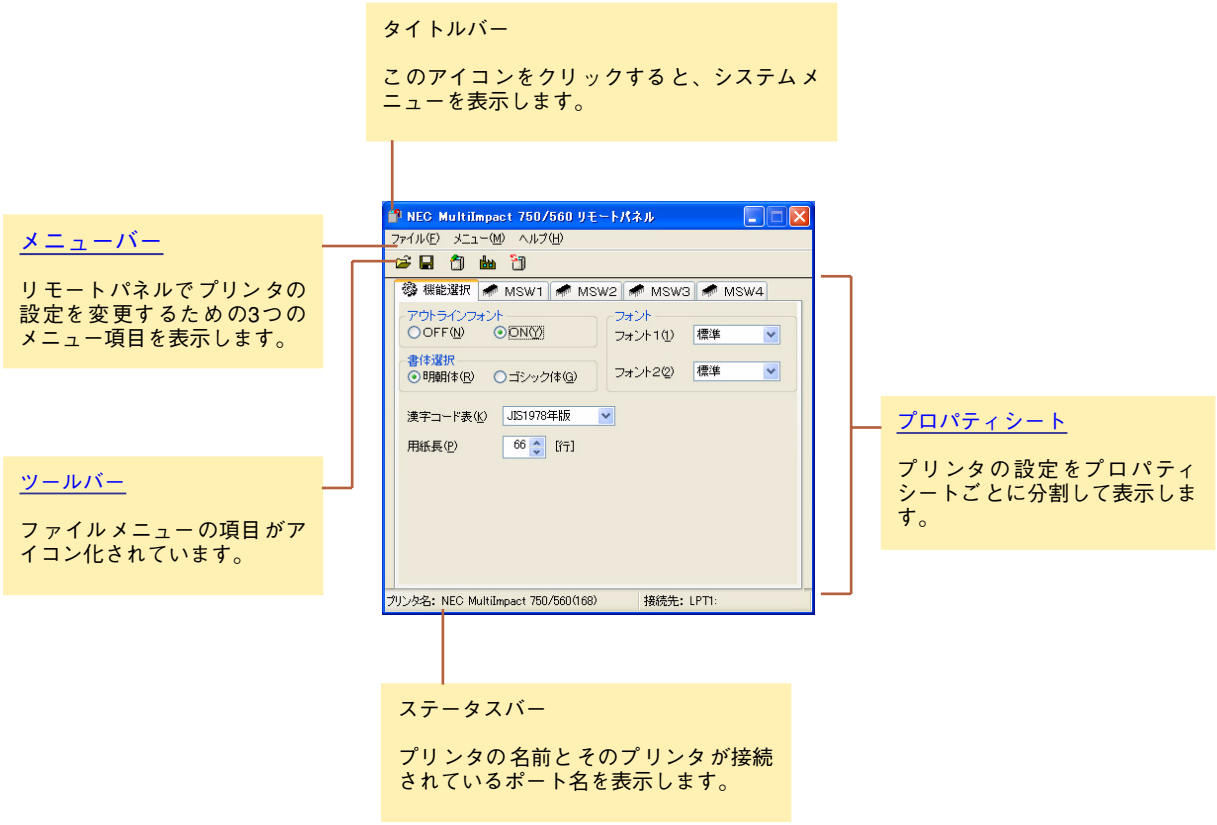
右のようなリモートパネルが表示されます。



プリンタ本体の設定状態に関わらず、リモートパネル起動時はプリンタの工場出荷時の値を表示します。

リモートパネルの使い方

リモートパネルを起動すると次のような［リモートパネル］メインダイアログボックスが表示されます。



システムメニュー

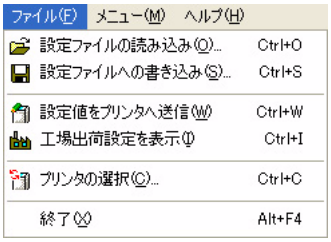
- **元のサイズに戻す**
  アイコン化されているリモートパネルをウィンドウ状態に戻します。
- **移動**
  リモートパネルのウィンドウを移動します。リモートパネルがアイコン表示されているときは移動できないため、グレー表示されます。
- **サイズ変更**
  使用できないためグレー表示されます。
- **最小化**
  リモートパネルをアイコン表示します。すでにアイコン表示されているときはグレー表示されます。
- **最大化**
  使用できないためグレー表示されます。
- **閉じる**
  リモートパネルを終了します。

メニューバー

リモートパネルでプリンタの設定を変更するための3つのメニュー項目を表示します。

ファイル

［ファイル］をクリックすると、リモートパネルで設定した値を書き込んだり、工場出荷時の設定値に戻して表示させたりすることができるメニューが表示されます。



設定ファイルの読み込み

この項目をクリックすると［ファイルを開く］ダイアログボックスが表示され、保存しておいた設定値を使用することができます。

設定ファイルへの書き込み

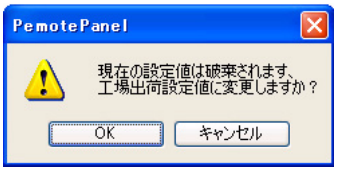
この項目をクリックするとリモートパネル設定ファイルを保存するための右のダイアログボックスが表示されます。

設定値をプリンタへ送信

選択されているプリンタにリモートパネルで変更した設定値を書き込むことができます。

工場出荷設定値を表示

リモートパネル上の設定値をすべて工場出荷設定値に戻して表示することができます。このとき右のダイアログボックスが表示されます。



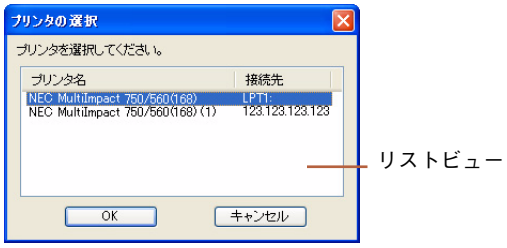
このとき［キャンセル］をクリックすると工場出荷設定値には戻さず、メインダイアログボックスに戻ります。［OK］をクリックすると右のダイアログボックスを表示し、工場出荷設定値を表示します。

チェック

この項目を選択すると工場出荷設定値に戻して表示されますが、プリンタ本体の設定値は変更されません。［設定値をプリンタに送信］を選択してはじめて設定値は変更されます。

プリンタの選択

リモートパネルで設定変更したいプリンタを選択することができます。ご使用のコンピュータに複数のMultiImpact 750/560プリンタドライバがインストールされている場合のみ、プリンタを選択するため次のダイアログボックスが表示されます。
設定を変更または表示したいプリンタをリストビュー上で選択します。リストビューにはプリンタ名および接続先が表示されます。



［OK］をクリックするとリストビュー上で選択されているプリンタの設定を表示/設定するリモートパネルが起動します。

チェック

ご使用のコンピュータにMultiImpact 750/560プリンタドライバが1つしかインストールされていない場合は、［プリンタの選択］は無効です。

終了

リモートパネルを終了することができます。

メニュー

リモートパネルで設定変更したい項目を選択することができます。

設定変更したい項目を選択します。設定項目の詳細については、ユーザーズマニュアルまたはリモートパネルのヘルプをご覧ください。

ヘルプ

ヘルプをクリックすると、リモートパネルのヘルプやバージョン情報を表示することができます。

ヘルプ目次

リモートパネルのヘルプを表示します。

バージョン情報

リモートパネルのバージョン情報を表示します。

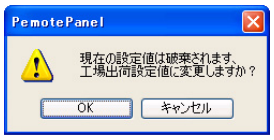
ツールバー

- **［設定ファイルの読み込み］ボタン**
  このボタンをクリックすると［ファイルを開く］ダイアログボックスが表示され、保存しておいた設定値を使用することができます。

- **［設定ファイルへの書き込み］ボタン**
  このボタンをクリックするとリモートパネル設定ファイルを保存するためのダイアログボックスが表示され、設定値を保存することができます。

- **［設定値をプリンタへ送信］ボタン**
  このボタンをクリックするとプリンタにリモートパネルで変更した設定値を書き込むことができます。

- **［工場出荷設定を表示］ボタン**
  リモートパネル上の設定値をすべて工場出荷設定値に戻して表示することができます。このとき次のダイアログボックスが表示されます。

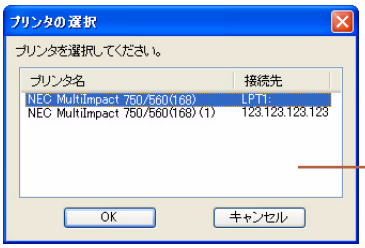


このとき［キャンセル］を選択すると工場出荷設定値には戻さず、メインダイアログボックスに戻ります。
［OK］を選択すると次のダイアログボックスを表示し、工場出荷設定値を表示します。

チェック

この項目を選択すると工場出荷設定値に戻して表示されますが、プリンタ本体の設定値は変更されません。［設定値をプリンタに送信］を選択してはじめて設定値は変更されます。

- **［プリンタの選択］ボタン**
  このボタンをクリックするとリモートパネルで設定変更したいプリンタを選択することができます。ご使用のコンピュータに複数のMultiImpact 750/560プリンタドライバがインストールされている場合のみ、プリンタを選択するため次のダイアログボックスが表示されます。設定または表示したいプリンタをリストビュー上で選択します。リストビューにはプリンタ名および接続先が表示されます。



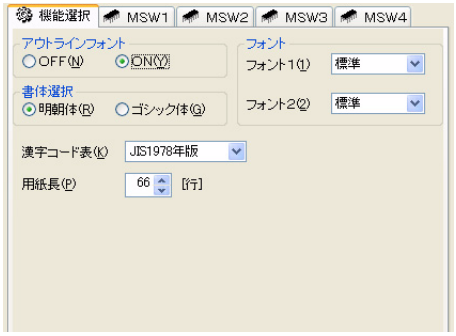
［OK］をクリックするとリストビュー上で選択されているプリンタの設定を表示/設定するリモートパネルが起動します。

チェック

ご使用のコンピュータにMultiImpact 750/560プリンタドライバが1つしかインストールされていない場合は、［プリンタの選択］は無効です。

プロパティシート

プリンタの設定をプロパティシートごとに分割して表示します。



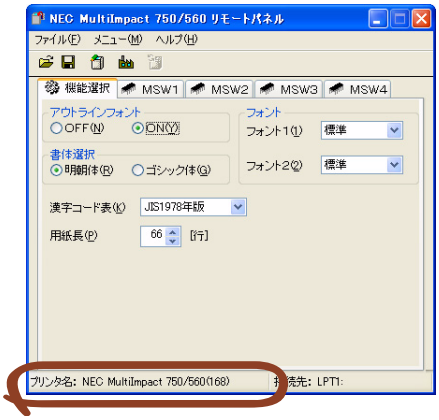
設定項目の詳細については、ユーザーズマニュアルまたはリモートパネルのヘルプをご覧ください。

設定変更手順

リモートパネルを使った設定変更は以下の手順で行います。

❶ 設定を変えたいプリンタかどうか確認する。

ステータスバーのプリンタをプリンタ名で確認してください。もし希望のプリンタでない場合はツールバーの［プリンタの選択］ボタンをクリックするか［ファイル］メニューから［プリンタの選択］を選んで変更します。



チェック

プリンタの変更はプリンタが複数ある場合のみ可能です。

❷ 希望の設定項目のあるタブをクリックする。

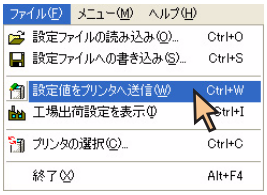
希望するプロパティシートを選択し、設定項目を表示させてください。

❸ プロパティシートで設定を変更する。

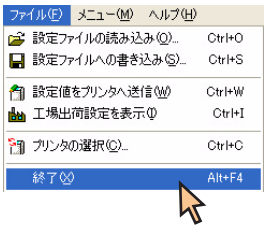
設定項目の詳細については、ユーザーズマニュアルまたはリモートパネルのヘルプをご覧ください。

❹ 変更した設定内容をプリンタに書き込む。

ツールバーの［設定値をプリンタへ送信］ボタンをクリックするか［ファイル］メニューから［設定値をプリンタへ送信］を選択します。



❺ ［ファイル］メニューから［終了］を選択し、リモートパネルを終了する。



これでリモートパネルの設定変更は終了です。

チェック

- リモートパネルは、対応機種のプリンタドライバがインストールされていない場合、起動できません。対応機種のプリンタドライバをインストールしてから、再度リモートパネルを起動してください。
- リモートパネルから設定値を送信する場合、接続先を確認し、正しい接続先になっていることを確認してから送信してください。また、コンピュータと送信先プリンタが正しく接続されていることを確認し、誤って他のプリンタに送信しないように注意してください。

5章 PrinterSignalStation

この章では、MultiImpact 750/560を例にあげて、PrinterSignalStationを正常に機能させるための注意事項、およびPrinterSignalStationが提供する各機能の設定方法を説明します。

また、説明はWindows XPの画面を使用していますが、Windows 2000またはWindows Server 2003でも同様です。

PrinterSignalStationの使用できる環境

PrinterSignalStationをインストールできる環境は、次のとおりです。それ以外ではご使用になれません。

- Windows 2000 日本語版
- Windows XP 日本語版
- Windows Server 2003 日本語版

PrinterSignalStationを正しく動作させるには、次のいずれかが必要となります。

- LANボード（PR-NP-06）*1
- LANアダプタ（PR-NP-07）*2
- プリンタケーブル（PC-CA205、PC-PRCA-01 *3）

*1 MultiImpact 750/850A、MultiImpact 750/560では、相当品を内蔵しています。
*2 LANアダプタ（PR-NP-07）はMultiImpact 750/210Aのみサポートしています。
*3 PC-PRCA-01はケーブル長が1.5mと短いためPC-CA205（ケーブル長 4m）をお勧めします。

チェック

- 上記以外のLANボード、プリンタ切替器、およびプリンタバッファ等を接続した場合、PrinterSignalStationは正しく動作しない場合があります。
- 本プリンタはUSBには対応しておりません。
- N1153-025/026/027には対応していません。

PrinterSignalStationに関する注意事項

ここでは、PrinterSignalStationを正常に機能させるための注意事項について説明します。

PrinterSignalStationを動作させる前に

PrinterSignalStationを動作させる前に、以下の項目を確認してください。

- PrinterSignalStationを正しく動作させるためには、プリンタのプロパティの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］をチェックし、プリンタとの双方向通信機能を有効にする必要があります。
- コンピュータ本体とプリンタの接続で、NEC指定以外のプリンタケーブルやプリンタインタフェース変換アダプタまたは、プリンタバッファ、プリンタ切替器、プリンタ共有器、プリンタセレクタなどを使用している環境では、PrinterSignalStationは、正しく動作しない場合があります。
- PrinterSignalStationは、ローカルプリンタに対してもネットワーク上の共有プリンタに対しても使用できます。ただし、ネットワーク上の共有プリンタで使用される場合、PrinterSignalStationソフトウェアおよびPrinterSignalStation対応のプリンタドライバが、サーバ、クライアントの両者にインストールされている必要があります。
- PrinterSignalStationは、プリンタプールをサポートしていません。プリンタのプロパティの［ポート］シートの［プリンタプールを有効にする］がチェックされている場合は、PrinterSignalStationはプリンタの状態を正しく表示できません。チェックを外してご使用ください。
- PrinterSignalStationとプリンタポートを直接アクセスしてプリンタの状態を監視するユーティリティを同時に使用すると、PrinterSignalStationが正しく動作しない場合があります。このような場合は、お使いのユーティリティに応じてプリンタの監視を行わないように設定してください。

PrinterSignalStationの制限事項

一部コンピュータのパラレルポートの設定（例：ECPポート）によっては、PrinterSignalStationの動作および、印刷に不具合が生じる場合があります。このような場合は、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照し、パラレルポートの設定を変更していただくことにより、PrinterSignalStationが正常に動作できるようになる場合があります。

転送データ量に応じて課金されるネットワーク環境についてのご注意

転送データ量に応じて課金される従量課金制のネットワークを経由してPrinterSignalStationを使用している場合に、PrinterSignalStationの双方向通信によってデータ転送が発生し、課金されることがあります。考慮すべきネットワーク環境の例として、以下のケースがあります。

- ネットワークプリンタが、公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
- プリントサーバ、DNSサーバ、WINSサーバが公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
- ローカルネットワークの通信自体が従量課金ネットワークの場合

これらを避けたい場合は、以下のように設定してください。

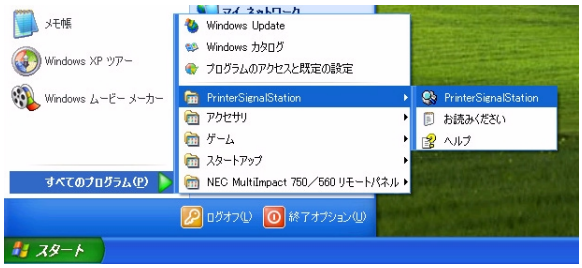
- プリンタのプロパティの［ポート］シートの［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、PrinterSignalStationの双方向通信機能を無効にしてください。
- PrinterSignalStationの［環境設定］ダイアログボックスを開き、［監視するプリンタの選択］シートにおいて、課金されるネットワークに接続しているプリンタのチェックをはずし、PrinterSignalStationの監視対象からはずしてください。

ソフトウェアの起動

PrinterSignalStationは、ローカルプリンタの印刷、管理に加え、ネットワークで印刷される方、ネットワークプリンタを管理する方のために、さまざまな機能を提供します。

また、PrinterSignalStationは一度起動するとタスクトレイに常駐するので、PrinterSignalStationを終了させない限り、再度起動させる必要はありません。

PrinterSignalStationはインストール後、自動的に起動します。再度、PrinterSignalStationを起動する場合は、［スタート］ボタンから起動します。



PrinterSignalStationフォルダ

タスクトレイアイコン

PrinterSignalStationは起動後、タスクトレイに常駐することにより、次のようなことが可能となります。

- タスクトレイからメニュー画面を容易に開くことができる
- プリンタドライバの［プロパティ］や［プリンタフォルダ］などを開くことができる
- リモートパネルを起動することができる*

* 別途、お使いのプリンタに対応したリモートパネルをインストールする必要があります。

PrinterSignalStationが提供するこれらの機能により、従来［スタート］ボタンから行っていた作業を容易に行えるようになります。また、プリンタの状態によってアイコンの表示が変化したり、バルーンのポップアップによってプリンタの状態通知をしますので、プリンタの状態監視がタスクトレイでも行えます。

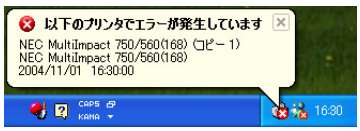
バルーンポップアップ

PrinterSignalStationは次のようなバルーンポップアップを使用してプリンタの状態を通知します。また、Windows XP以降のOSをお使いの場合は、ポップアップされた表示内容によって、バルーンをクリックすると［状態］ダイアログボックスを表示することができます（詳しくは120ページを参照してください）。

バルーンポップアップは次の情報を表示します。

- ［プリンタフォルダ］で設定したプリンタ名
- 印刷したファイル名（印刷終了時）
- プリンタの状態
- 日付／時刻

同時に複数のプリンタを監視している場合は、次のようなバルーンポップアップを使用してプリンタの状態を通知します。Windows XP以降のOSをお使いの場合はポップアップされた表示内容によって、バルーンをクリックすると［プリンタ一覧］ダイアログボックスを表示することができます（詳しくは120ページを参照してください）。



複数プリンタ監視時のバルーンポップアップ

また、プリンタの状態監視以外にも、次のような場合にバルーンを表示します。

- 監視中のプリンタが削除された
  以下のバルーンポップアップを表示します。

＜プリンタ名＞ プリンタが削除されたため、監視を中止しました ＜日付＞　＜時刻＞

プリンタ削除警告バルーン

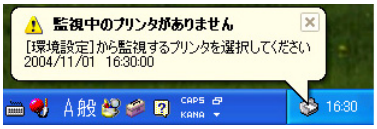
- 監視中プリンタの印刷ポートが変更され、監視不可能な印刷ポートになった
  以下のバルーンポップアップを表示します。

＜プリンタ名＞ 印刷ポートが変更されたため、監視を中止しました ＜日付＞　＜時刻＞

印刷ポート変更警告バルーン

- PrinterSignalStation起動時に、監視可能なプリンタドライバがインストールされているが、監視設定されていない
  以下のバルーンポップアップを表示します。Windows XP以降のOSをお使いの場合、バルーンをクリックすると、［環境設定］ダイアログボックスを表示することができます（詳しくは121ページを参照してください）。

監視中のプリンタがありません ［環境設定］から監視するプリンタを選択してください ＜日付＞　＜時刻＞



監視中のプリンタなし警告バルーン

チェック

バルーンポップアップが表示されている時間の設定は、［環境設定］-［通知の設定］で変更可能です（詳しくは122ページを参照してください）。複数プリンタを監視する場合は、プリンタエラー＞プリンタ警告＞プリンタ通常の優先度でバルーンポップアップを表示します。

メニューの起動

タスクトレイからアイコンをクリックすることによって、以下のメニューを表示させることができます。

左クリックで開くメニュー

PrinterSignalStationが監視しているプリンタの一覧を表示させたり、監視しているプリンタの［印刷設定］や［プロパティ］を開くためのメニューを表示することができます。

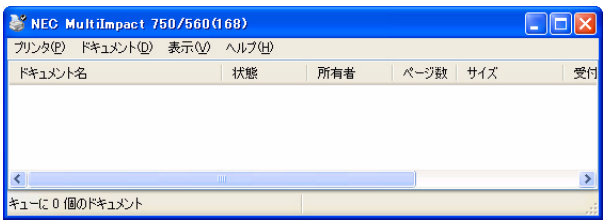
トレイアイコン（左クリック）

左クリックメニューを開くと以下のメニューを表示します。

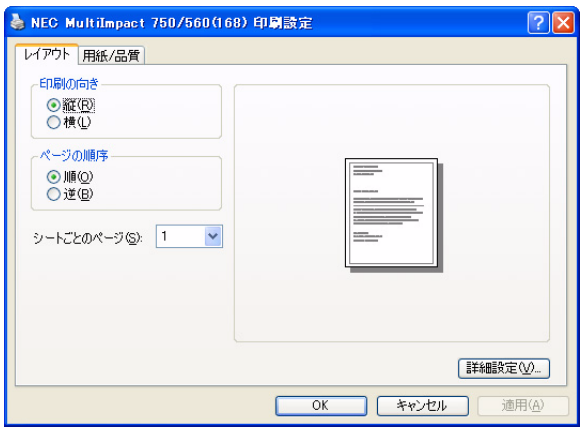
- ［プリンター覧］
  監視しているプリンタを一覧を表示する［プリンター覧］ダイアログボックスを開きます（詳しくは120ページを参照してください）。

- ［プリンタ名］
  - 状態
    クリックしたプリンタの詳細な状態を表示する［状態］ダイアログボックスを開きます（詳しくは120ページを参照してください）。

  - プリンタフォルダ
    クリックしたプリンタフォルダを開きます。



  - 印刷設定
    クリックしたプリンタの印刷設定を開きます。

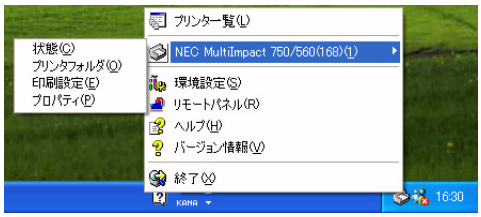


– プロパティ
クリックしたプリンタのプロパティを開きます。

- [ヘルプ]
PrinterSignalStationのヘルプを開きます（詳しくは125ページを参照してください）。

右クリックで開くメニュー

PrinterSignalStationの環境設定やリモートパネルの起動など、詳細な設定ができるメニューを表示することができます。また、PrinterSignalStationを終了させることができます。



トレイアイコン（右クリック）

右クリックメニューを開くと、以下のメニューを表示します。

- [プリンター覧]
[プリンター覧]ダイアログボックスを開いて、監視しているプリンタを一覧表示します（詳しくは120ページを参照してください）。

- [プリンタ名]
  – 状態（詳しくは120ページを参照してください）。
  – プリンタフォルダ
  – 印刷設定
  – プロパティ

- [環境設定] *
[環境設定]ダイアログボックスを開いて、プリンタの監視内容、通知内容を設定します（詳しくは121ページを参照してください）。

* 管理者権限がない場合は、設定できません。

- ［リモートパネル］
  ［リモートパネル］ダイアログボックスを開いて、リモートパネルを起動します（詳しくは125ページを参照してください）。

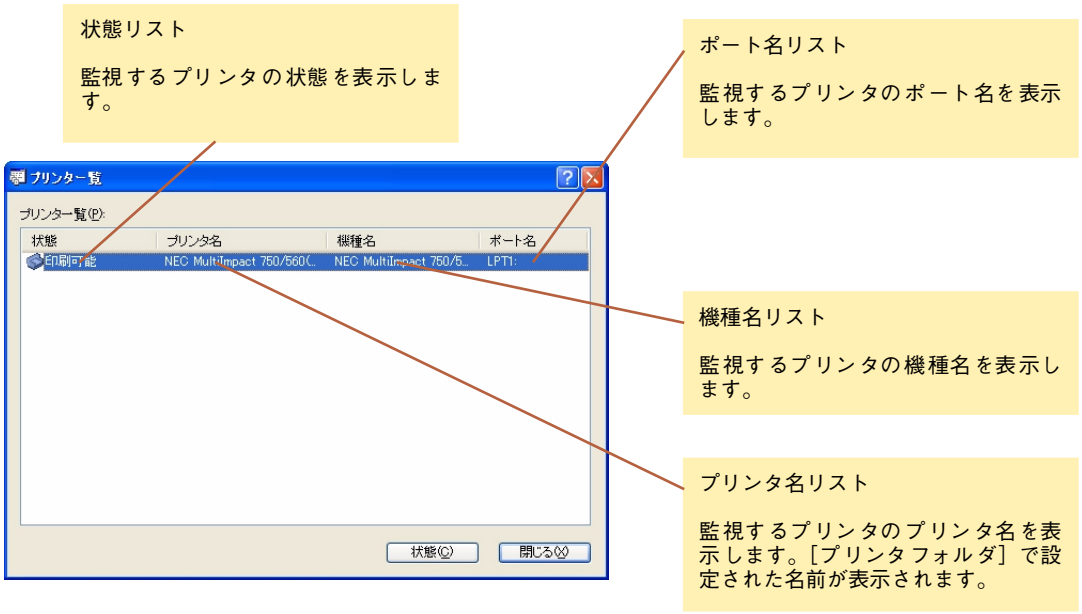
- ［ヘルプ］
  PrinterSignalStationのヘルプを開きます（詳しくは125ページを参照してください）。

- ［バージョン情報］
  ［バージョン情報］ダイアログボックスを開いて、PrinterSignalStationのバージョン情報を表示します。

- ［終了］
  PrinterSignalStationを終了します。

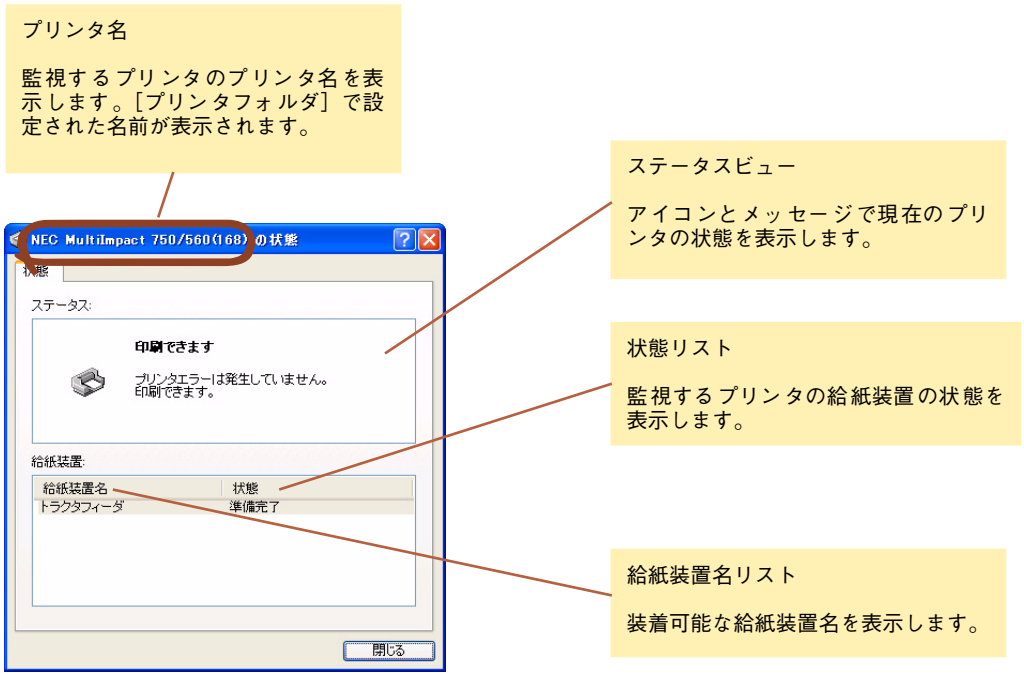
プリンター一覧

プリンター一覧ダイアログでは、次のような画面を使用して、監視しているプリンタを一覧表示することができます。



状態

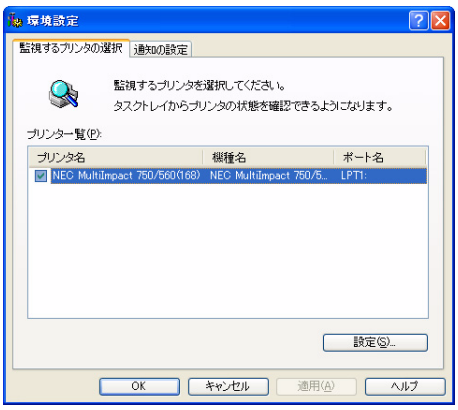
状態ダイアログでは、次のような画面を使用して、プリンタの状態をより詳細に参照することができます。



環境設定

環境設定ダイアログでは、監視するプリンタの選択やバルーンポップアップで表示する内容を設定することができます。管理者権限のない場合は、［環境設定］を表示できません。

［監視するプリンタの選択］タブ
次の画面でPrinterSignalStationで監視するプリンタを選択します。PrinterSignalStationでは、ここでチェックボックスにチェックを付けたプリンタを監視します。
また、チェックを付けたプリンタは、タスクトレイのメニューにプリンタ名が追加され、プリンタの［印刷設定］や［プロパティ］を開くことができるようになります（詳しくは118ページを参照してください）。監視するプリンタは同時に複数選択することができます。



監視するプリンタの選択

チェック

チェックを付けないとプリンター覧などに表示されません。プリンタドライバのポートは、LPTまたはStandard TCP/IP Portを選択してください。また、［双方向サポートを有効にする］にチェックが付いていることを確認してください。

監視するプリンタの選択タブで、［設定］ボタンをクリックすると、プリンター覧で選択されたプリンタの環境設定ができます。

プリンタの設定

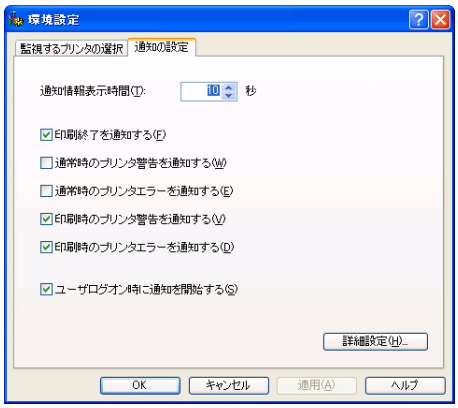
- 監視の設定
  プリンタドライバで設定されているポートの状態監視方法を設定します。
  - ［通常監視］
    プリンタのSelect、Busy、PE信号により、高速にプリンタを監視します。
  - ［高度監視］
    プリンタのSelect、Busy、PE信号に加え、双方向通信機能により、詳細なプリンタの監視を行います。ただし、プリンタの状態変化を検出するまで、数秒の時間がかかる場合があります。

> **チェック**
>
> プリンタによって高度監視ができない場合があります。高度監視は、LPTおよびStandard TCP/IP Port使用時のみ設定できます。設定を変更する場合は、管理者権限が必要となります。
> 高度監視を使用する場合は、PR-NP-06またはPR-NP-07の「Print Port Mode」をEnableに設定してください。
> PR-NP-06またはPR-NP-07の設定については、それぞれのオンラインマニュアルをご覧ください。

- Standard TCP/IP Portの設定
  プリンタの印刷ポートがStandard TCP/IP Portである場合のSNMPコミュニティ名を設定します。プリンタに装着されたLANアダプタ、LANボードに設定されているSNMPコミュニティ名を設定します。

> **チェック**
>
> 入力できる文字数は、0～32文字です。入力できる文字は、英数字、ハイフン（ - ）、アンダーバー（_）です。設定変更する場合は、管理者権限が必要となります。

［通知の設定］タブ
プリンタの状態を通知するバルーンポップアップの表示設定を行います。



通知の設定

- ［通知情報表示時間］
  バルーンポップアップの表示時間を示します。バルーンのポップアップは設定時間が経過すると自動的に閉じます。設定値は、1～60秒の間で設定することができます。初期設定では10秒に設定されています。

  プリンタの状態がチェックボックスの内容と一致した場合、チェックが付いているとバルーンポップアップ表示するようになります。チェックボックスの設定により、次ページの各タイミングでプリンタの状態をバルーンでポップアップ表示します。

ー 印刷終了を通知する
プリンタの印刷終了時に、次のようなバルーンをポップアップし、印刷終了を通知します。

印刷終了

ー 通常時のプリンタ警告を通知する
プリンタが印刷を行っていない時に、プリンタ警告が通知された場合、次のようなバルーンをポップアップし、プリンタ警告を通知します。

プリンタ警告

ー 通常時のプリンタエラーを通知する
プリンタが印刷を行っていない時に、プリンタエラーが通知された場合、次のようなバルーンをポップアップし、プリンタエラーを通知します。

プリンタエラー

ー 印刷時のプリンタ警告を通知する
プリンタが印刷中にプリンタ警告を通知された場合に、次のようなバルーンをポップアップし、プリンタ警告を通知します。

プリンタ警告（印刷中）

ー 印刷時のプリンタエラーを通知する
プリンタが印刷中にプリンタエラーを通知された場合に、次のようなバルーンをポップアップし、プリンタエラーを通知します。

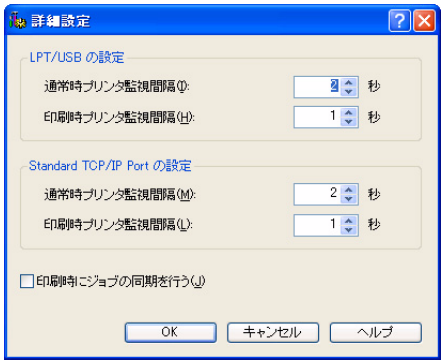
プリンタエラー（印刷中）

- ［ユーザログオン時に通知を開始する］
ユーザがWindowsにログオンすると、自動的にPrinterSignalStationを起動しプリンタの状態通知を開始します。PrinterSignalStationを手動で起動したい場合は、チェックボックスのチェックを外してください。チェックを外している場合は、Windowsにログオンしてから、［スタート］メニュー -［すべてのプログラム］-［PrinterSignalStation］の［PrinterSignalStation］をクリックしてください。

チェック

チェックボックスのチェックをすべて外すと、PrinterSignalStationを起動してもバルーンのポップアップはされません。サーバ／クライアントによる共有プリンタでご使用の場合は、クライアントの設定が有効となります。設定を変更する場合は、管理者権限が必要となります。

- ［詳細設定ボタン］
  PrinterSignalStationがプリンタの状態を監視する間隔を設定します。



詳細設定

– LPT/USBの設定（本プリンタはUSBには対応していません。）
［通常時プリンタ監視間隔］
プリンタドライバで設定されているポートがLPTで、印刷を行っていない場合のプリンタの状態監視間隔を設定します。プリンタの監視間隔は、1～5秒の間で設定できます。初期設定は2秒です。

［印刷時プリンタ監視間隔］
プリンタドライバで設定されているポートがLPTで、印刷中のプリンタの状態監視間隔を設定します。プリンタの監視間隔は、0.5、1～5秒の間で設定できます。初期設定は1秒です。

– Standard TCP/IP Portの設定
［通常時プリンタ監視間隔］
プリンタドライバで設定されているポートが、Standard TCP/IP Portで、印刷を行っていない場合のプリンタの状態監視間隔を設定します。プリンタの監視間隔は、1～5秒の間で設定できます。初期設定は2秒です。

［印刷時プリンタ監視間隔］
プリンタドライバで設定されているポートが、Standard TCP/IP Portで、印刷中のプリンタの状態監視間隔を設定します。プリンタの監視間隔は、0.5、1～5秒の間で設定できます。初期設定は1秒です。

チェック

サーバ／クライアントによる共有プリンタでご使用の場合は、サーバの設定が有効となります。設定を変更する場合は、管理者権限が必要となります。

– 印刷時にジョブの同期を行う
プリンタでの印刷動作が完全に終了してから、次の印刷を開始します。連続印刷の場合などでも、各ジョブの印刷動作が終了したことを確実に通知するようになります。

リモートパネル起動

インストールされているリモートパネルを表示します。また、リモートパネルを起動することができます。

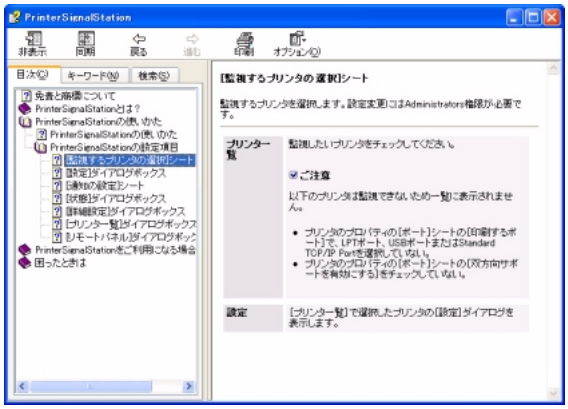
リモートパネル

チェック

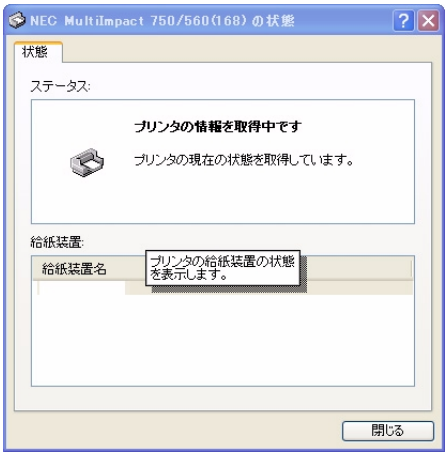
- リモートパネルがインストールされていない場合は何も表示されません。お使いのプリンタに対応したリモートパネルをインストールしてから開きなおしてください。
- リモートパネルを異なるプリンタに対して使用すると、プリンタの設定が正しく行われず、正しく印刷できなくなる場合があります。

ヘルプを見る

PrinterSignalStationのヘルプを見るためには、タスクトレイのアイコンを右クリックし、メニューから［ヘルプ］を開くか、［？］ボタンをクリックし、そのままポインタを移動させウィンドウ内の各部分をクリックしてください。



メニューから開くヘルプ



［?］ボタンから表示するヘルプ

トレイアイコン

PrinterSignalStationでは、タスクトレイに次の3種類のアイコンを使用してプリンタの状態を表示します。

プリンタ通常…プリンタの状態に問題がなく、印刷可能な状態

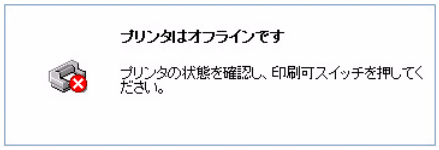
プリンタ警告…プリンタの状態に問題があり、印刷できないが容易に回避可能な状態

プリンタエラー…プリンタの状態に問題があり、印刷できない状態

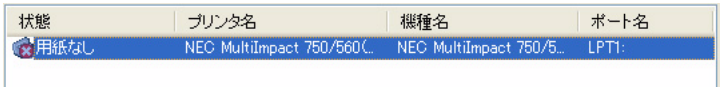
ステータス

タスクトレイと同様のアイコンを使用してプリンタの状態を表示し、文字によるメッセージを付随します。

－ ［状態］



－ ［プリンタの一覧］



PrinterSignalStationが正しく動作しないときは

次の表にPrinterSignalStationが正しく動作しないときの症状とその原因、対処方法を示します。それぞれの方法に従って対処してください。

インストール／起動	
症状	**原因と対処方法**
PrinterSignalStationがインストールできない	**PrinterSignalStationが対応していないOSにはできません。** → PrinterSignalStationのサポートOSは、Windows XP、Windows 2000、およびWindows Server 2003です。ご使用になっているOSをご確認ください。
	インストール先のハードディスクの空き容量がありません。 → PrinterSignalStationは約2MBの容量を使用します。2MB以上の空き容量があるハードディスクにインストールしてください。
PrinterSignalStationが起動しない	**PrinterSignalStationが正しくインストールされていません。** → PrinterSignalStationが正しくインストールされていない可能性があります。いったんアンインストールし、再度インストールしてください。
PrinterSignalStationが自動起動してしまう／自動起動されない	**PrinterSignalStationが自動起動する、または、自動起動しないに設定されています。** → ［環境設定］ダイアログボックスの［通知の設定］シートで、［ユーザログオン時に通知を開始する］の設定をご確認ください。 → チェックされていない場合は、OSにログオンしても起動されません。
起動時に「PrinterSignalServiceが開始されません」と表示され、終了してしまう	**PrinterSignalStationのサービスが正しく起動していません。** → ① コンピュータを再起動し、PrinterSignalStationが正しく起動するかどうかをご確認ください。 ② PrinterSignalStationを、いったんアンインストールし、再度インストールして正しく起動するかどうかをご確認ください。
設定	
症状	**原因と対処方法**
［環境設定］ダイアログボックスが表示できない	**環境設定を行うためのアクセス権がありません。** → ［環境設定］ダイアログボックスにより、PrinterSignalStationの動作設定を変更するためには、「コンピュータの管理者」および「Administrators」といった管理者権限が必要です。管理者権限で環境設定を行うか、システム管理者に連絡してください。
使用したいプリンタが［監視するプリンタの選択］リストに表示されない	**PrinterSignalStationに対応したプリンタドライバがインストールされていません。** → PrinterSignalStationをご使用になる場合は、PrinterSignalStationに対応したプリンタドライバが必要です。PrinterSignalStation対応のMultiImpact 750シリーズに添付されているプリンタソフトウェアCD-ROMから、PrinterSignalStation対応のプリンタドライバをインストールしてご使用ください。 → ネットワーク共有プリンタでPrinterSignalStationをご使用になる場合は、クライアントPC側にもPrinterSignalStation対応のプリンタドライバをインストールする必要があります。PrinterSignalStation対応のプリンタドライバを「LPT1:」や「FILE:」の接続先でインストールし、その後で接続先をネットワーク共有プリンタに変更してください。
	インストールされているプリンタドライバの双方向通信の設定が有効になっていません。 → インストールされているプリンタドライバのプロパティの［ポート］シートの［双方向サポートを有効にする］をチェックしてください。
	ご使用になるプリンタドライバが、PrinterSignalStationでサポートしているポートに接続されていません。 → PrinterSignalStationでは、「LPTx:」あるいはStandard TCP/IP Portをサポートしています。ご使用になるプリンタの接続先をご確認ください。
高度監視設定で動作しない	**PR-NP-06またはPR-NP-07で「Print Port Mode」設定がDisableになっています。** → 高度監視設定で動作させるには、PR-NP-06またはPR-NP-07の「Print Port Mode」をEnableに設定してください。PR-NP-06またはPR-NP-07の設定については、それぞれのマニュアルをご覧ください。
	高度監視設定を行うために必要なコンポーネントがインストールされていません。 → 高度監視を行う場合は、ご使用になるプリンタ用のコンポーネントが必要です。コンポーネントのインストールについては、ソフトウェアマニュアルをご覧ください。

設定	
症状	**原因と対処方法**
［双方向サポートを有効にする］がチェックできない。または「グレー」で表示されている	**PrinterSignalStationに対応したプリンタドライバがインストールされていません。** → PrinterSignalStationをご使用になる場合は、PrinterSignalStationに対応したプリンタドライバが必要です。PrinterSignalStation対応のMultiImpact 750シリーズに添付されているプリンタソフトウェアCD-ROMから、PrinterSignalStation対応のプリンタドライバをインストールしてご使用ください。
	プリンタドライバの設定を変更するためのアクセス権がありません。 → プリンタドライバの［双方向サポートを有効にする］の設定を変更する場合は、「コンピュータの管理者」および「Administrators」といった管理者権限が必要となります。管理者権限で環境設定を行うか、システム管理者に連絡してください。
TerminalServiceでの運用で、ユーザーの権限にかぎらず、［環境設定］が変更できてしまう	**TerminalServiceの設定で「Terminal Server 4.0のUsersと互換性のあるアクセス許可」が設定されています。** → Terminal Serviceの動作設定として、「Terminal Server 4.0のUsersと互換性のあるアクセス許可」が設定されている場合、OSの仕様により、Terminal Serviceすべてのユーザに対して［環境設定］の変更が許可されます。システム管理者以外のユーザが環境設定を設定変更できないようにするには、「Terminal Server 4.0のUsersと互換性のあるアクセス許可」を設定しないでください。
プリンタ監視	
症状	**原因と対処方法**
［プリンター覧］ダイアログにプリンタが表示されない	**プリンタが監視対象として設定されていません。** → ［環境設定］-［監視するプリンタの選択］で、ご使用になるプリンタを監視対象に設定してください。
プリンタエラーあるいは印刷完了が通知されない	**［環境設定］-［通知の設定］の各チェックボックスが正しく設定されていません。** → PrinterSignalStationは、この設定に応じてプリンタステータスの通知を行います。ご覧になりたい内容に従って各項目を設定してください。
	ご使用になっているプリンタとプリンタドライバの機種名が一致していません。 → PrinterSignalStationは、接続されているプリンタがサポート外のプリンタであることを認識すると、プリンタのステータス通知内容を「通常監視」と同等の内容に変更します。ご使用になるプリンタに対応したPrinterSignalStation対応のプリンタドライバをご使用ください。
	［環境設定］-［監視するプリンタの選択］で、ご使用になっているプリンタの設定が「通常監視」に設定されています。 → 設定が「通常監視」の場合、通知内容は「高度監視」よりも簡易的な内容となります。高度監視と通常監視の違いについては、130～132ページをご覧ください。
	「タスクバーと［スタート］メニューのプロパティ」の［タスクバー］シートの［カスタマイズ］でPrinterSignalStationの動作が「常に非表示」に設定されています（Windows XP以降）。 → 設定が「常に非表示」の場合は、バルーン表示による通知は行われません。「アクティブでないときに非表示」または「常に表示」に設定してください。
状態ダイアログボックスの「給紙装置」がグレーのまま表示されない	**［環境設定］-［監視するプリンタの選択］で、ご使用になっているプリンタの設定が「通常監視」に設定されています。** → 設定が「通常監視」の場合、「給紙装置」は表示されません。高度監視と通常監視の違いについては、130～132ページをご覧ください。
状態ダイアログボックスの「給紙装置」が「不明」と表示される	**プリンタの電源が入っていません。** → 接続されているプリンタの電源が入っていない場合、PrinterSignalStationは、給紙装置をすべて「不明」と表示します。プリンタの電源を入れてください。
	ご使用になっているプリンタとプリンタドライバの機種名が一致していません。 → PrinterSignalStationは、接続されているプリンタがサポート外のプリンタであることを認識すると、給紙装置をすべて「不明」と表示します。プリンタに対応したプリンタドライバをご使用ください。
	PR-NP-06またはPR-NP-07で「Print Port Mode」設定がDisableになっています。 → 高度監視設定で動作させるには、PR-NP-06またはPR-NP-07の「Print Port Mode」をEnableに設定してください。PR-NP-06またはPR-NP-07の設定については、それぞれのマニュアルをご覧ください。
「ネットワークエラー」が表示されたままになる	**ネットワーク共有プリンタをご使用の場合、プリンタの電源が入っていないか、ネットワークケーブルが正しく接続されていません。** → プリンタの電源を入れてください。 → ネットワークケーブルを正しく接続してください。

プリンタ監視	
症状	**原因と対処方法**
「ネットワークエラー」が表示されたままになる（続き）	**ネットワークの設定が正しく行われていません。** → PrinterSignalStationは、SNMPプロトコルを使用してプリンタの監視を行います。ネットワークエラーが発生しているプリンタに印刷を行って、印刷が正しく行えない場合は、Standard TCP/IP Portの設定およびOSのTCP/IPの設定を正しく行ってください。 → PrinterSignalStationを再起動してください。 → コンピュータを再起動してください。
「電源OFF／ケーブル断」が表示されたままになる	**ご使用になっているプリンタの電源が入っていません。** → プリンタの電源を入れてご使用ください。
	ご使用になっているコンピュータとプリンタが正しく接続されていません。 → プリンタケーブル、ネットワークケーブルを正しく接続してください。
	Standard TCP/IP Portで接続している場合は、［環境設定］-［監視するプリンタの選択］の「コミュニティ名」の設定と、ご使用になっているLANボードの設定が一致していません。 → PrinterSignalStationは、SNMPプロトコルを使用してプリンタの監視を行います。SNMPプロトコルによって、正しくネットワーク通信を行うためには、PrinterSignalStationに設定されているコミュニティ名と、ご使用になっているLANボードのコミュニティ名に同じ文字列を設定してください。
「情報取得中」が表示されたままとなる	**ご使用になっているプリンタに正しく印刷できることをご確認ください。** → ご使用になっているプリンタに正しく印刷できる場合は、印刷が完了したことを確認した後、PrinterSignalStationを再起動してください。印刷できない場合は、PCとプリンタの接続が正しく行われていることをご確認ください。
	PR-NP-06またはPR-NP-07で「Print Port Mode」設定がDisableになっています。 → 高度監視設定で動作させるには、PR-NP-06またはPR-NP-07の「Print Port Mode」をEnableに設定してください。PR-NP-06またはPR-NP-07の設定については、それぞれのマニュアルをご覧ください。
印刷完了の通知が「遅い」または「早い」	**［環境設定］-［通知の設定］の［詳細設定］の設定をご確認ください。** → ＜プリンタが印刷完了したことを確認したい場合＞ ［印刷時にジョブの同期を行う］をチェックしてください。この設定により、PrinterSignalStationはプリンタが印刷を終了したことを確認してから印刷完了を通知するようになります。 → ＜プリンタの印刷完了確認が遅い場合＞ ［印刷時にジョブの同期を行う］がチェックされていて、印刷完了の通知が遅い場合は、ご使用になるポートの［印刷時プリンタ監視間隔］を変更してください。プリンタの監視間隔 を短く設定することで、印刷完了の通知をより速く行えるようになります。 → ＜プリンタの印刷完了確認が不要の場合＞ プリンタの印刷完了を確認する必要がない場合は、［印刷時にジョブの同期を行う］のチェックを外してください。この設定により、PrinterSignalStationは、プリンタに対して印刷データを送信終わったことを確認した時点で印刷完了を通知するようになります。
	プリンタドライバの［印刷設定］-［詳細設定］の［印刷同期］の設定をご確認ください。 → ＜プリンタが印刷完了したことを確認したい場合＞ 印刷同期設定を「あり」に設定してください。 → ＜プリンタが印刷完了確認が不要な場合＞ 印刷同期設定を「なし」に設定してください。
	Standard TCP/IP Portで接続している場合、プリンタのポート設定「標準TCP/IPポートモニタの構成」で、［SNMPステータスを有効にする］が有効になっています。 → プリンタドライバのプロパティまたはサーバーのプロパティの［ポート］シート-［ポートの構成］の［SNMPステータスを有効にする］のチェックを外してください。
印刷結果が不正になる	**ご使用になっているプリンタとプリンタドライバの機種名が一致していません。** → PrinterSignalStationに対応していないプリンタを「高度監視」設定で監視した場合、印刷結果が不正になる場合があります。その場合、［環境設定］-［監視するプリンタの選択］でご使用になっているプリンタの監視設定を「通常監視」に変更してください。
その他機能	
症状	**原因と対処方法**
リモートパネルが起動できない	**PrinterSignalStationに対応したプリンタのリモートパネルがインストールされていません。** → PrinterSignalStationに対応したプリンタのリモートパネルをインストールしてください。
	リモートパネルに対応したプリンタドライバがインストールされていません。 → リモートパネルに対応したプリンタドライバをインストールしてください。

- アイコン一覧

  以下は、プリンタの状態通知のアイコンです。

プリンタの状態	アイコン
印刷可能	プリンタ通常
ドキュメント準備中	プリンタ通常
印刷中	プリンタ通常
ドキュメント削除中	プリンタ通常
ドキュメント削除終了	プリンタ通常
印刷終了	プリンタ通常
ドキュメント一時停止	プリンタ警告
プリンター時停止	プリンタ警告
オフライン	プリンタエラー
他ポート使用中*1	プリンタ警告
カバーオープン*2	プリンタエラー
用紙なし	プリンタエラー
用紙サイズエラー*1	プリンタエラー
紙づまり*2	プリンタエラー
リボンジャム*2	プリンタエラー
プリンタ装置エラー*2	プリンタエラー
電源OFF/ケーブル断	プリンタエラー
ネットワークエラー	プリンタエラー
情報取得エラー	プリンタエラー
情報取得中	プリンタ通常

*1 MultiImpact 750 シリーズではサポートしていません。

*2 高度監視時のみ表示されます。

チェック

複数のプリンタを監視している場合は、プリンタエラー＞プリンタ警告＞プリンタ通常の優先度でアイコンを表示します。

- バルーンポップアップ一覧

  以下は、バルーンポップアップの状態通知一覧です。

プリンタの状態	表示内容
印刷可能	バルーンPopupなし
ドキュメント準備中	バルーンPopupなし
印刷中	バルーンPopupなし
ドキュメント削除中	バルーンPopupなし
印刷終了	<プリンタ名> 印刷が終了しました（<ドキュメント名>） <日付><時刻>
ドキュメント一時停止	<プリンタ名> ドキュメントの印刷を一時停止中です（<ドキュメント名>） <日付><時刻>
プリンター時停止	<プリンタ名> プリンタは一時停止中です <日付><時刻>
オフライン	<プリンタ名> プリンタはオフラインです <日付><時刻>
他ポート使用中*1	<プリンタ名> 印刷ポートと異なるポートで処理しています <日付><時刻>
カバーオープン*2	<プリンタ名> カバーが開いています <日付><時刻>
用紙なし	<プリンタ名> 用紙がありません <日付><時刻>
用紙サイズエラー*1	<プリンタ名> 正しい用紙サイズで印刷できませんでした <日付><時刻>
紙づまり*2	<プリンタ名> 紙づまりです <日付><時刻>
リボンジャム*2	<プリンタ名> インクリボンがつまっています <日付><時刻>
プリンタ装置エラー*2	<プリンタ名> プリンタで障害が発生しています <日付><時刻>
電源OFF/ケーブル断	<プリンタ名> 電源がOFFかケーブルが接続されていません <日付><時刻>
ネットワークエラー	<プリンタ名> ネットワークエラーが発生しています <日付><時刻>
情報取得エラー	<プリンタ名> プリンタの情報が取得できません <日付><時刻>
情報取得中	バルーンPopupなし

*1 MultiImpact 750 シリーズではサポートしていません。

*2 高度監視時のみ表示されます。

チェック

複数のプリンタを監視している場合は、プリンタエラー>プリンタ警告>プリンタ通常の優先度でアイコンを表示します。

- ステータス一覧

  以下はプリンタの状態通知の文字の一覧です。［状態］ダイアログでは、アイコンと下記の文字を合わせてプリンタの状態を表示します。

プリンタの状態	表示内容
印刷可能	印刷できます。 プリンタエラーは発生していません。印刷できます。
ドキュメント準備中	印刷ドキュメント準備中です。 プリンタに印刷ドキュメントを送信する準備をしています。（スプール中）
印刷中	印刷しています。 印刷ドキュメントをプリンタへ送信し、印刷しています。
ドキュメント削除中	印刷ドキュメントを削除中です。 プリンタに送信中の印刷ドキュメントを削除しています。
情報取得中	プリンタの情報を取得中です。 プリンタの現在の情報を取得しています。
ドキュメント一時停止	ドキュメントの印刷を一時停止中です。 プリンタフォルダでドキュメントの一時停止を解除してください。プリンタのアクセス権がない場合はシステム管理者に連絡してください。
プリンター時停止	プリンタは一時停止中です。 プリンタフォルダでプリンタの一時停止を解除してください。プリンタのアクセス権がない場合はシステム管理者に連絡してください。
他ポート使用中*1	印刷ポートと異なるポートで処理しています。 印刷ポートと異なるポートで印刷中かもしれません。しばらくお待ちください。
オフライン	プリンタはオフラインです。 プリンタの状態を確認し、［印刷可］スイッチを押してください。
カバーオープン*2	カバーが開いています。 カバーをきちんと閉じてください。
用紙なし	用紙がありません。 用紙をセットしてください。
用紙サイズエラー*1	正しい用紙サイズで印刷できませんでした。 指定された用紙がセットされているか確認してください。
紙づまり*2	紙づまりです。 つまった用紙を取り除いてからカバーを閉じてください。
リボンジャム*2	インクリボンがつまっています。 つまったインクリボンを取り除いてから新しいインクリボンをセットし、カバーを閉じてください。
プリンタ装置エラー*2	プリンタで障害が発生しています。 プリンタの電源を入れ直してください。
電源OFF/ケーブル断	電源がOFFかケーブルが接続されていません。 プリンタの電源とケーブル接続を確認してください。
ネットワークエラー	ネットワークエラーが発生しています。 ネットワークの接続を確認してください。
情報取得エラー	プリンタの情報が取得できません。 このプリンタに対応していないプリンタドライバを使用して印刷中かもしれません。しばらくお待ちください。

*1 本プリンタではサポートしていません。

*2 高度監視時のみ表示されます。

チェック

複数のプリンタを監視している場合は、プリンタエラー＞プリンタ警告＞プリンタ通常の優先度でアイコンを表示します。

付録
技術情報

ここでは、本プリンタの初期状態、文字コード、その他の技術情報について説明します。

初期状態

電源をONにしたとき、ソフトウェアリセットしたとき、およびインタフェース信号$\overline{\text{INPUT PRIME}}$を受信したときの初期状態を次に示します。INPUT PRIMEでは＜　＞内の項目だけは初期状態になりません。

項目	初期状態	備考
＜用紙長＞	66行（279.4mm（11インチ））*または設定値	パラメータ設定による
＜ボトム領域＞	なし	
＜垂直タブセット位置＞	チャンネル2：第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61行目	
	チャンネル3～6：なし	
用紙行位置	現在行をT.O.F位置とする	
レフトマージン幅	000	
ライトマージン幅	136*	
水平タブセット位置	なし	
行メモリ	クリア	
行メモリアドレス	最左端相当位置	
改行幅	4.23mm（1/6インチ）	
キャラクタモード	カタカナモード（8ビットコード）*または英数モード（7ビットコード）	メモリスイッチ2-6による
グラフィックモード	ネイティブモードまたはコピーモード	メモリスイッチ2-3による
印刷モード	HDバイカ*	
＜セレクト／ディセレクト＞	セレクト	ただしPE信号がHIGHのときはディセレクトになる
改行方向	順方向改行	
拡大印刷	解除	
強調印刷	解除	
ラインの指定	アンダライン	
ラインの太さの指定	細線	
ライン印刷モード	解除	
外字登録	登録エリアすべてにわたり未登録状態	
ダウンロード文字登録	プリンタ内蔵文字印刷モード、登録エリアはすべて未登録状態	
半角縦印刷	解除	
半角組文字縦印刷	解除	
漢字文字幅	3.81mm（3/20インチ）	
漢字文字サイズ	3.7mm（10.5ポイント）	
スクリプト文字	解除	
1バイト系文字フォント	標準*、イタリック、クーリエ、ゴシック、OCR-B	パラメータ設定による
固定ドットスペース	解除	
倍率設定	解除	
縮小組文字縦印刷	解除	
文字修飾	解除	

*　工場設定

制御コード表

以下の制御コード表の詳細については、別売の「日本語シリアルプリンタ言語201PLリファレンスマニュアル」をご覧ください。

基本制御コード表

分類	コード	16進数	機能概要	機能の有無
印刷	CR	0D	印刷し復帰	○
改行	LF	0A	1行改行	○
水平タブの実行	HT	09	水平タブ位置へ移動	○
垂直タブの実行	VT	0B	垂直タブ位置へ移動	○
改ページ	FF	0C	改ページ	○
倍角文字コード および キャラクタモード	SO	0E	倍角文字モード設定（8ビットコード）	○
			カタカナモード設定（7ビットコード）	○
	SI	0F	倍角文字モード解除（8ビットコード）	○
			英数モード設定（7ビットコード）	○
	DC2	12	無効（8ビットコード）	○
			倍角文字モード設定（7ビットコード）	○
	DC4	14	無効（8ビットコード）	○
			倍角文字モード解除（7ビットコード）	○
キャンセル	CAN	18	バッファの印刷データをキャンセル	○
セレクト／ディセレクト	DC1	11	セレクト状態にする	○
	DC3	13	ディセレクト状態にする	○
VFUの設定	GS	1D	VFUの設定開始	○
	RS	1E	VFUの設定終了	○
n行改行	US	1F	0～72行改行	○
VFUの実行			VFUの実行	○
外字の登録終了	EOT	04	外字の登録終了	○
同期*	EM	19	同期動作	○

チェック

コンピュータからのデータ転送後、液晶ディスプレイに“データガノコッテイマス”を表示するアプリケーションソフトウェアを使用している場合は、メモリスイッチ4-4を“ON”にして使用してください（「メモリスイッチ設定モード」（39ページ）参照）。

＊マークの付いているコードは新しく追加されたコードです。詳しくは「新制御コード」（139ページ）をご覧ください。

拡張制御コード表

○：有、×：無

分類	コード	16進数	機能概要	機能の有無
印刷モード	ESC N	1B 4E	HSパイカモード設定*1	×
	ESC H	1B 48	HDパイカモード設定	○
	ESC Q	1B 51	コンデンスモード設定	
	ESC E	1B 45	エリートモード設定	
	ESC P	1B 50	プロポーショナルモード設定	
	ESC K	1B 4B	漢字（横印刷）モード設定	
	ESC t	1B 74	漢字（縦印刷）モード設定	
HSパイカモード	ESC n 0	1B 6E 30	NHSパイカモード設定*1	×
	ESC n 1	1B 6E 31	SHSパイカモード設定	
キャラクタモード	ESC $	1B 24	カタカナモード設定（8ビットコード）	○
			英数モード設定（7ビットコード）	
	ESC &	1B 26	ひらがなモード設定（8ビットコード）	
			ひらがなモード設定（7ビットコード）	
	ESC #	1B 23	無効（8ビットコード）	
			CGグラフィックモード設定（7ビットコード）	
スクリプト文字モード	ESC s 1	1B 73 31	スーパスクリプト文字モード設定	○
	ESC s 2	1B 73 32	サブスクリプト文字モード設定	
	ESC s 0	1B 73 30	スクリプト文字モード解除	
外字*2	ESC +	1B 2B	外字（24 x 24ドット）の登録	○
	ESC *	1B 2A	外字（16 x 16ドット）の登録	○
ダウンロード文字*3	ESC ℓ	1B 6C	ダウンロード文字の登録	○
	ESC ℓ+	1B 6C 2B	ダウンロード文字印刷	○
	ESC ℓ-	1B 6C 2D	プリンタ内蔵文字印刷	○
	ESC ℓ0	1B 6C 30	ダウンロード文字クリア	○
文字の拡大	ESC e	1B 65	縦横拡大率指定	○
キャラクタリピート	ESC R	1B 52	キャラクタリピート	○
強調印刷モード	ESC !	1B 21	強調印刷モード設定	○
	ESC "	1B 22	強調印刷モード解除	
アンダライン／オーバライン	ESC X	1B 58	ライン印刷モード設定	○
	ESC Y	1B 59	ライン印刷モード解除	○
	ESC _	1B 5F	ラインの指定	○
	FS 0 4 L	1C 30 34 4C	ラインの太さの指定	○
ドラフトモード	ESC d 0	1B 64 30	ドラフト（高速印刷）モード設定	○
	ESC d 1	1B 64 31	ドラフト（高速印刷）モード解除	
ドットスペース	ESC $[00]_H$	1B 00	0ドットスペース	○
	ESC $[01]_H$	1B 01	1ドットスペース	
	ESC $[02]_H$	1B 02	2ドットスペース	
	ESC $[03]_H$	1B 03	3ドットスペース	
	ESC $[04]_H$	1B 04	4ドットスペース	
	ESC $[05]_H$	1B 05	5ドットスペース	
	ESC $[06]_H$	1B 06	6ドットスペース	
	ESC $[07]_H$	1B 07	7ドットスペース	
	ESC $[08]_H$	1B 08	8ドットスペース	
	FS w	1C 77	固定ドットスペース	

分類	コード	16進数	機能概要	機能の有無
ドット列印刷モード	ESC S	1B 53	8ビットドット列対応グラフィック印刷モード	○
	ESC I	1B 49	16ビットドット列対応グラフィック印刷モード	
	ESC J	1B 4A	24ビットドット列対応グラフィック印刷モード	
	ESC V	1B 56	8ビットドット列リピートモード	
	ESC W	1B 57	16ビットドット列リピートモード	
	ESC U	1B 55	24ビットドット列リピートモード	
	ESC F	1B 46	ドットアドレッシング	
ドット対応グラフィックドット数	ESC D	1B 44	コピーモード設定	○
	ESC M	1B 4D	ネイティブモード設定	
印刷方向	ESC >	1B 3E	片方向印刷モード設定	×
	ESC]	1B 5D	両方向印刷モード設定	
水平タブ	ESC (	1B 28	水平タブセット	○
	ESC)	1B 29	水平タブ部分クリア	
	ESC 2	1B 32	水平タブオールクリア	
簡易VFU	ESC v	1B 76	VFUのセット	○
マージン	ESC L	1B 4C	レフトマージン設定	○
	ESC /	1B 2F	ライトマージン設定	
漢字半角文字の縦印刷モード	ESC h 1	1B 68 31	漢字半角文字の縦印刷モード設定	○
	ESC h 0	1B 68 30	漢字半角文字の縦印刷モード解除	
	ESC q	1B 71	漢字半角の組文字縦印刷モード設定	
倍率設定と縮小文字の組文字印刷モード	FS m	1C 6D	倍率設定*4	○
	FS P	1C 50	縮小文字の組文字印刷モード設定	
漢字文字幅と漢字文字サイズ	FS A	1C 41	漢字文字幅3.81mm（3/20 インチ）、漢字文字サイズ3.81mm（10.8ポイント）相当	○
	FS B	1C 42	漢字文字幅5.08mm(1/5インチ)、漢字文字サイズ3.81mm（10.8ポイント）相当	
	FS C	1C 43	漢字文字幅4.23mm(1/6インチ)、漢字文字サイズ3.35mm（9.5ポイント）相当	
	FS D	1C 44	漢字文字幅3.38mm（2/15 インチ）、漢字文字サイズ3.35mm（9.5ポイント）相当	
	FS F	1C 46	漢字文字幅2.54mm（1/10 インチ）、漢字文字サイズ2.47mm（7ポイント）相当	
	FS G	1C 47	漢字文字幅4.23mm(1/6インチ)、漢字文字サイズ4.23mm（12ポイント）相当	
漢字文字幅	FS p	1C 70	漢字文字幅の切り替え	○
漢字文字サイズ	FS 0 4 S	1C 30 34 53	漢字文字サイズの切り替え	○
改行幅	ESC A	1B 41	4.23mm（1/6インチ）改行モード設定	○
	ESC B	1B 42	3.18mm（1/8インチ）改行モード設定	
	ESC T	1B 54	25.4n/120mm（n/120インチ）改行モード設定	
改行方向	ESC f	1B 66	順方向改行モード設定	○
	ESC r	1B 72	逆方向改行モード設定	
シートフィーダ制御	ESC a	1B 61	排出後吸入（シートフィーダ装着時）	×
	ESC b	1B 62	排出（シートフィーダ装着時）	
	FS f	1C 66	ホッパの切り替え	
ANK文字フォントと漢字フォント	ESC O	1B 4F	ANK文字フォントの切り替え	○
	FS 0 6 F	1C 30 36 46	漢字フォントの選択	○
カラー	ESC C	1B 43	カラーの切り替え	×
文字修飾	FS c	1C 63	文字修飾の設定または解除	○
漢字コード表の選択*5	FS 05 F	1C 30 35 46	漢字コード表の設定	○
縮小設定*5	FS 0 5 f	1C 30 35 66	縮小印刷モードの設定	×
書体選択*5	FS 0 6 F	1C 30 36 46	漢字フォントの選択	○
ソフトウェアリセット	ESC c 1	1B 63 31	初期状態にリセット	○

分類	コード	16進数	機能概要	機能の有無
パラメータリセット*5	ESC c 8	1B 63 38	各種パラメータのリセット	○
バーコード印刷*5	FS '	1C 60	バーコードの印刷	○

*1 HS パイカモードまたは NHS パイカモードを設定した場合、HD パイカモードで印刷されます。

*2 外字の最大登録数は 256 文字です。

*3 ダウンロード文字の最大登録数は 128 文字です。

*4 設定できる倍率は縦横とも 1/2 倍、1～4 倍、6 倍、および 8 倍です。

*5 新しく追加されたコードです。詳しくは「新制御コード」（139 ページ）をご覧ください。

バーコード、拡大／縮小、ダウンロード文字、外字の制御コードはWindows環境では使用できません。

新制御コード

201PLリファレンス記載の制御コードに対して、本プリンタに新しく加わる制御コードについて説明します。

FS 06F　書体選択

	FS	0	6	F	n_1	-	n_{21}	n_{22}	n_{23}
16進	1C	30	36	46	n_1	2D	n_{21}	n_{22}	n_{23}
10進	28	48	54	70	n_1	45	n_{21}	n_{22}	n_{23}

使用する漢字フォントを直接指定します。

n_1 は、1桁の10進数で“2”を指定します。
n_{21} と n_{22} と n_{23} の組み合わせは次の中から選択します。

0 0 0 …明朝体
2 0 0 …ゴシック体

ESC c8　パラメータリセット

	ESC	c	8
16進	1B	63	38
10進	27	99	56

各種パラメータをリセットします。

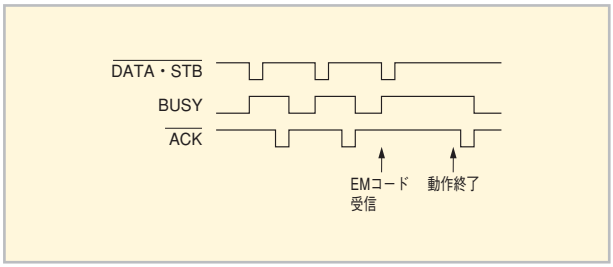
リセットされる内容については、「初期状態」（134ページ）をご覧ください。

EM　同期コード

	EM
16進	19
10進	25

同期動作を行います。

- 同期コードは印刷開始コードの直後に入れてください。
- 同期コードを受信すると、受信バッファが空になり、印刷および改行などの機械的動作が終了するまで次のデータを受け付けません。
- 同期データ受信後、すべての動作終了までBUSY信号をHIGHに保ちます。すべての動作終了後、BUSY信号をLOWにしてACK信号を出力します。
- 動作例：印刷＋印刷開始コード＋同期コード



FS 05F　漢字コード表の選択

	FS	0	5	F	n_1	-	n_{21}	n_{22}
16進	1C	30	35	46	n_1	2D	n_{21}	n_{22}
10進	28	48	53	70	n_1	45	n_{21}	n_{22}

漢字コード表を選択します。

n_1 は“2”を指定します。
n_{21} と n_{22} の組み合わせは次の中から選択します。

0 0 …JIS 1978年版（JIS C6226-1978）
0 1 …JIS 1983年版（JIS X0208-1983）
0 2 …JIS 1990年版（JIS X0208-1990）

- 本プリンタでは、従来の1978年版のJIS漢字コード表に加えて、1983年版、1990年版の漢字コード表に対応しています。漢字コード表をコンピュータから切り替えるときは、この拡張制御コードを使用してください。
- 本プリンタで印刷される文字は、基本的に上記 JIS に準拠していますが、デザイン処理などの都合により、多少字形の異なるものがあります。
- コンピュータが対応していないコード表を選択した場合には、コンピュータのディスプレイと印刷結果の文字とが異なる場合があります。

文字コード表

このプリンタは、8ビットコード、7ビットコードのうちの1つと漢字コードを使用することができます。

8ビットコードと7ビットコードの切り替えはメモリスイッチ2-6によって行います。工場設定は8ビットコードです。

7ビットコードについては、メモリスイッチ1-1～1-3を切り替えることによりアメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデンの各国特殊文字が入ったコードにすることができます。工場設定は各国特殊文字の入らないコードです。

漢字コードは、半角文字、JIS第1水準の漢字や記号など、およびJIS第2水準の漢字を印刷するのに使用できます。半角文字とは全角（普通の漢字）の半分の横幅の文字で、英字、数字、記号、カナなどがあります。次の表は「JIS C6226-1978」に準拠しています。

文字種 / 印刷モード	ANK			CG グラフィック 56種	ANK	漢字*
	英数字・記号 (SPを含む) 96種	カタカナ・記号 63種	ひらがな 55種		各国文字 15種	7014種
	214種					
	270種					
	285種					
HDバイカモード	○	○	○	○	○	—
コンデンスモード	○	○	○	○	○	—
エリートモード	○	○	○	○	○	—
プロポーショナルモード	○	○	○	○	○	—
漢字モード	—	—	—	—	—	○

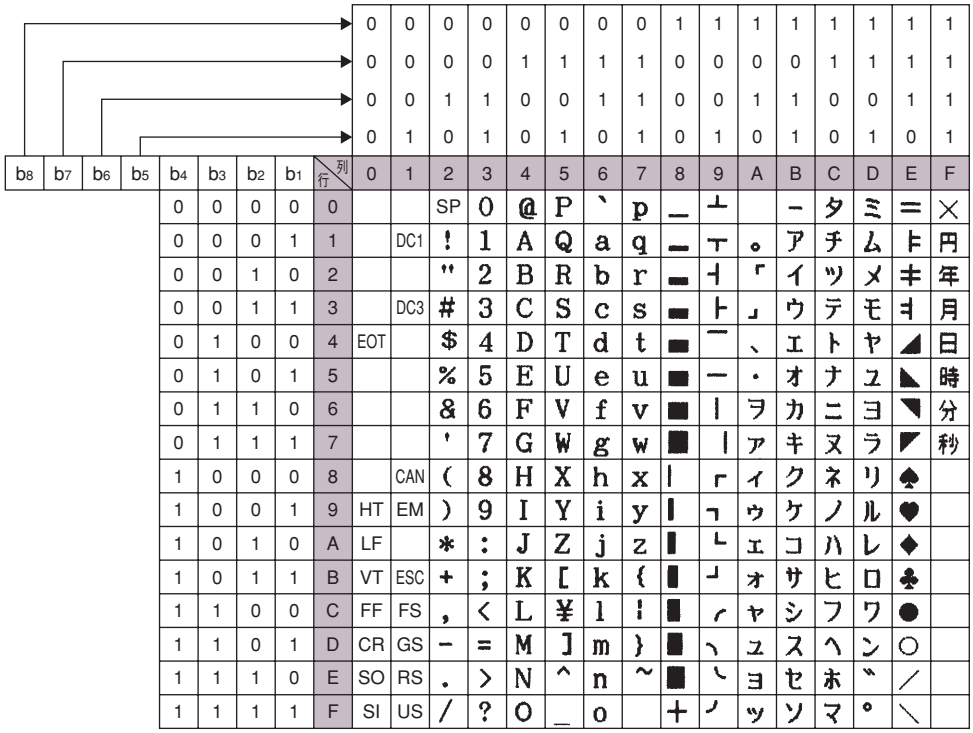
○：印刷可能

＊　漢字の詳細：

JIS第1水準漢字	2965種	
JIS第2水準漢字	3384種	
記号（SPを含む）	108種	
英数字	62種	
ひらがな	83種	計　7014種
カタカナ	86種	
ギリシャ文字	48種	
ロシア文字	66種	
半角文字（SPを含む）	212種	

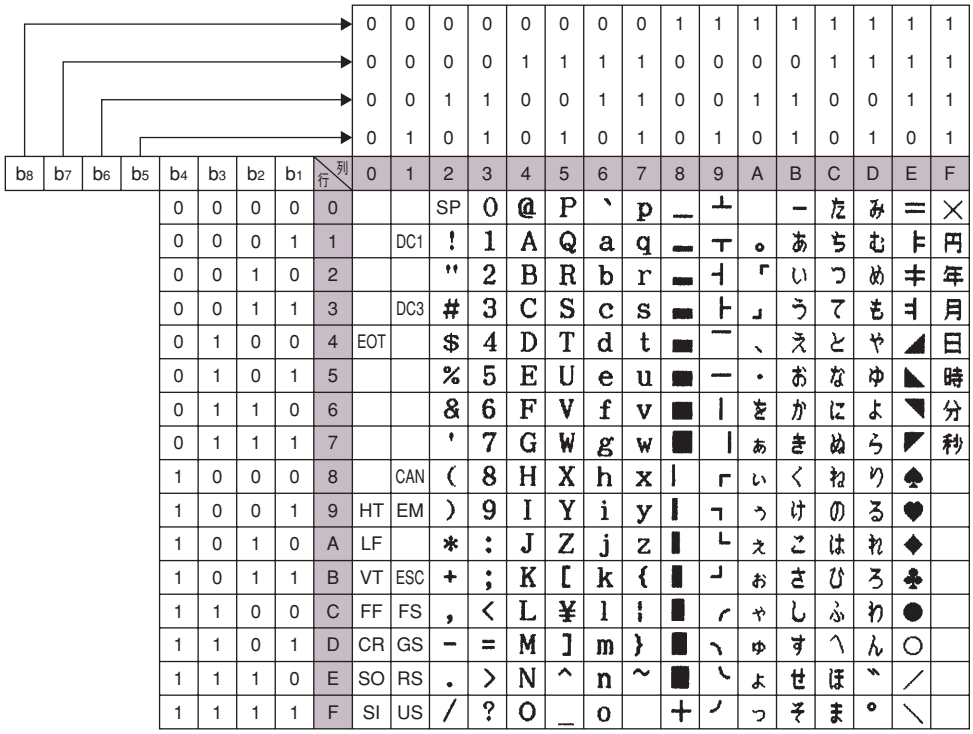
8ビットコード表

8ビットコード表　―カタカナモード―



b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	行＼列	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
				0	0	0	0	0			SP	0	@	P	`	p	_	┴		ｰ	ﾀ	ﾐ	ﾆ	×
				0	0	0	1	1		DC1	!	1	A	Q	a	q	▂	┬	｡	ｱ	ﾁ	ﾑ	ﾄ	円
				0	0	1	0	2			"	2	B	R	b	r	▃	┤	｢	ｲ	ﾂ	ﾒ	ﾅ	年
				0	0	1	1	3		DC3	#	3	C	S	c	s	▄	├	｣	ｳ	ﾃ	ﾓ	ﾇ	月
				0	1	0	0	4	EOT		$	4	D	T	d	t	▅	‾	、	ｴ	ﾄ	ﾔ	◢	日
				0	1	0	1	5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	ｵ	ﾅ	ﾕ	◣	時
				0	1	1	0	6			&	6	F	V	f	v	▇	│	ヲ	ｶ	ﾆ	ﾖ	◥	分
				0	1	1	1	7			'	7	G	W	g	w	■	┃	ｧ	ｷ	ﾇ	ﾗ	◤	秒
				1	0	0	0	8		CAN	(	8	H	X	h	x	▏	┌	ｨ	ｸ	ﾈ	ﾘ	♠	
				1	0	0	1	9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ｩ	ｹ	ﾉ	ﾙ	♥	
				1	0	1	0	A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ｪ	ｺ	ﾊ	ﾚ	◆	
				1	0	1	1	B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	▋	┘	ｫ	ｻ	ﾋ	ﾛ	♣	
				1	1	0	0	C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	▊	┌	ｬ	ｼ	ﾌ	ﾜ	●	
				1	1	0	1	D	CR	GS	-	=	M	]	m	}	▉	┐	ｭ	ｽ	ﾍ	ﾝ	○	
				1	1	1	0	E	SO	RS	.	>	N	^	n	~	▊	└	ｮ	ｾ	ﾎ	ﾞ	／	
				1	1	1	1	F	SI	US	/	?	O	_	o		+	┘	ｯ	ｿ	ﾏ	ﾟ	＼	

8ビットコード表　―ひらがなモード―



b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	行＼列	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
				0	0	0	0	0			SP	0	@	P	`	p	_	┴		ｰ	た	み	ニ	×
				0	0	0	1	1		DC1	!	1	A	Q	a	q	▂	┬	｡	あ	ち	む	ト	円
				0	0	1	0	2			"	2	B	R	b	r	▃	┤	｢	い	つ	め	キ	年
				0	0	1	1	3		DC3	#	3	C	S	c	s	▄	├	｣	う	て	も	ヰ	月
				0	1	0	0	4	EOT		$	4	D	T	d	t	▅	‾	、	え	と	や	◢	日
				0	1	0	1	5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	お	な	ゆ	◣	時
				0	1	1	0	6			&	6	F	V	f	v	▇	│	を	か	に	よ	◥	分
				0	1	1	1	7			'	7	G	W	g	w	■	┃	ぁ	き	ぬ	ら	◤	秒
				1	0	0	0	8		CAN	(	8	H	X	h	x	▏	┌	ぃ	く	ね	り	♠	
				1	0	0	1	9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ぅ	け	の	る	♥	
				1	0	1	0	A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ぇ	こ	は	れ	◆	
				1	0	1	1	B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	▋	┘	ぉ	さ	ひ	ろ	♣	
				1	1	0	0	C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	▊	┌	ゃ	し	ふ	わ	●	
				1	1	0	1	D	CR	GS	-	=	M	]	m	}	▉	┐	ゅ	す	へ	ん	○	
				1	1	1	0	E	SO	RS	.	>	N	^	n	~	▊	└	ょ	せ	ほ	゛	／	
				1	1	1	1	F	SI	US	/	?	O	_	o		+	┘	っ	そ	ま	゜	＼	

7ビットコード表

b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	行＼列	0	1	2	3	4	5	6	7
									0 または 1							
				0	0	0	0	0			SP	0	注3	P	注8	p
				0	0	0	1	1		DC1	!	1	A	Q	a	q
				0	0	1	0	2		DC2	"	2	B	R	b	r
				0	0	1	1	3		DC3	注1	3	C	S	c	s
				0	1	0	0	4	EOT	DC4	注2	4	D	T	d	t
				0	1	0	1	5			%	5	E	U	e	u
				0	1	1	0	6			&	6	F	V	f	v
				0	1	1	1	7			'	7	G	W	g	w
				1	0	0	0	8		CAN	(	8	H	X	h	x
				1	0	0	1	9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y
				1	0	1	0	A	LF		*	:	J	Z	j	z
				1	0	1	1	B	VT	ESC	+	;	K	注4	k	注9
				1	1	0	0	C	FF	FS	,	<	L	注5	l	注10
				1	1	0	1	D	CR	GS	-	=	M	注6	m	注11
				1	1	1	0	E	SO	RS	.	>	N	注7	n	注12
				1	1	1	1	F	SI	US	/	?	O	_	o	

注13

<注1～注12>　各国特殊文字
（メモリスイッチ1-1～1-3で切り替えます）。

注 No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コード	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~

<注13>　2～5列はキャラクタモードによって以下のように切り替わります。

行＼列	CGグラフィックモード				ひらがなモード				カタカナモード			
	2	3	4	5	2	3	4	5	2	3	4	5
0	_	┴	═	╳		ー	た	み		ー	タ	ミ
1	▁	┬	├	円	。	あ	ち	む	。	ア	チ	ム
2	▂	┤	┿	年	「	い	つ	め	「	イ	ツ	メ
3	▃	├	┤	月	」	う	て	も	」	ウ	テ	モ
4	▄	‾	◢	日	、	え	と	や	、	エ	ト	ヤ
5	▅	─	◣	時	・	お	な	ゆ	・	オ	ナ	ユ
6	▆	│	◥	分	を	か	に	よ	ヲ	カ	ニ	ヨ
7	▇	│	◤	秒	ぁ	き	ぬ	ら	ァ	キ	ヌ	ラ
8	▏	┌	♠		ぃ	く	ね	り	ィ	ク	ネ	リ
9	▎	┐	♥		ぅ	け	の	る	ゥ	ケ	ノ	ル
A	▍	└	◆		ぇ	こ	は	れ	ェ	コ	ハ	レ
B	▋	┘	♣		ぉ	さ	ひ	ろ	ォ	サ	ヒ	ロ
C	▋	┌	●		ゃ	し	ふ	わ	ャ	シ	フ	ワ
D	▉	┐	○		ゅ	す	へ	ん	ュ	ス	ヘ	ン
E	▉	└	／		ょ	せ	ほ	゛	ョ	セ	ホ	゛
F	┼	┘	＼		っ	そ	ま	゜	ッ	ソ	マ	゜

漢字コード表

このプリンタは、従来の1978年版のJIS漢字コード表に加えて、1983年版、1990年版の漢字コード表にも対応しています。

漢字コード表をコンピュータから切り替えるときは、次の拡張制御コードを使用してください。

◇　拡張制御コード：　＜コード＞　**FS０５F *n1 - n21 n22***
＜16進数＞　1C 30 35 46 n1 2D n21 n22

n1 - n21 n22：2-00…JIS 1978年版（JIS C6226-1978）
2-01…JIS 1983年版（JIS X0208-1983）
2-02…JIS 1990年版（JIS X0208-1990）

このプリンタで印刷される文字は、基本的に上記JISに準拠していますが、デザイン処理などの都合により、多少字形の異なるものがあります。また、コンピュータが対応していないコード表を選択した場合には、コンピュータの画面の文字と印刷結果の文字とが異なる場合があります。

次の漢字コード表はすべて「JIS C6226-1978」に対応しています。

漢字コード表　―半角文字―

行＼列	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0020		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
0030	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
0040	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
0050	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
0060	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0070	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	‾	
0080		。	「	」	、	・	を	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	っ
0090	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
00A0		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
00B0	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
00C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
00D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
00E0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
00F0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	゛	゜

＜注＞　0列、0030行の「0」の書体はメモリスイッチ3-7により「 ∅ 」に変更できます。

漢字コード表　―全角文字（JIS第1水準）―

第2バイト / 第1バイト	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D
21		、	。	,	.	・	:	;	?	!	゛	°	´	`	¨	^	￣	_	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	―	―	-	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕
22	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	＝																																	
23																0	1	2	3	4	5	6	7	8	9								A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
24	ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね
25	ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ
26	Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω									α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν
27	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я													
28																																													
29																																													
2A																																													
2B																																													
2C																																													
2D																																													
2E																																													
2F																																													
30	亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依
31	院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛
32	押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架
33	魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲
34	渇	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓	汗	漢	澗	灌	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰
35	機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰
36	供	挟	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐
37	掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦
38	検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸
39	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考
3A	此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才
3B	察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四
3C	次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射
3D	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛
3E	勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥
3F	拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人
40	澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥
41	繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚	狙	疏	踈	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠
42	臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨
43	叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値
44	帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚
45	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗
46	菫	荵	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突
47	如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵
48	函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩
49	鼻	杼	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰻	品	彬	斌	浜
4A	福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥
4B	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	膨	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕
4C	没	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺
4D	諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様
4E	瘍	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵
4F	蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏	牢	狼	籠	老	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫

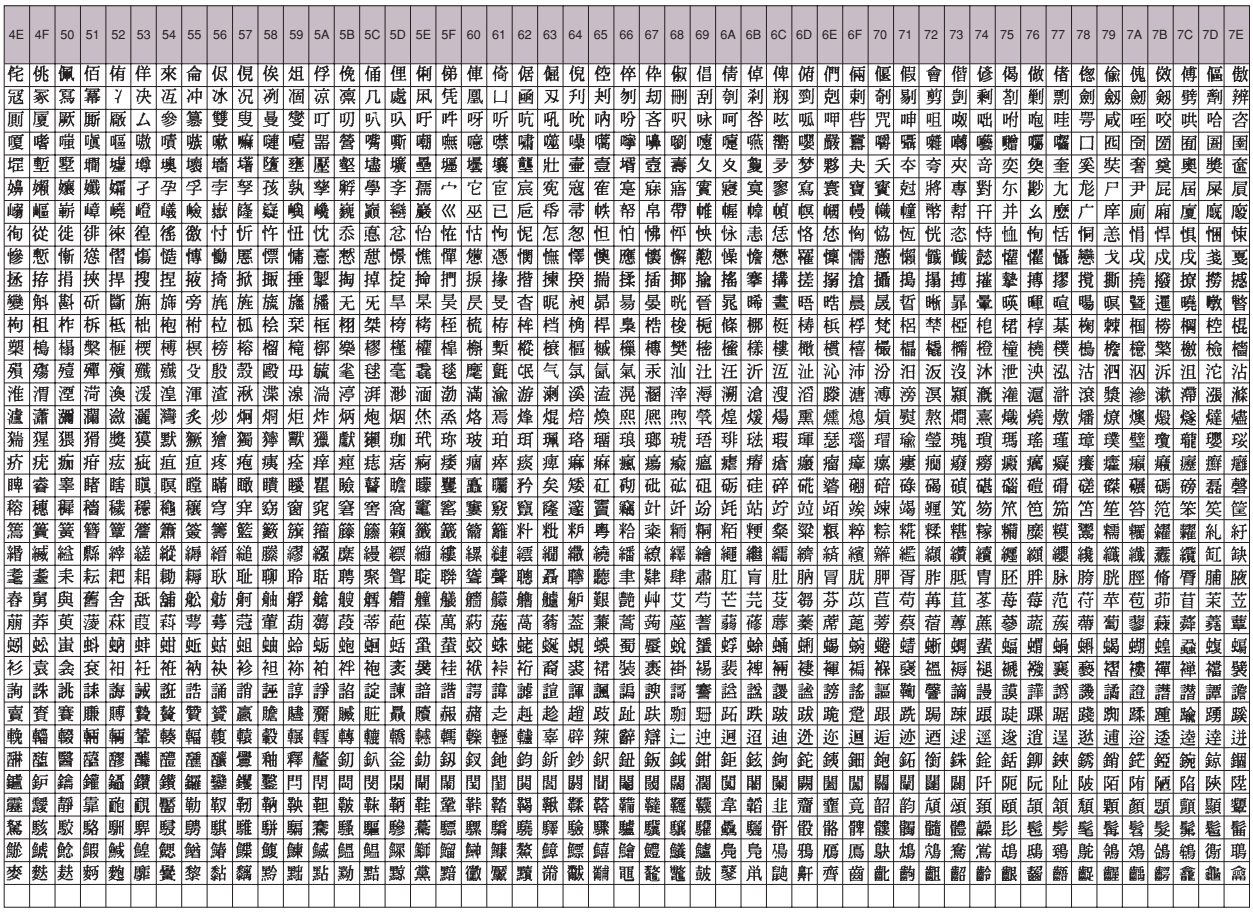
漢字コード表　―全角文字（JIS第1水準）―（続き）

4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
〔	〕	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇
N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z							a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z				
の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん											
ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ							
ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω																																							
			а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я													
偉	囲	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭
盈	穎	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応
歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改
確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竈	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱
肝	艦	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄
砧	杵	祇	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京
粁	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈
稽	系	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頸	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲
故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向
肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込
採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷
士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時
捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	灼	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周
塾	熟	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償
称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾
仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾
昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線
僧	創	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎
体	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只
知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵
椛	captain	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壺	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓
杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	礪	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	棟	棟	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到
椴	届	藤	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠	軟	難	汝	二	尼	弐	邇	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入
芭	馬	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剝	博	拍	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦
販	範	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美
瀬	貧	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服
蔑	鬨	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋
卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	儘	繭	麿	万	慢	満
摸	模	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒
洋	溶	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遙	陽	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃
領	力	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯
蘆	蕨	椀	湾	碗	腕																																											

漢字コード表　—全角文字（JIS第2水準）—

第2バイト / 第1バイト	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D
50	弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	事	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	佹	佾
51	侔	侖	侘	侏	侑	佩	佻	侃	侖	侔	侚	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
52	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
53	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
54	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
55	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
56	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
57	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
58	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
59	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
5A	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
5B	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
5C	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
5D	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
5E	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
5F	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
60	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
61	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
62	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
63	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
64	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
65	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
66	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
67	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
68	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
69	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
6A	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
6B	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
6C	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
6D	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
6E	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
6F	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
70	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
71	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
72	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
73	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔	侔
74																																													

漢字コード表　—全角文字（JIS第2水準）—（続き）



特殊文字の印刷

このプリンタでは、「バーコード」と「OCR-B相当フォント」および「カスタマバーコード」の印刷ができます。印刷するには、それぞれの制御コードを送ります。ここではプリンタ内部のフォントを使用する場合について説明しています。添付されているCD-ROMのBarcodeStudioをご使用になる場合はCD-ROM内のReadmeをお読みください。

バーコードを印刷する

チェック

- 印刷範囲内であれば、1行にいくつでもバーコードを印刷することができます。ただし、1つのバーコードが次の行にまたがる場合は、そのバーコードは印刷されずにその部分のデータが無効となります。
- 本プリンタで印刷したバーコードは、ドットの組み合わせで印刷するため、本来の規格と多少差異が生じます。したがってバーコードの読み取りは、十分評価を行ってから使用してください。
- バーコードと文字を同一行に印刷する場合、文字を基準に印刷処理を行います。したがってバーコード印刷の制御コードを分解し、改行幅の指定が必要になります（154ページ参照）。
- バーコードの縦の長さより縦拡大文字の縦の長さの方が大きい場合、バーコードの下端と下部に印刷される文字が離れることがあります。
- JANはJIS B 9550に準拠していますが、レフト／ライトガイドバー、センタバーは下方へ拡大できません。
- 印刷するバーコードの左右には、読み取り用の空白エリアが必要になります。ユーザー側で水平タブ（HT）などを使用してください。
- バーコードを印刷する場合は印刷モードを高品位印刷に設定してください。高品位印刷を設定しないと、バーコードの読み取り率が低下する場合があります。
- バーコード／カスタマバーコードを印刷するときは、坪量81.4～104.7g/m^2（連量70～90kg）の用紙を使用してください。それ以外の用紙は推奨していないので事前にご確認ください。また、複写用紙には絶対に印刷しないでください。
- 独自で作成したバーコードなど、プリンタ内蔵のバーコード以外のバーコードで印刷する場合、読み取れない場合がありますので事前にご確認ください。
- OCR-B 相当フォントおよびバーコード／カスタマバーコードは読み取り装置によっては読み取れない場合があります。事前にご確認ください。
- インクリボンなどの寿命により印刷がうすくなったり、かすれがある場合は、OCR-Bおよびバーコード読取装置でうまく読み取れない場合があります。

制御コード

FS'　　バーコード印字

	FS	`	n_{11}	n_{12}	,	n_2	,	n_3	,	n_{41}	n_{42}	,
16進	1C	60	n_{11}	n_{12}	2C	n_2	2C	n_3	2C	n_{41}	n_{42}	2C
10進	28	96	n_{11}	n_{12}	44	n_2	44	n_3	44	n_{41}	n_{42}	44

n_{51}	n_{52}	n_{53}	,	n_{61}	n_{62}	.
n_{51}	n_{52}	n_{53}	2C	n_{61}	n_{62}	2E
n_{51}	n_{52}	n_{53}	44	n_{61}	n_{62}	46

バーコードを印刷します。

n11、n12 は2桁の10進数を指定します。

0 1 …NW-7（スタート／ストップキャラクタ指定）
0 2 …NW-7
0 3 …JAN標準
　　…JAN短縮
0 4 …CODE 39
0 5 …INDUSTRIAL 2 OF 5
0 6 …INTERLEAVED 2 OF 5
0 7 …CODE 128

n2$は1桁の10進数で、0、1、2のいずれかを指定します。

0 …ヒューマンリーダブルエリアの印刷なし
1 …ヒューマンリーダブルエリアをバーコードの下部に印刷する
2 …ヒューマンリーダブルエリアをバーコードの上部に印刷する

n3$は2、3、4のいずれかのモジュール幅を1桁の10進数で指定します。

n41$、n42$は2桁の10進数で30を指定します。

3 0 …3:1（ワイド：ナロー＝3:1）

n51$、n52$、n53$は0～9までの数字で、バーコードの縦の長さ（25.4n/160ミリメートル（n/160インチ））を3桁の10進数で指定します。

n61$、n62$は0～9までの数字で、バーコードデータの桁数を2桁の10進数で指定します。

- バーコードを印刷するには、この制御コードに引き続き、n61$、n62$で指定した桁数分のバーコードデータを送ります。
- n11$、n12$が01であるときは、NW-7のスタート／ストップキャラクタの指定になります。このとき、n2$～n5$は省略し、n6$には2を指定します。この制御コードに引き続きスタートキャラクタとストップキャラクタを送ります。
- スタート／ストップキャラクタのデフォルト値はともに“a”とします。
- JAN標準（13桁）と短縮（8桁）の区別は、n61$、n62$に指定されたデータの桁数によって行います。
- ヒューマンリーダブルエリアは、バーコードの下部、または上部に OCR-B 文字にて指定されたデータキャラクタを印刷します。
- モジュール幅とは、バー 1本の印刷ドット数を意味します。
- INTERLEAVED 2 OF 5のデータ桁数は、偶数で指定してください。
- バーコードの縦の長さ（25.4n/160ミリメートル（n/160インチ））のnの範囲は、1≦n≦999です。ただしn=0が指定された場合は、現在設定されている改行幅がバーコードの縦の長さになります。したがって、改行幅の切り替え機能と組み合わせることによって、最小0.212mm（1/120インチ）単位での設定が可能となります。ただし、実際の印刷はドットピッチで行うため、0.16mm（1/160インチ）単位で変換されます（変換時の余りは切り上がります）。

バーコードの概要

バーコードに関する概要を説明します。

バーコードの種類

名称	機能概要		桁数*1
NW-7（コーダバー）	データ	数字　0～9（10個） 記号　—$：／．＋（6個）	可変（34）
	スタート、ストップ	abcdetn＊ABCDETN（15個）	
JAN標準	データ	数字　0～9（10個）	12+CD*2（13）
	レフトガードバー、センタバー、ライトガードバー		
JAN短縮	同上		7+CD（8）
Code 39	データ	数字　0～9（10個） 英字　A～Z（26個） 記号　—$／．＋%SP（7個）	可変（34）
	スタート、ストップ	＊	
Industrial 2 OF 5	データ	数字　0～9（10個）	可変（34）
	スタート、ストップ		
Interleaved 2 OF 5	データ	数字　0～9（10個）	可変（34） （ただし偶数のみ）
	スタート、ストップ		
Code128	データ	数字　0～9（10個） 英字　A～Z、a～z（52個） 記号　（33個） 制御コード　（33個） その他　（8個）	可変（49）
	スタート、ストップ（4個）		

＊1　桁数の（　）内は最大桁数を表します。

＊2　CD とは、「チェックディジット」のことです。

バーコード指令の概要

バーコードは次の表のとおり、6つのパラメータで形成され、それぞれの指令により各種のバーコードが印刷できます。

単位：ドット

パラメータ	概要
P1	バーコードの種類を指定する。
P2	ヒューマンリーダブルエリアの有無を指定する。
P3	バーコードのモジュール幅をドット数で指定する。
P4	バーコードのワイドバーとナローバーの横の長さの比を指定する。
P5	バーコードの縦の長さをドット数（25.4n/160ミリメートル（n/160インチ））で指定する。
P6	バーコードデータの桁数を指定する。チェックディジットは本プリンタでは自動付加しないためコンピュータから出力する。

バーコードの横の長さ

各バーコード種別によるバーコードの横の長さの算出は次のとおりです。

- MSW4-8が「0」の場合（モジュール幅2ドットの場合）

単位：ドット

種別	スタートバー	ストップバー	センタバー	データバー	キャラクタ間ギャップ
NW-7	29	29	—	25	3
JAN標準	6	6	10	14	—
JAN短縮	6	6	10	14	—
Code 39	34	34	—	34	3
Industrial 2 OF 5	20	20	—	30	3
Interleaved 2 OF 5	6	10	—	36	2
Code 128	22	26	—	22	2

- MSW4-8が「1」の場合（モジュール幅2ドットの場合）

単位：ドット

種別	スタートバー	ストップバー	センタバー	データバー	キャラクタ間ギャップ
NW-7	26	26	—	22	2
JAN標準	6	6	10	14	—
JAN短縮	6	6	10	14	—
Code 39	30	30	—	30	2
Industrial 2 OF 5	18	18	—	26	2
Interleaved 2 OF 5	6	10	—	36	2
Code 128	22	26	—	22	2

ただし、表はモジュール幅が2ドットの場合であり、実際のモジュール幅は「P3」で指定したモジュール幅を掛け合わせて求めることができます。JANの場合は、合計ドット数に「P3」で指定したモジュール幅を掛け合わせ求めることができます。

例：　NW-7（モジュール幅：3、桁数：6）
　　MSW4-8が「1」の場合

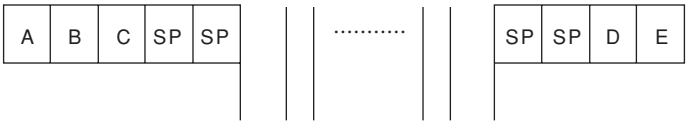
モジュール幅　スタート　データ　キャラクタ間ギャップ　ストップ　インチ・ミリ概算（固定）　印刷ドット密度（固定）

3 x（ 13 +（11x6）+ （1x5）+ 13）= 291→291 x 25.4 ÷ 160 ≒ 47mm

バーコード印刷時は、「上記で求めた長さ＋余白の長さ」が印刷範囲を超えないように注意してください。

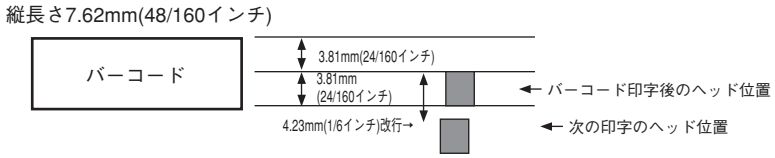
バーコード印刷時の印刷ヘッドの位置に関する注意

- 印刷開始位置は、次に印刷する文字の左上をバーコードの左上として印刷します。

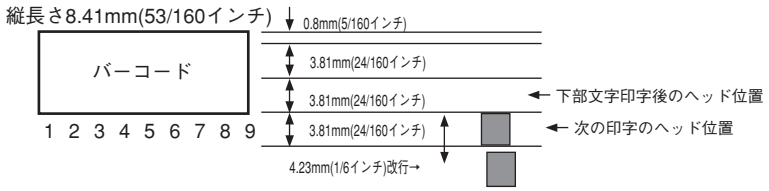


- バーコード印刷は、印刷ヘッドの24ピン（381mm（24/160インチ））を基準に印刷処理を行うため、改行ピッチとの間にギャップがあるので、印刷終了時の印刷ヘッドの位置に注意してください。

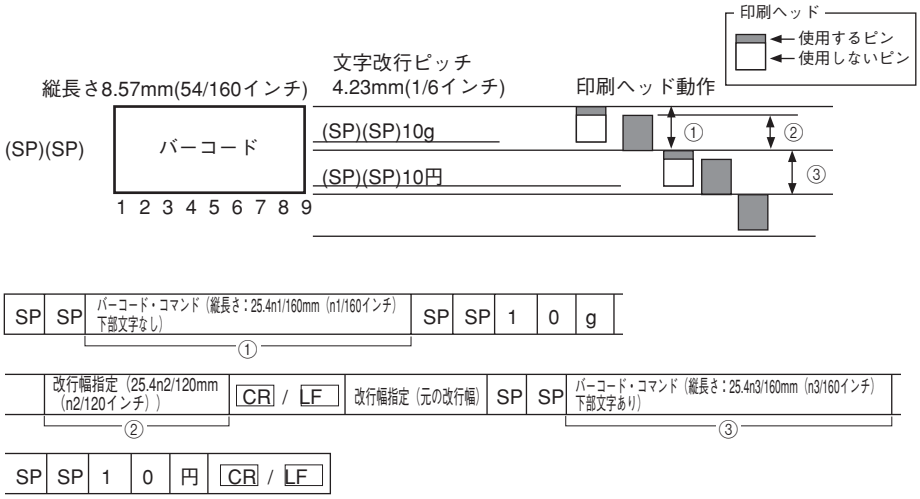
  ー 下部文字がない場合（4.23mm（1/6インチ）改行）



  ー 下部文字がある場合（4.23mm（1/6インチ）改行）



- バーコードと通常の文字を同じ行に印刷する場合、文字を基準に印刷処理を行います。その場合は、バーコードコマンドを分解し、25.4n/120ミリメートル（n/120インチ）改行命令により改行する必要があります。



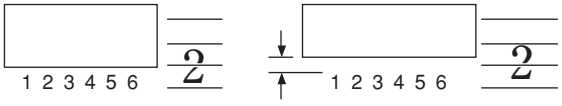
① 文字ピッチ分のバーコードの幅の長さを指定します。
バーコードの縦の長さ ＝ 改行ピッチ
＝ 4.23mm（1/6インチ）
≒ 4.28mm（27/160インチ）*
n1=27

* バーコードの縦の長さを1/160インチに換算したときの端数は保持されます。この端数の累積による印刷位置ずれを防ぐためには、改ページコード（FF）で改ページするか、1/160インチ換算で端数のないバーコードの縦の長さを設定してお使いください。

② ①のコマンド終了時に、印刷ヘッドを次の印刷行に改行させます。
改行幅 ＝ 印刷ヘッドの高さ
＝ 3.81mm（24/160インチ）
＝ 3.81mm（18/120インチ）
n2=18

③ 残りのバーコードを印刷します。
残りのバーコードの縦の長さ ＝ バーコードの縦の長さー 1のコマンドの縦の長さ
＝ 8.57-4.29mm（54/160-27/160インチ）
＝ 4.28mm（27/160インチ）
n3=27

- バーコードの縦の長さより縦拡大文字の長さの方が大きい場合、バーコードの下端とその下部の文字が離れる場合があります。



カスタマバーコードを印刷する

チェック

- 本プリンタで印刷したバーコードは、ドットの組み合わせで印刷するため、本来の規格と多少差異が生じます。したがってバーコードの読み取りは、十分評価を行ってから使用してください。
- 印刷するバーコードの左右には、読み取り用の空白エリアが必要になります。ユーザー側で水平タブ（HT）などを使用してください。
- バーコードを印刷する場合は印刷モードを高品位印刷に設定してください。高品位印刷を設定しないと、バーコードの読み取り率が低下する場合があります。
- カスタマバーコードの文字幅は3.39mm（2/15インチ）、文字サイズは3.39mm（9.5ポイント）を使用してください。それ以外を指定すると読み取りができなくなる場合があります。
- バーコード／カスタマバーコードを印刷するときは、坪量81.4～104.7g/m^2（連量70～90kg）の用紙を使用してください。それ以外の用紙は推奨していないので事前にご確認ください。また、複写用紙には絶対に印刷しないでください。
- 独自で作成したバーコードなど、プリンタ内蔵のバーコード以外のバーコードで印刷する場合、読み取れない場合がありますので事前にご確認ください。
- OCR-B 相当フォントおよびバーコード／カスタマバーコードは読み取り装置によっては読み取れない場合があります。事前にご確認ください。
- インクリボンなどの寿命により印刷がうすかったり、かすれがある場合は、OCR-Bおよびバーコード読取装置でうまく読み取れない場合があります。

JANコード等のバーコードとは異なり、カスタマバーコードの仕様には文字の特性が与えられています。このためカスタマバーコードは、2バイト文字として扱い、印刷します。したがって201PLで定義された文字制御に関するすべての機能は有効です。（例えば、カスタマバーコードの仕様から逸脱した文字サイズ指定や不適切な文字ピッチ指定、拡大・縮小、アンダーライン、文字修飾など。）
このため、カスタマバーコードの印刷を行うアプリケーションは適切な印刷結果が得られるよう留意してください。

カスタマバーコードに盛り込む情報は、文字、-（ハイフン）、およびアルファベットから構成される新郵便番号および住所表示番号*です。ただし住所の方書き部分にビル、マンション等の棟・室番号などが存在する場合には、これを含めます。（＊住所表示番号とは住所の文字部分をハイフンで結んだものであり、住所表示実施地域については丁目一番一号まで、住居表示未実施地域については番地一枝番までの情報を基本とします）。

- 住所表示実施地域の例
  〒154　世田谷区若林3丁目16番4号
  ↓
  154-0023　3-16-4
  新郵便番号　住所表示番号
- 住所表示未実施地域の例
  〒213　川崎市高津区溝口1207-4
  ↓
  213-0001　1207-4
  新郵便番号　住所表示番号

<2バイト文字書体の選択>
[FS][0][6][F][2][-][n1][n2][n3]

[n1][n2][n3]は3桁の文字表現の10進数であり、書体番号を示します。
851　カスタマバーコード書体（回転なし）
CLR　2バイト文字書体を初期状態に戻す。（操作パネルで設定された書体）

カスタマバーコードのフォーマット

以下にカスタマバーコードのフォーマットを示します。ただし、新郵便番号の3桁目と4桁目の間のハイフンおよび新郵便番号と住所表示番号をつなぐハイフンは省くものとします。また、英字1文字は、制御コードと数字コードの組み合わせにより実現し、バーコード2桁分として扱います。

フォーマット　：スタートコード＋新郵便番号＋住所表示番号＋チェックディジット＋ストップコード
バーコード桁数：　（1）　（7）　（13）　（1）　（1）

＜住所表示番号が規定の桁数13桁に対して過不足のある場合＞

- 13桁を超える場合　13桁までの住所表示番号をバーコードに変換し、それ以上の情報は含めません。ただし、制御コード＋数字コードで表される英字の制御コードが13桁目にあたる場合、この制御コードに該当するバーコードまでを含めるものとする。
- 13桁に満たない場合　13桁になるまで制御コードCC4に該当するバーコードで埋めるものとする。

また、チェックディジットは、新郵便番号～住所表示番号に盛り込む情報の各キャラクターをチェック用数字に置き換え、その合計が19の倍数になるように生成します。
各キャラクタのチェック用数字への置き換えは、次のとおりです。

キャラクタ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	-	CC1	CC2	CC3	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
チェック用	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18

例）カスタマバーコードの生成例

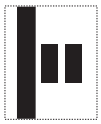
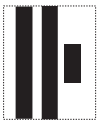
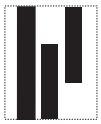
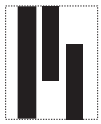
- 住所
  〒154
  世田谷区若林3丁目16番4号
- 新郵便番号＋住所表示番号
  154ー 0023ー 3ー 16ー 4
- 郵便番号の3～4桁目間および新郵便番号～住所表示番号間のハイフンを抜く
  15400233ー 16ー 4
- 住所表示部分が13桁に満たないので制御コードを付加する
  1+5+4+0+0+2+3+3+10+1+6+10+4+14+14+14+14+14+14+14+14+CD
  =147-CD=19の倍数
  CD=(19 x 8)-147=5
- CD、スタートコード、ストップコードを付加する
  STC　15400233ー 16ー 4ー CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4 CC4　5　SPC
- それぞれのコードを読み替える
  ＜15400233ー 16ー 4ddddddd5＞
- プリンタの印刷モードを漢字（横印刷）モード設定にするため、ESC Kコマンドをプリンタに送信する。
- 読み替えたコードを2バイト表記でプリンタに送信する。

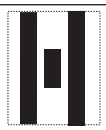
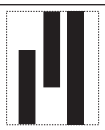
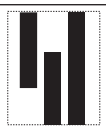
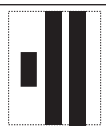
カスタマバーコードのコード体系

- 数字（0～9）
- ハイフンおよびスタート・ストップコード
- 制御コード（英語用制御コード3種・予備用制御コード5種）
- 英字（A～Z）

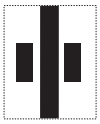
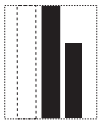
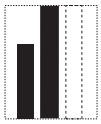
以下の文字コード以外が指定されたときは、全角スペースを印刷します。

数字

キャラクタ	0	1	2	3	4
コード割付	2330h 数字「0」	2331h 数字「1」	2332h 数字「2」	2333h 数字「3」	2334h 数字「4」
カスタマバーコード					
コード組合せ	–	–	–	–	–
バー種類	144	114	132	312	123

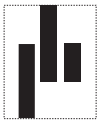
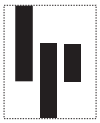
キャラクタ	5	6	7	8	9
コード割付	2335h 数字「5」	2336h 数字「6」	2337h 数字「7」	2338h 数字「8」	2339h 数字「9」
カスタマバーコード					
コード組合せ	–	–	–	–	–
バー種類	141	321	213	231	411

ハイフンおよびスタート・ストップコード

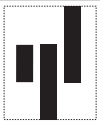
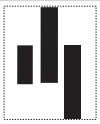
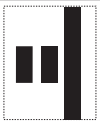
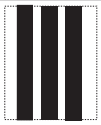
キャラクタ	–	スタート（STC）	ストップ（STP）
コード割付	215Dh マイナス「–」	2163h 不等号「<」	2164h 不等号「>」
カスタマバーコード			
コード組合せ	–	–	–
バー種類	414	13	31

制御コード（英字用制御コード、予備用制御コード）

英字用制御コード

キャラクタ	CC1	CC2	CC3
コード割付	2361h 英数字「a」	2362h 英数字「b」	2363h 英数字「c」
カスタマバーコード			
コード組合せ	−	−	−
バー種類	324	342	234

予備用制御コード

キャラクタ	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
コード割付	2364h 英数字「d」	2365h 英数字「e」	2366h 英数字「f」	2367h 英数字「g」	2368h 英数字「h」
カスタマバーコード					
コード組合せ	−	−	−	−	−
バー種類	432	243	423	441	111

英字

キャラクタ	A	B	C	D	E
コード割付	2361h+ 2330h	2361h+ 2331h	2361h+ 2332h	2361h+ 2333h	2361h+ 2334h
カスタマ バーコード					
コード組合せ	CC1+0	CC1+1	CC1+2	CC1+3	CC1+4
バー種類	324144	324114	324132	324312	324123

キャラクタ	F	G	H	I	J
コード割付	2361h+ 2335h	2361h+ 2336h	2361h+ 2337h	2361h+ 2338h	2361h+ 2339h
カスタマ バーコード					
コード組合せ	CC1+5	CC1+6	CC1+7	CC1+8	CC1+9
バー種類	324141	324321	324213	324231	324411

キャラクタ	K	L	M	N	O
コード割付	2362h+ 2330h	2362h+ 2331h	2362h+ 2332h	2362h+ 2333h	2362h+ 2334h
カスタマ バーコード					
コード組合せ	CC2+0	CC2+1	CC2+2	CC2+3	CC2+4
バー種類	342144	342114	342132	342312	342123

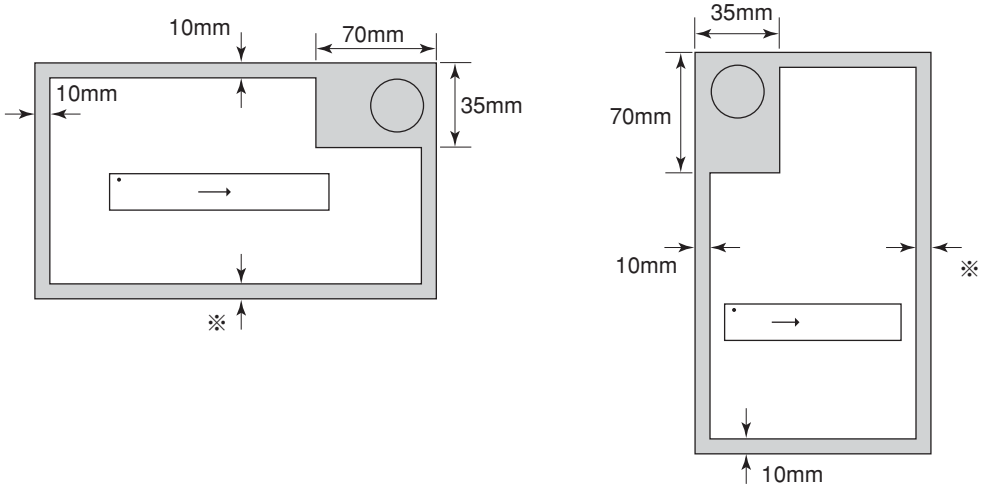
キャラクタ	P	Q	R	S	T
コード割付	2362h+ 2335h	2362h+ 2336h	2362h+ 2337h	2362h+ 2338h	2362h+ 2339h
カスタマ バーコード					
コード組合せ	CC2+5	CC2+6	CC2+7	CC2+8	CC2+9
バー種類	342141	342321	342213	342231	342411

キャラクタ	U	V	W	X	Y
コード割付	2363h+ 2330h	2363h+ 2331h	2363h+ 2332h	2363h+ 2333h	2363h+ 2334h
カスタマ バーコード					
コード組合せ	CC3+0	CC3+1	CC3+2	CC3+3	CC3+4
バー種類	234144	234114	234132	234312	234123

キャラクタ	Z
コード割付	2363h+ 2335h
カスタマ バーコード	
コード組合せ	CC3+5
バー種類	234141

バーコードの印刷位置

カスタマバーコードの上下左右には2mm以上の余白を設けるものとなっています。ただし、窓枠の上下左右とカスタマバーコードの間の空白は封筒と内容物のズレにかかわらず、常に2mm以上必要です。
宛名を横書きする場合には、宛先氏名の直下にカスタマバーコードを単独で印刷します。
宛名を縦書きする場合には、左右または下部に単独で印刷します。
カスタマバーコードは郵便物の表面の縁から10mmおよび消印領域である70mm x 35mmを除いた範囲内で印刷することができます。
ただし、※部分はできるだけ15mm以上空けてください。
印刷方向は「・」を先頭とし、→の方向です。

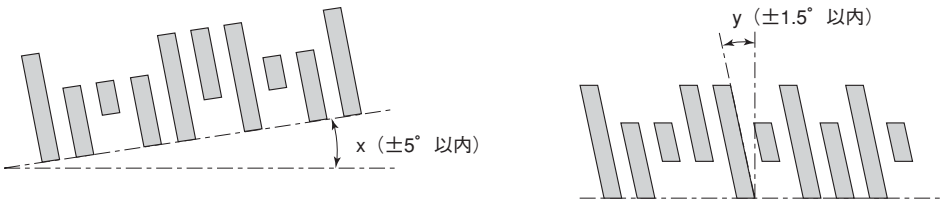


カスタマバーコードが印刷される下地

カスタマバーコードが印刷されるバーコードの下地は白色または地模様のない淡い色のみです。

カスタマバーコードの傾き

カスタマバーコードの傾きは、バーコードの長辺と同一方向の郵便物辺が成す角が、5度以内となるようにします。また、バーコードの長辺に対する垂線とバーコードの成す角は1.5度以内になるようにしてください。この2つが混在する場合には、2つの傾きの絶対値を加えたものが、5度以内となるようにしてください。



使用するインクリボン

カスタマバーコードを印刷する時は、インクリボンが新品の場合はインクのにじみがあるため、12.7mm（8ポイント）での読み取りができなくなる場合があります。12.7mm（8ポイント）での印刷は避けてください。また12.7mm（8ポイント）にかかわらず古いインクリボンで印刷するとバーコード読み取りができなくなる場合があります。

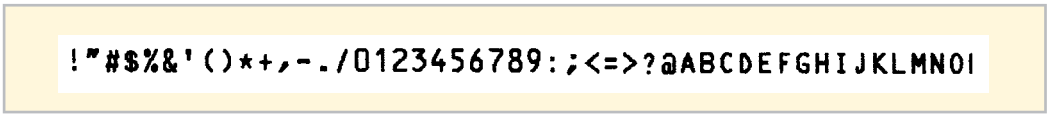
印刷品質

カスタマバーコード印刷面には反射率50%以上の紙を使用してください。印刷面とカスタマバーコードとの反射率PCSは0.6以上必要です。また、カスタマバーコードにはインクのにじみやかすれなどが無いようにしてください。

カスタマバーコードを印刷する場合は印刷モードを高品位印刷に設定してください。高品位印刷を設定しないと、バーコードの読み取り率が低下します。

OCR-B相当フォントを印刷する

OCR-B相当フォントとは次のようなフォントです。



チェック

- OCR-B相当フォントを印刷する場合は印刷モードを高品位印刷に設定してください。高品位印刷に設定しないと、文字の読み取り率が低下する場合があります。
- OCR-B相当フォントを印刷する時は、坪量104.7g/m^2（連量90kg）の用紙を使用してください。それ以外の用紙は推奨していないので事前にご確認ください。
- OCR-B 相当フォントおよびバーコード／カスタマバーコードは読み取り装置によっては読み取れない場合があります。事前にご確認ください。
- インクリボンなどの寿命などにより印刷にかすれがある場合は、OCR-Bおよびバーコード読取装置でうまく読み取れない場合があります。

制御コード

制御コードは次のとおりです。

FS 0 6 F　　漢字フォントの選択

	FS	0	6	F	n_1	-	n_{21}	n_{22}	n_{23}
16進	1C	30	36	46	n_1	2D	n_{21}	n_{22}	n_{23}
10進	28	48	54	70	n_1	45	n_{21}	n_{22}	n_{23}

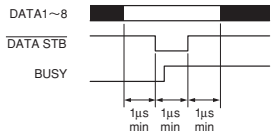
5種類のフォントのうちどれを使うかを直接指定します。

n1は“1”にします。
n21、n22、n23 の組み合わせは次の中から選択します。

0 0 0 …標準フォント
0 0 1 …イタリック
0 0 2 …クーリエ
0 0 3 …ゴシック
0 0 4 …OCR-B相当

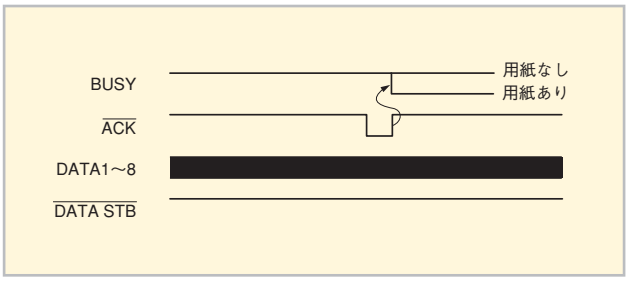
インタフェース仕様

インタフェース信号の機能

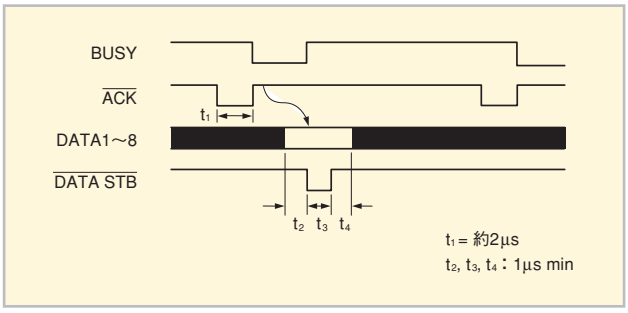
ピン番号	信号名	略称	方向 ﾌﾟﾘ⇔ｺﾝﾋﾟｭﾝﾀ　ｰﾀ	機能
1	データストローブ	$\overline{\text{DATA STB}}$	←	DATA 1～8を読み込むための同期信号である。定常状態はHIGHであり、HIGHからLOWになったときBUSYがHIGHになり、次にLOWからHIGHになるまでにDATA 1～8を読み込む。パルス幅は最小1μsとする。LOWのままでは次の動作を開始しない。 
2 3 4 5 6 7 8 9	データ1 データ2 データ3 データ4 データ5 データ6 データ7 データ8	DATA 1 DATA 2 DATA 3 DATA 4 DATA 5 DATA 6 DATA 7 DATA 8	←	各信号は、データの1ビット目から8ビット目の情報を受信する入力信号である。論理1はHIGHである。DATA 1が最下位桁（LSB）、DATA 8が最上位桁（MSB）である。上図に示すDATA STBの前後1μsの範囲でDATA1～8は確定していること。
10	アクノレッジ	$\overline{\text{ACK}}$	→	受信したデータをプリンタ内へ取り込み完了したことを示す信号で、$\overline{\text{DATA STB}}$受信に対する応答である。ただし、電源ON時、無条件に一度出力する。定常状態はHIGHであり、約2μs LOWとなるパルスを出力する。
11	ビジィ	BUSY	→	プリンタがデータ受信不可能（BUSY）状態であることを知らせる信号である。LOWの場合、データ入力が可能である。次の条件を満たすものが1つでもあればHIGHになる。それ以外ではLOWである。 ● SELECT信号がLOWのとき。 ● INPUT PRIME信号がLOWになったときから所定時間経過し、かつINPUT PRIME信号がHIGHになるまでの間。 ● データを受信してから、プリンタ内へ取り込み完了するまでの間。 ● アラーム発生時。
12	ペーパーエンド	PE	→	用紙の有無を示す。
13	セレクト	SELECT	→	プリンタがセレクト中（HIGH）かディセレクト中（LOW）かを示す。セレクト中はデータの受信が可能である。
14	オートフィード	$\overline{\text{AUTO FEED}}$	←	双方向通信のときに機能する信号
15	—	—	—	（将来の拡張用）
16	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
17	フレームグランド	FG	—	フレームグランド
18	デバイスコネクト	DCN	→	プリンタが電源がONになっていることを示す。
19～30	TWISTED PAIRGND	—	—	（信号用グランドに接続されている。）
31	インプットプライム	$\overline{\text{INPUT PRIME}}$	←	この信号がLOWになるとプリンタは初期状態になる。定常状態はHIGHである。パルス幅は15μs以上必要
32	フォルト	$\overline{\text{FAULT}}$	→	次のいずれかの条件が発生したときLOWになる。 ● ディセレクト中のとき。 ● プリンタがエラー状態のとき。 ● 印刷限界位置を超えた場合。
33	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
34～35	—	—	—	（将来の拡張用）
36	セレクトイン	$\overline{\text{SELECT IN}}$	←	双方向通信のときに機能する信号

タイムチャート

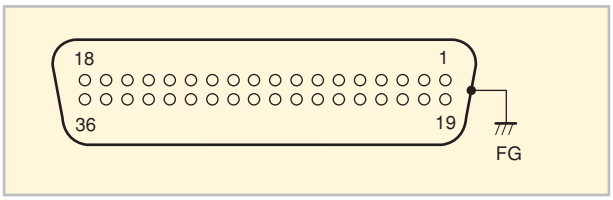
● 電源ON時



● データ受信時



コネクタピン配置

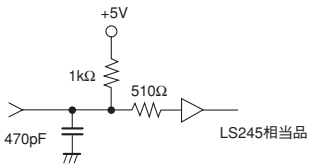


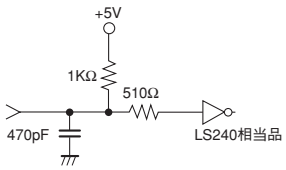
ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	DATA STB	11	BUSY	21*	TWISTED PAIR GND	31	INPUT PRIME
2	DATA 1	12	PE	22*	TWISTED PAIR GND	32	FAULT
3	DATA 2	13	SELECT	23*	TWISTED PAIR GND	33*	SG
4	DATA 3	14	AUTO FEED	24*	TWISTED PAIR GND	34	（将来の拡張用）
5	DATA 4	15	（将来の拡張用）	25*	TWISTED PAIR GND	35	（将来の拡張用）
6	DATA 5	16*	SG	26*	TWISTED PAIR GND	36	SELECT IN
7	DATA 6	17	FG	27*	TWISTED PAIR GND		
8	DATA 7	18	DCN	28*	TWISTED PAIR GND		
9	DATA 8	19*	TWISTED PAIR GND	29*	TWISTED PAIR GND		
10	ACK	20*	TWISTED PAIR GND	30*	TWISTED PAIR GND		

＊　これらのピン端子はプリンタ内部で相互に接続されています。

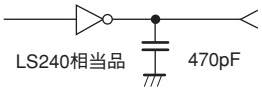
電気的特性

入力回路

信号名	回路形式
DATA1～8	

信号名	回路形式
$\overline{\text{DATA STB}}$ $\overline{\text{INPUT PRIME}}$	

出力回路

信号名	回路形式
$\overline{\text{ACK}}$ $\overline{\text{FAULT}}$ BUSY PE SELECT DCN	

索引

記号

1バイト系の数字「0」の字体の切り替え 42
1バイト系文字フォント 134
2バイト系の数字「0」の字体の切り替え 43
2バイト文字書体の選択 155
7ビット／8ビットデータの切り替え 42
7ビットコード表 143
8ビットコード表 142

A

ACK 162
ANK 137, 141

B

BUSY 122, 140, 162

C

CR 135
CR 機能の切り替え 42

D

DC1 135
DC1 ／ DC3 の有効／無効の切り替え 42
DC3 135

E

EM 44, 140
EM コードの有効／無効の切り替え 44
ESC c8 139

F

FF 135
FS 149
FS 05F 140
FS 06F 139

I

INPUT PRIME 162

L

LF 135

N

NEC Print Server Port 70

O

OCR-B 相当フォント 161

P

PrinterSignalStation
使用できる環境 113
ソフトウェアの起動 115
正しく動作しないときは 127
注意事項 114
メニューの起動 117

ア

アウトラインフォント設定 31, 35
安全上のご注意 5
安全にお使いいただくために 1
安全にかかわる表示 ii

イ

印刷先の変更
Windows Me/98 日本語版 73
Windows NT 4.0 日本語版 87
Windows XP/2000/Server 2003 日本語版 50
印刷指令コードの切り替え 42
［印刷設定］ダイアログボックス
Windows XP/2000/Server 2003 日本語版 53
印刷に関する注意 25
印刷の詳細設定
Windows Me/98 日本語版 77
Windows NT 4.0 日本語版 89
Windows XP/2000/Server 2003 日本語版 53
印刷の手順
Windows Me/98 日本語版 69
Windows NT 4.0 日本語版 85
Windows XP/2000/Server 2003 日本語版 48
印刷モードの切り替え 44
インタフェース信号 162

オ

お知らせ表示 30, 34
オンラインマニュアルの使い方 vi

カ

海外でのご使用 169
改行数切り替え 38
改行ピッチ切り替え 38
拡張制御コード表 136
カスタマバーコード
　印刷する 155
　コード体系 157
　フォーマット 156
各国文字の切り替え 42
環境設定ダイアログ 121
漢字コード選択 31, 35
漢字コード表 144
漢字書体選択 31, 35

キ

［既定のドキュメントのプロパティ］ダイアログボックス
　Windows NT 4.0 日本語版 89
基本制御コード表 135
給紙方法
　Windows Me/98 日本語版 82
　Windows NT 4.0 日本語版 94
　Windows XP/2000/Server 2003 日本語版 59
給紙方法と用紙の割り当て
　Windows NT 4.0 日本語版 103
　Windows XP/2000/Server 2003 日本語版 66
［共有］シート
　Windows Me/98 日本語版 80
　Windows NT 4.0 日本語版 100
　Windows XP/2000/Server 2003 日本語版 63
共有プリンタに設定する
　Windows Me/98 日本語版 75
　Windows NT 4.0 日本語版 88
　Windows XP/2000/Server 2003 日本語版 52

ク

［グラフィックス］シート
　Windows Me/98 日本語版 83

ケ

警告ラベル 1

コ

高速モードの切り替え 43
コネクタピン配置 163
コンピュータからの印刷モードの切り替え 42
コンピュータからの濃度選択の切り替え 42

シ

システムメニュー 107
自動排出の切り替え 44
自動復帰改行の切り替え 42
出力回路 164
［詳細］シート
　Windows Me/98 日本語版 80
　Windows NT 4.0 日本語版 95
［詳細設定］シート
　Windows XP/2000/Server 2003 日本語版 64
状態ダイアログ 120
初期状態 134
新制御コード 139

ス

［スケジュール］シート
　Windows NT 4.0 日本語版 100
ステータス 126

セ

制御コード 149
制御コード表 135
［セキュリティ］シート
　Windows XP/2000/Server 2003 日本語版 64
　Windows NT 4.0 日本語版 100
設定値印字 38
設定内容
　印刷する 45
　リセットする 44
節電機能の切り替え 44
［全般］シート
　Windows Me/98 日本語版 79
　Windows NT 4.0 日本語版 99
　Windows XP/2000/Server 2003 日本語版 63

タ

タイムチャート 163
タスクトレイアイコン 115
タック紙 12

テ

［デバイスオプション］シート
Windows Me/98 日本語版 84
［デバイスの設定］シート
Windows XP/2000/Server 2003 日本語版 65
Windows NT 4.0 日本語版 101
電気的特性 164
電波障害自主規制 169

ト

特殊文字の印刷 149
ドット対応グラフィックのドット数の切り替え 42
トラクタカバー（MultiImpact 750/210A） 21
トラクタカバー（MultiImpact 750/560） 17
トラクタカバー（MultiImpact 750/850A） 13
トラクタピン（MultiImpact 750/210A） 21
トラクタピン（MultiImpact 750/560） 17
トラクタピン（MultiImpact 750/850A） 13
トラクタロックレバー（MultiImpact 750/210A） 21
トラクタロックレバー（MultiImpact 750/560） 17
トラクタロックレバー（MultiImpact 750/850A） 13
トラクタ（MultiImpact 750/210A） 21
トラクタ（MultiImpact 750/560） 17
トラクタ（MultiImpact 750/850A） 13
ドラフト解除受信時のモード指定 42
トレイアイコン 126

ニ

入力回路 164

ノ

濃度 3 印刷モードの切り替え 44
濃度選択 44

ハ

バーコード
印刷時の印刷ヘッドの位置に関する注意 153
印刷する 149
カスタマバーコード 155
種類 151
横の長さ 152
印刷位置 160
バーコード／ OCR-B 相当印刷時の印刷モード自動切り替え 43
バーコード指令 151
バーコードパターンの切り替え 44
パラメータ 27, 32
バルーンポップアップ 115
半角文字ピッチ切り替え 38

ヒ

ビジブル動作の有効／無効 43

フ

封筒用紙 12
フォント 1 選択 31, 35
フォント 2 選択 31, 35
複写式連続紙 12
プリンター覧ダイアログ 120
プリンタドライバ 47
Windows Me/98 日本語版 69
Windows NT 4.0 日本語版 85
Windows XP/2000/Server 2003 日本語版 48
プリンタドライバの切り替え 43
プリンタドライバの選択
Windows Me/98 日本語版 72
Windows NT 4.0 日本語版 86
Windows XP/2000/Server 2003 日本語版 49
［プロパティ］ダイアログボックス
Windows Me/98 日本語版 77
Windows NT 4.0 89
Windows XP/2000/Server 2003 日本語版 53

ヘ

［ページ設定］シート
Windows NT 4.0 日本語版 93
ペーパジャム、リボンジャム時の復旧方法の切り替え 43
ヘルプ 125

ホ

［ポート］シート
Windows NT 4.0 日本語版 99
Windows XP/2000/Server 2003 日本語版 64
ポート選択方法の切り替え 43
ポートの選択 43
保守カウンタの表示 30, 34

メ

メニューモード 27
メモリスイッチ設定モード 39

モ

文字コード表 141

ユ

ユーザー定義用紙サイズの登録
Windows NT 4.0 日本語版 104
Windows XP/2000/Server 2003 日本語版 67

ヨ

用紙
セット方法 13
取り扱い 11
用紙サイズ
Windows Me/98 日本語版 82
Windows NT 4.0 日本語版 94
Windows XP/2000/Server 2003 日本語版 62
［用紙］シート
Windows Me/98 日本語版 81
用紙長の設定 31, 35, 38
用紙無し時の受信データ処理の切り替え 42
［用紙 / 品質］シート
Windows XP/2000/Server 2003 日本語版 58

ラ

ラインマーク（MultiImpact 750/210A） 21
ラインマーク（MultiImpact 750/560） 17
ラインマーク（MultiImpact 750/850A） 13
ラベルシール 12

リ

リモートパネル 105
起動 106
システムメニュー 107
ツールバー 110
プロパティシート 111
メニューバー 108
設定変更手順 112
リモートパネルの使い方 107

レ

［レイアウト］シート
Windows XP/2000/Server 2003 日本語版 57
連続紙 11

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品
（MultiImpact 750/850A・N1153-026を除く）

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品です。

JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講じるよう要求されることがあります。

VCCI-A

電源の瞬時電圧低下対策について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

（社団法人電子情報技術産業協会 のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策に基づく表示）

海外でのご使用について

本装置は、日本国内仕 様のため海外でご使用になる場合、NECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償などの問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。